高１・高２スタンダードレベル英語＜文法・読解編＞　前編

この講座は，高校英語の入門編であり，中学で学んだ英語の総復習もねらいとしたレベル設定になっております。よって，内容は本当に基本的なことから確認していき，細かい例外や，応用的な知識はすべて省きました。例えば，時・条件の副詞節の例外の名詞節なんていう知識は，この講座では取り上げません。ここでのベースをスタートに，レベルが上がり，学年が上がることで，少しずつ例外や応用が増える設定となっております。

英語の文とは，単に単語を並べたものではなくて，一定のルール（= 英文法）の下(もと)に成り立っている世界であること，そして，何となくではなくて，そのルールを意識して読解や作文，会話に励むことが，正確な英語力を養う最短の道であること。そのことを理解した上で本講座の予習・復習に励んでください。

英語学習の最初にもっていただきたい心構えとして，以下を挙げます。

①　急に英語ができるようにはならないこと
　　⇒最初の三か月はがんばること
②　授業を受動的に受けないこと
　　⇒予習・復習を習慣にすること
③　英語は一度で身に付かないこと
　　⇒復習で，何度も反復すること

壁にぶつかる度に，上記の三点を思い出して，前に進んでください。英語を通して，一人でも多くの人に良い世界が開けることを願っております。

肘井　学

目　次

第０講　英語学習のコツ　p3

第１講　文型と文の要素①　p4

第２講　文型と文の要素②　p14

第３講　文型と文の要素③　p22

第４講　時制①　p30

第５講　時制②　p38

第６講　助動詞①　p46

第７講　助動詞②　p54

第８講　受動態　p62

第９講　不定詞①　p70

第10講　不定詞②　p78

第11講　不定詞③　p86

第12講　動名詞　p94

第０講　　英語学習のコツ

この講座を受けてくださる方々には，社会人の方から，中学生の方まで様々な事情の下，英語学習をスタートする方々がいらっしゃるでしょう。

どんな状況であろうと，英語初学者に必ず伝えたいメッセージは，

「**英語はすぐにはできるようにならない**」

これが最初のメッセージとなります。

ちょっとやったら何とかなるんじゃないか，一か月やったけど，何だか…

こういう思いを抱かないためにも，最初にお伝えしておきます。

【予習】

あまり時間をかけなくて構いません。5 分程度ざっと今日の授業内容を眺め渡して，**問題演習のところだけ**解いてきてください。

【授業】

集中力が続くように，1 チャプター約 20 分の構成となっております。その後，1 分の復習タイムを設けますので，復習用シートで知識の確認をしてみてください。これをやることで，知識の定着が飛躍的にアップします。一気に全チャプターを見るのは，大変ですので，チャプターごとに，飲み物を飲んでリフレッシュしたり，椅子から立って，少し体を動かしたりして，次のチャプターに進むことをお勧めいたします。

【復習】

英語学習の初めのうちは，復習中心で構いません。知識が徐々に増えていったら，予習にも時間を回すようにしましょう。1 チャプターごとに，テキストを頭から見直して，問題を解き直す。そして，復習用シートで右側を隠して，知識が完璧になるまで何度も書いて覚えたり，唱えて覚えたりを繰り返してください。

【復習テスト】

1 チャプターの復習が終わるごとに，必ずテストで知識を確認してから，先に進んでください。知識の定着には，単純に接触回数がものを言います。理想は，①予習⇒②授業⇒③復習⇒④復習テストの四回の接点です。

第１講　文型と文の要素①

ポイント

【1】 文型の意義
【2】 第Ⅰ文型 (SVM)
【3】 第Ⅱ文型 (SVC)

●文型の基礎知識

① 五つの文の型

・第Ⅰ文型	SV(M)	She lives in Sapporo.	彼女は札幌に住んでいる。
・第Ⅱ文型	SVC	She is a doctor.	彼女は医者だ。
・第Ⅲ文型	SVO	She has a car.	彼女は車を持っている。
・第Ⅳ文型	SVO_1O_2	She gave me a car.	彼女は私に車をくれた。
・第Ⅴ文型	SVOC	She made me happy.	彼女は私を幸せにしてくれた。

② 文の要素

・S= 主語 (～は・が)
・V= 動詞 (～する)
・C= 補語 (S・O の説明)
・O= 目的語 (～を・に)
・M= 修飾語 (動詞や名詞などを修飾する)　⇒　(　　) に入れて，文型から外す

③ 文型の判断

・前置詞＋名詞のカタマリ　=　M, (　　) に入れて，文型から外す
・—ly　⇒　副詞　=　M, (　　) に入れて，文型から外す
・時を表す副詞　=　M, (　　) に入れて，文型から外す
・頻度の副詞　=　M, (　　) に入れて，文型から外す

ポイント【1】 文型の意義

●次の文は，なぜ下線部のように，解釈が分かれるか？

・He got to the station.　　　彼は駅に到着した。

・He got angry.　　　彼は怒った。

・He got a car.　　　彼は車を手に入れた。

	第Ⅰ文型	=	[　　　　　　　　]
get	第Ⅱ文型	=	[　　　　　　　　]
	第Ⅲ文型	=	[　　　　　　　　]

・第Ⅱ文型 (SVC) と第Ⅲ文型 (SVO) の区別

S V X

☆文型を学ぶ理由　=　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

■問題演習

＊次の英文を，文の要素を振り，文型を確定して，カッコの中に日本語を入れなさい。

(1)

① These trees grow tall.　　これらの木は，高く (　　　　　　)。

② Japanese grow rice traditionally.　　日本人は，伝統的に米を (　　　　　　)。

(2)

① He became a doctor.　　彼は医者に (　　　　　　)。

② Your hat becomes you.　　あなたの帽子は (　　　　　　)。

(3)

① He looked at the dog.　　彼はその犬を (　　　　　　)。

② He looked happy.　　彼は幸せに (　　　　　　)。

(4)

① He ran for three hours.　　彼は３時間 (　　　　　　)。

② He ran the company.　　彼はその会社を (　　　　　　)。

(1)

grow　　第Ⅱ文型　＝　[　　　　　　]

　　　　第Ⅲ文型　＝　[　　　　　　]

(2)

become　　第Ⅱ文型　＝　[　　　　　　]

　　　　第Ⅲ文型　＝　[　　　　　　]

(3)

look　　第Ⅰ文型　＝　[　　　　　　]

　　　　第Ⅱ文型　＝　[　　　　　　]

(4)

run　　第Ⅰ文型　＝　[　　　　　　]

　　　　第Ⅲ文型　＝　[　　　　　　]

●復習用シート

1	文型をなぜ学ぶか？	文型で動詞の意味が変わるから
2	前置詞＋名詞のカタマリ	M(修飾要素)，文の要素になれない
3	時を表す表現	M，副詞
4	—ly の単語	M，副詞
5	頻度の副詞	M，副詞
6	第Ⅱ文型と第Ⅲ文型の区別	第Ⅱ文型は S=C，第Ⅲ文型は S ≠ O
7	get to	到着する
8	get C	C になる
9	get O	O を手に入れる
10	grow C	C になる
11	grow O	O を栽培する
12	become C	C になる
13	become O	O に似合う
14	look at	〜を見る
15	look C	C に見える
16	run O	O を経営する

復習テスト　第１講【１】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She got to the park at 4 p.m.
① ～になった　② ～を手に入れた
③ 見た　④ 到着した

2. Mami became a musician.
① ～に見えた　② ～になった
③ ～に似合う　④ ～を栽培した

3. My father grows vegetables.
① ～を栽培する　② ～になる
③ 見る　④ ～を手に入れる

4. Lisa looked sleepy this morning.
① 見た　② ～を探した
③ ～に見えた　④ 走った

5. Manabu runs for an hour every day.
① ～を経営する　② 走る
③ 見る　④ ～になる

NOTE

ポイント【2】 第Ⅰ文型 (SVM)

●第Ⅰ文型の最重要構文　＝　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

☆この構文の存在する理由　＝　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

■問題演習

＊次の英文を，文の要素を振り，文型を確定して，カッコの中に日本語を入れなさい。

① There is a dog at the door.　　ドアのところに (　　　　　　　　　　)。

② There lived a wise man in Greece.　　ギリシア (　　　　　　　　　　)。

③ She stayed by her mother.　　彼女は母親の (　　　　　　　　　　)。

④ The town lies in a small valley.　　その町は小さな谷間 (　　　　　　　　　　)。

⑤ Don’t cry over spilt milk.　　(　　　　　　　　　　)。(ことわざ)

⑥ He spoke in a low voice.　　彼は低い声で (　　　　　　　　　　)。

⑦ He insisted on speaking to her father.

彼は彼女の父に話をすると (　　　　　　　　　　)。

⑧ This bus goes to Tokyo.　　このバスは東京に (　　　　　　　　　　)。

⑨ He runs every morning.　　彼は毎朝 (　　　　　　　　　　)。

⑩ They came to the country yesterday.　　彼らは昨日田舎に (　　　　　　　　　　)。

☆第Ⅰ文型の動詞の意味　＝　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●復習用シート

1	第Ⅰ文型の最重要構文	There is(are) ~.
2	第Ⅰ文型を取る動詞	① 存在　② 発話　③ 移動
3	①のグループ	live, stay, lie
4	②のグループ	speak, cry, insist
5	③のグループ	go, run, come
6	every morning の文要素	M, 副詞
7	yesterday の文要素	M, 副詞
8	insist on	～と言い張る

復習テスト　　第１講【2】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. There is a girl in the park.
① ～と言い張る　② ～が住んでいる
③ ～がいる　④ ～を見る

2. There lived an old man in the village.
① ～を経験した　② 住んでいた
③ ～の生活を送った　④ 見た

3. I spoke to her yesterday.
① ～と言い張った　② 走った
③ ～をしゃべった　④ 話した

4. My father runs every Sunday.
① 走る　② ～を経営する
③ ～を動かす　④ 止まる

5. He insisted on going there.
① 走った　② 言い張った
③ 泣いた　④ 行った

NOTE

ポイント【3】　第Ⅱ文型 (SVC)

●第Ⅱ文型の特徴は？　⇒　(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

■問題演習

＊次の英文を，文の要素を振り，文型を確定して，カッコの中に日本語を入れなさい。

① Your dress looks nice.　　　　　あなたのドレスは素敵 (　　　　　　　　　)。

② Good medicines taste bitter.　　　良薬は口 (　　　　　　　　)。(ことわざ)

③ This piano sounds fantastic.　　　このピアノは素晴らしい音 (　　　　　　)。

④ She feels happy.　　　　　　　　彼女は幸せ (　　　　　　　　　　　　)。

⑤ This flower smells sweet.　　　　この花は甘い (　　　　　　　　　　　)。

· look C　　　　[　　　　　　　　　]
· taste C　　　　[　　　　　　　　　]
· sound C　　　　[　　　　　　　　　]
· feel C　　　　[　　　　　　　　　]
· smell C　　　　[　　　　　　　　　]

⑥ India became an independent country. インドは独立国家 (　　　　　　　　)。

⑦ Dreams come true.　　　　　　　夢は (　　　　　　　　　　　　　　)。

⑧ Things sometimes go bad.　　　　物事は時に (　　　　　　　　　　　　)。

⑨ She turned pale.　　　　　　　　彼女は (　　　　　　　　　　　　　　)。

· become C　　　　[　　　　　　　　　]
· come C　　　　[　　　　　　　　　]
· go C　　　　[　　　　　　　　　]
· turn C　　　　[　　　　　　　　　]

☆第Ⅱ文型を取る動詞の意味　⇒　(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

●復習用シート

1	第Ⅱ文型の特徴	S=C になる
2	第Ⅱ文型の動詞	① 五感　② 変化
3	①のグループの動詞	smell, taste, look, sound, feel
4	②のグループの動詞	become, come, go, turn, get
5	look C	C に見える
6	feel C	C に感じる
7	go C	C になる

復習テスト　第１講【3】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My father looks angry today.

① ～に似合う　② 見る
③ ～になる　④ ～に見える

2. This drink tastes sweet.

① ～を味わう　② ～の匂いがする
③ ～の味がする　④ ～の匂いをかぐ

3. The boy feels sad.

① ～に感じる　② ～に触る
③ ～に聞こえる　④ ～を鳴らす

4. My dream came true.

① 来た　② ～になった
③ 手に入った　④ ～に到着した

5. That orange went bad.

① 行った　② ～の味がした
③ ～になった　④ 感じた

NOTE

第２講　　文型と文の要素②

ポイント

【1】 第Ⅲ文型 (SVO)
【2】 第Ⅳ文型 (SVO_1O_2)
【3】 第Ⅳ文型 (SVO_1O_2) から第Ⅲ文型 (SVO) の書き換え

ポイント【1】第Ⅲ文型 (SVO)

●第Ⅲ文型の特徴　⇒　(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

■問題演習

＊次の英文を，文の要素を振り，文型を確定して，カッコの中に日本語を入れなさい。

① We discussed the problem with them.
　私達は彼らとその問題について (　　　　　　　　　　　)。

② He married her last year.　　彼は昨年彼女と (　　　　　　　　　　)。

③ He reached the hotel at midnight. 彼は真夜中にホテルに (　　　　　　　)。

④ Nick closely resembled his father. ニックは彼の父親にとても (　　　　　)。

⑤ You should mention my name to your boss.
　上司に私の名前 (　　　　　　　　　　)。

⑥ I know that you are my friend.　　私はあなたが私の友人 (　　　　　　　)。

・discuss O　　[　　　　　　　　　]
・marry O　　[　　　　　　　　　]
・reach O　　[　　　　　　　　　]
・resemble O　　[　　　　　　　　　]
・mention O　　[　　　　　　　　　]

●名詞節の that

You think that he is honest.　　あなたは彼が正直だと思っているんだね。

●復習用シート

1	第Ⅲ文型の特徴	O をＶする・O に (ついて)V する
2	discuss O	O について議論する
3	marry O	O と結婚する
4	last year の文の要素	M, 副詞
5	reach O	O に到着する
6	resemble O	O に似ている
7	mention O	O について言う

復習テスト　第２講【１】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Carl resembles his older sister.
   ① 到着する　② 議論する
   ③ ～に似ている　④ ～について言う

2. You should marry that nice guy.
   ① 結婚する　② ～と結婚する
   ③ ～と結婚している　④ 結婚している

3. I discussed the future plan with her.
   ① ～に話した　② ～と議論した
   ③ ～について議論した　④ ～と話した

4. He mentioned the serious problem.
   ① ～に似ていた　② 議論した
   ③ 到着した　④ ～について言った

5. We reached the train station at 8.
   ① ～に到着した　② ～について言った
   ③ 議論した　④ 似ていた

NOTE

ポイント【2】第Ⅳ文型 (SVO_1O_2)

■問題演習

＊次の英文を，文の要素を振り，文型を確定して，カッコの中に日本語を入れなさい。

① The teacher gave him five minutes. その先生は彼に五分間 (　　　　　　　)。

② I teach these kids English.　　私はこの子供達に英語を (　　　　　　　)。

③ He told us jokes.　　彼は私達に冗談を (　　　　　　　)。

④ Please show me your passport.　　私にあなたのパスポートを (　　　　　　　)。

⑤ My parents lent me the car.　　両親が私に車を (　　　　　　　)。

⑥ Her friends told her that her husband was crazy.

彼女の友達は彼女に (　　　　　　　)。

⑦ That will show us that he is honest.

そのことは私達に (　　　　　　　)。

・give O_1 O_2　⇒　[　　　　　　　]
・teach O_1 O_2　⇒　[　　　　　　　]
・tell O_1 O_2　⇒　[　　　　　　　]
・show O_1 O_2　⇒　[　　　　　　　]
・lend O_1 O_2　⇒　[　　　　　　　]

☆第Ⅳ文型を取る動詞の意味　⇒　(　　　　　　　)

●復習用シート

1	第Ⅳ文型の特徴	O_1 に O_2 を与える
2	give O_1 O_2	O_1 に O_2 を与える
3	teach O_1 O_2	O_1 に O_2 という知識を与える(＝教える)
4	tell O_1 O_2	O_1 に O_2 という情報を与える(＝伝える)
5	show O_1 O_2	O_1 に O_2 の姿を与える(＝示す)
6	lend O_1 O_2	O_1 に O_2 を(返す約束で)与える(＝貸す)

復習テスト　第２講【2】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. I told her that he was brave.
① 〜に…を貸した　② 〜に…を料理してあげた
③ 〜に…と推奨した　④ 〜に…と伝えた

2. She gave me a birthday present.
① 〜に…を作ってあげた　② 〜に…を与えた
③ 〜に…を貸した　④ 〜に…を見せた

3. He lent me his electric bass.
① 〜に…を貸した　② 〜に…を見せた
③ 〜に…を伝えた　④ 〜に…を教えた

4. I'll show you my new photo.
① 〜に…を教える　② 〜に…を見せる
③ 〜に…を貸す　④ 〜に…を買ってやる

5. He teaches us world history.
① 〜に…を見せる　② 〜に…を作ってあげる
③ 〜に…を教える　④ 〜に…を貸す

NOTE

ポイント【3】第Ⅳ文型 (SVO_1O_2) から第Ⅲ文型 (SVO) の書き換え

SVO_1O_2 ⇒ SVO_2 to O_1 or SVO_2 for O_1

パターンその一

I gave her the bag. ⇒ I gave the bag to her.

パターンその二

He bought me a bike. ⇒ He bought a bike for me.

☆なぜ，第Ⅳ文型を第Ⅲ文型に書き換えるか？

[ ]

パターンその一のグループの動詞 (前置詞 to を使う動詞)

give, lend, show, teach, tell

パターンその二のグループの動詞 (前置詞 for を使う動詞)

buy, cook, make

☆パターンその一 (to) の動詞の特徴 = [ ]

パターンその二 (for) の動詞の特徴 = [ ]

■問題演習

＊次の英文を，第Ⅳ文型から第Ⅲ文型に書き換えなさい。

① I will give my wife the bag.
私は妻にそのかばんをあげようと思っています。

⇒ I will give ( ).

② He bought his daughter a new ring.　彼は娘に新しい指輪を買ってあげた。

⇒ He bought ( ).

③ She cooked her boyfriend a delicious meal.
彼女はボーイフレンドにおいしい食事を作ってあげた。

⇒ She cooked ( ).

④ I lent my friends the car.　私は友人に車を貸してあげた。

⇒ I lent ( ).

⑤ She showed her students the book.　彼女は生徒にその本を見せた。

⇒ She showed ( ).

●復習用シート

1	第Ⅳ文型から第Ⅲ文型の変形× 2	① SVO_1O_2 ⇒ SVO_2 to O_1
2		② SVO_1O_2 ⇒ SVO_2 for O_1
3	①のグループの動詞	give, lend, tell
4	②のグループの動詞	buy, call, cook, make
5	①と②の区別	①は相手必要 (到達の to)
6		②は相手不要，自分の為にやれる

復習テスト　　第2講【3】

＊次の英文を，第Ⅳ文型から第Ⅲ文型に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He often gives me advice.
   ⇒ He often gives (　　　).
   ① advice for me　② for me advice　③ advice to me　④ to me advice

2. The boy lent me his comic book.
   ⇒ The boy lent (　　　).
   ① his comic book to me　② to me his comic book
   ③ his comic book for me　④ for me his comic book

3. She bought her son a new coat.
   ⇒ She bought (　　　).
   ① to her son a new coat　② a new coat for her son
   ③ a new coat to her son　④ for her son a new coat

4. My uncle showed me his new car.
   ⇒ My uncle showed (　　　).
   ① to me his new car　② for me his new car
   ③ his new car for me　④ his new car to me

5. My sister made me a tuna sandwich.
   ⇒ My sister made (　　　).
   ① for me a tuna sandwich　② to me a tuna sandwich
   ③ a tuna sandwich for me　④ a tuna sandwich to me

NOTE

第３講　　文型と文の要素③

ポイント

【1】　第Ⅴ文型 (SVOC) の特徴
【2】　第Ⅴ文型を取る動詞① (SVO do)
【3】　第Ⅴ文型を取る動詞② (SVO to do)

ポイント【1】第Ⅴ文型 (SVOC) の特徴

☆第Ⅴ文型の特徴 ⇒ (　　　　　　　　　　　　)　or　(　　　　　　　　　　　　)

・His coach made him a great player.
　彼のコーチは，彼を偉大な選手にした。

・I heard a little bird singing on a tree.
　私は小さな鳥が木の上でさえずるのを聞いた。

■問題演習

＊次の英文を，文の要素を振り，文型を確定して，カッコの中に日本語を入れなさい。

① He found the bed comfortable.　　彼は (　　　　　　　　　　)。

② I made him captain of my team.　　私は (　　　　　　　　　　)。

③ He left the engine running.　　彼は (　　　　　　　　　　)。

④ I saw him walking across the street.　　私は (　　　　　　　　　　)。

⑤ He called the natives Indians.　　彼は (　　　　　　　　　　)。

⑥ Many people thought the war a mistake.　　多くの人が (　　　　　　　　　　)。

⑦ I had my hair cut yesterday.　　私は昨日髪の毛 (　　　　　　　　　　)。

⑧ I had my bag stolen.　　私はカバン (　　　　　　　　　　)。

・have O C

●復習用シート

1	第Ⅴ文型 (SVOC) の特徴× 2	① O=C
2		② O と C に SV の関係 (ネクサス)
3	①の場合の C に来る品詞	名詞・形容詞
4	make O C	O を C にする
5	hear O C	O が C するのが聞こえる
6	find O C	O が C だと分かる
7	leave O C	O を C のままにする
8	see O C	O が C するのを見る
9	call O C	O を C と呼ぶ
10	think O C	O が C と思う

復習テスト　第３講【１】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Her great courage made her a hero.
① ～を作った　② ～に…を作ってやった
③ ～を…にした　④ ～になった

2. I found the service convenient.
① ～を見つけた　② ～になった
③ ～に…を見つけてやった　④ ～が…だと思った

3. We had our air conditioner repaired.
① ～を持っていた　② ～を…してもらった
③ ～を…にしておいた　④ ～に…させた

4. I saw the actor driving a sports car.
① ～が…しているのを見た　② ～に会った
③ ～を…してもらった　④ 理解した

5. We left the large window open.
① 出発した　② ～を…のままにした
③ ～を去った　④ ～に…を残した

NOTE

ポイント【2】第Ⅴ文型を取る動詞① (SVO do)

●第Ⅴ文型の C には，名詞・形容詞・現在分詞 (～ ing)・過去分詞 (p.p.)・原形不定詞 (do, 動詞の原形)・to 不定詞 (to do) が入る。動詞によって，補語に何を取れるか決まる。

●使役動詞 (人を使って～させる = 人に～させる)　⇒　make, let, have の三つ

① I made him wash the dishes.　　私は彼に皿を洗わせた。

② Please let me know the result.　　その結果を私に知らせてください。

③ I had my secretary type the letter.　　私は秘書に手紙を打たせた。

●知覚動詞 (見たり聞いたり感覚を表す動詞，別名感覚動詞)　⇒　see, hear

① I saw my mother enter the house.　　私は母がその家に入るのを目撃した。

② I heard someone call my name.　　私は誰かが私の名を呼ぶのが聞こえた。

■問題演習

＊次の英文を，文の要素を振り，文型を確定して，カッコの中に日本語を入れなさい。

① I saw him walk across the street.　私は (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)。

② I had a mechanic look at this car.　私は (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)。

③ My parents let me go abroad.　両親が (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)。

④ Her jokes made us laugh.　彼女の冗談は (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)。

⑤ He had a repairman fix the computer.

彼は (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)。

⑥ I heard him go out.　私は (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)。

●復習用シート

1	第Ｖ文型を取る動詞× 2	① 使役動詞　② 知覚動詞
2	①のグループの動詞× 3 ＋意味	make, let, have(人に～させる)
3	make 人 do	人に～させる
4	let 人 do	人に～させる
5	have 人 do	人に～させる
6	②のグループの動詞× 2	see, hear
7	see O C	O が C するのを目にする
8	hear O C	O が C するのが聞こえる

復習テスト　第３講【2】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My little sister let me use her tablet.
① ～に職務として…させた　② ～に…するよう提案した
③ ～に無理やり…させた　④ ～に許可を与えて…させた

2. She made her husband stop smoking.
① ～に無理やり…させた　② ～に許可を与えて…させた
③ ～に職務として…させた　④ ～に…を作ってやった

3. I heard my pet cat scratch the wall.
① ～に耳を傾けた　② ～が…するのが聞こえた
③ ～が…するのを見た　④ ～を伝え聞いた

4. He had the taxi driver wait for a minute.
① ～を…に動かした　② ～に職務として…させた
③ ～を持っていた　④ ～に無理やり…させた

5. We saw a dog run in the park.
① ～に会った　② ～を…と想像した
③ ～が…するのを見た　④ ～ということがわかった

NOTE

ポイント【3】第Ｖ文型を取る動詞② (SVO to do)

グループその一	
tell O to do	O に〜するように言う
ask O to do	O に〜するように頼む
advise O to do	O に〜するように助言する

☆グループその一　=　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

① The teacher told the children to sit down quietly.
その先生は，子供たちに静かに座っているように言った。

② She asked her mother to wake her at 7 o’clock.
彼女は，母親に 7 時に起こすように頼んだ。

③ I advise you to stop smoking.
私はあなたに煙草をやめるように助言する。

グループその二	
cause O to do	O に〜させる
allow O to do	O が〜するのを許す
enable O to do	O が〜するのを可能にする

☆グループその二　=　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

④ His behavior caused me to laugh.
彼の振る舞いが私を笑わせた。

⑤ He allowed me to use the machine.
彼は私がその機械を使うことを許した。

⑥ Money from his parents enabled Mike to buy the house.
両親のお金が，マイクがその家を買うのを可能にさせた。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. He (　　) me to use his cell phone.

① agreed　② admitted　③ let　④ allowed

2. I asked my father (　　) me up at six.

① pick　② picked　③ to pick　④ picking

3. His help (　　) me to finish the job.

① brought　② enabled　③ fast　④ made

●復習用シート

1	SVO to do を取る動詞のグループ× 2	① 伝達系　② O に～させる系
2	①のグループの動詞× 3	tell, ask, advise
3	tell O to do	O に～するように言う
4	ask O to do	O に～するように頼む
5	advise O to do	O に～するように助言する
6	②のグループの動詞× 3	cause, allow, enable
7	cause O to do	O に～させる
8	allow O to do	O が～するのを許す
9	enable O to do	O が～するのを可能にする

復習テスト　第３講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My father (　　　) me to work part-time.
① let　② made　③ allowed　④ supported

2. She asked me (　　　) the real reason.
① explain　② to explain　③ explained　④ that explain

3. His cute behavior (　　　) me to smile.
① makes　② appears　③ lets　④ causes

4. My teacher advised me (　　　) a dictionary app.
① used　② was used　③ to use　④ use

5. Her support (　　　) me to win the boxing match.
① enabled　② introduced　③ produced　④ made

NOTE

第４講　　時制①

ポイント

【1】 現在形・現在進行形 (be ＋ ～ ing)
【2】 過去形・現在完了形 (have ＋ p.p.)
【3】 時・条件の副詞節 (when, if)

ポイント【1】現在形・現在進行形 (be ＋ ～ ing)

●問題　次の表現には，現在形・現在進行形のどちらを使うか？

「彼女はいつもは一人でギターを弾いているが，今日だけ友人とギターを弾いている」

She (　1　) the guitar alone, but today she (　2　) with her friends.

(　1　)

① always plays　　② is always playing

(　2　)

① plays　　② is playing

●英文法の基礎知識

現在形が表すもの

①	不変の真理	An apple a day keeps the doctor away.	一日一個のリンゴで医者いらず。
②	現在の習慣	I always walk to the station.	私はいつも駅まで歩いていく。
③	現在の状態	He likes riding a bike.	彼は自転車に乗るのが好きだ。

☆現在形・進行形の本質

現在形の本質　＝　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

進行形 (be 動詞＋～ ing) の本質　＝　[　　　　　　　　　　　　　　]

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. The sun (　　) in the east.

① rise　② has risen　③ rose　④ rises

2. Sandy (　　) dinner at home now.

① eat　② have eaten　③ is eating　④ to eating

3. My teacher said that the earth (　　) round.

① had been　② be　③ is　④ were

4. I (　　) lunch now. Can you come back later?

① had　② have had　③ am having　④ had had

●復習用シート

1	現在形の本質	昨日・今日・明日と反復して繰り返されるもの
2	現在形が表すもの	不変の真理・現在の習慣・状態
3	進行形の本質	～している最中だ，一時性

復習テスト　第4講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Lily (　　　) the trombone now.
　① have played　② play　③ to play　④ is playing

2. She (　　　) an online class now. Call her later, please.
　① is taking　② taking　③ to take　④ had taken

3. The planet earth (　　　) around the sun.
　① go　② have gone　③ goes　④ to going

4. The boy (　　　) table tennis every Saturday.
　① practice　② practicing　③ practices　④ to be practicing

5. My father told me that the core of the sun (　　　) very hot.
　① were　② is　③ has been　④ being

NOTE

ポイント【2】過去形・現在完了形 (have + p.p.)

●問題　次の表現に，過去形・現在完了形のどちらを使うか？

「私は道に迷った」

I (　　) my way.

① have lost　　② lost

☆過去形・現在完了形の本質

過去形　=　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

過去の一点を示す副詞 when S V の V が過去の時，yesterday, ～ ago, last ～

現在完了形　=　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●過去進行形　=　～している最中だった

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. I (　　) his letter last week.

① receives　　② receive　　③ received　　④ am receiving

2. We (　　) catch when we were students.

① plays　　② have played　　③ played　　④ were playing

*play catch　キャッチボールをする

3. I (　　) dinner when the telephone rang.

① have been making　　② have made

③ made　　④ was making

*ring　（音が）鳴る

4. He thought that I (　　) the girl.

① know　　② knows　　③ knew　　④ am knowing

●時制の一致とは？　=　SV の V が過去形。that 節内の V も過去形にする。

She said that it was her house.　　彼女はそれが自分の家だと言った。

●復習用シート

1	過去形の特徴	現在から切り離されて，過去の一点を示す語句と相性良い
2	現在完了形の特徴	過去と現在をつなぐ幅のある時制
3	過去の一点を示す語句	yesterday, ~ago, last ~, when SV のＶが過去
4	時制の一致	SV のＶが過去。that 節内のＶも過去形になる

復習テスト　　第４講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. I often (　　　) that board game when I was a child.
　① have played　② playing　③ played　④ play

2. She (　　　) a text message to him yesterday.
　① to send　② has sent　③ is sending　④ sent

3. I thought that she (　　　) the coffee cup.
　① breaks　② broke　③ has broken　④ is breaking

4. He (　　　) a magazine when she called him.
　① was reading　② has read　③ reads　④ to read

5. We (　　　) curry fifteen times last month.
　① eat　② have eaten　③ ate　④ are eating

NOTE

ポイント【3】時・条件の副詞節 (when, if)

●時制の最重要ルール　⇒　時・条件の副詞節

●時・条件の副詞節に使われるルールとは？

⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

・If it is fine tomorrow, we will have a picnic.

　明日天気が良ければ，我々はピクニックをする。

・When she comes, I will tell her so.

　彼女が来たら，彼女にそう言っておきます。

☆なぜ，このルールが存在するのか？

⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

時・条件の副詞節を作る接続詞
if, when, before, after

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. If I (　　) her, I will give this letter to her.

　① see　② sees　③ saw　④ will see

2. When she (　　), I will give her this letter.

　① come　② will come　③ came　④ comes

3. You will feel better if (　　) a good night's sleep.

　① you have　② to have　③ having　④ you will have

4. Please give me a call when you (　　) your work.

　① finish　② finished　③ will finish　④ will have finished

5. I'll finish it before you (　　) home.

　① coming　② come　③ came　④ comes

●復習用シート

1	時・条件の副詞節とは？	when(時) や if(条件) が作る，意味のカタマリのこと
2	時・条件の副詞節に適用されるルール	未来のことでも現在形を使う
3	なぜこのルールが存在するか？	will は 100%，if は 50% で相性悪い
4	時・条件の副詞節を作る接続詞	when, if, before, after

復習テスト　　第４講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. If you (　　　) our basketball team, we will win the next tournament.
   ① were joining　② join　③ will join　④ joined

2. When he (　　　) here, I'll ask him about it.
   ① will arrive　② to arrive　③ arrived　④ arrives

3. You will pass that listening test if (　　　) hard.
   ① to study　② studied　③ you study　④ you will study

4. Send me a text message when you (　　　) your home.
   ① leave　② will leave　③ left　④ to leaving

5. I'll clean the living room before the TV program (　　　).
   ① starting　② starts　③ started　④ start

NOTE

第５講　　時制②

ポイント

【1】 現在完了形 (have p.p.)
【2】 過去完了形 (had p.p.)
【3】 未来完了形 (will have p.p.)

ポイント【1】現在完了形 (have p.p.)

次の文の違いは何か？

① How are you doing?　　調子どう？

② How have you been?　　最近調子どう？

☆現在完了形の本質

現在完了形はいつを表すか？　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●英文法の基礎知識

完了形の三つの用法

① 継続用法	I have lived here for three years. 私は３年間ここに住んでいる。
② 経験用法	I have been to America three times. 私はアメリカに３回行ったことがある。
③ 完了用法	We have just finished the meeting. 私達は丁度会議を終えたところだ。

●継続用法と相性のいい表現

since ～ (～以来), for ～ (～の間)

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. The tree (　　) there for a hundred years.

① stands　② has stood　③ standing　④ stand

2. The shop (　　) closed for the last three weeks.

① has been　② had been　③ was　④ is

3. Mike and I are good friends. We (　　) one another since we were young.

① know　② have known

③ had been knowing　④ knew

●復習用シート

1	現在完了の範囲	過去と現在をつなぐ幅のある時制
2	現在完了の三用法	① 継続用法　② 経験用法　③ 完了用法
3	継続用法と相性の良い副詞	for ~, since ~
4	I have been standing here for 3 hours. の感覚	3 時間前から今まで立っている
5	I have lost my watch.	前に時計をなくして，今手元にない
6	He has gone to Japan.	前に日本へ行ってしまって，今この場にいない

復習テスト　第５講【１】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. That stone building (　　　) there since the 17th century.
① to stand　② will stand　③ is standing　④ has stood

2. The little boy (　　　) to Korea many times.
① being　② been　③ has been　④ has

3. This Japanese restaurant has just (　　　). Let's go inside.
① open　② opened　③ opening　④ to open

4. My big brother (　　　) sick for the last few days.
① to be　② will be　③ is　④ has been

5. Ms. Hammond (　　　) in Tokyo since she was a kid.
① has lived　② lived　③ will live　④ had been living

NOTE

ポイント【2】過去完了形 (had p.p.)

●英文法の基礎知識

過去完了の表すもの

① 継続　I had been in bed for two hours when he came back.
彼が戻ってきたとき，私はベッドに二時間入っていた。

② 経験　Mike had eaten *natto* before he came to Japan.
マイクは日本に来る前に納豆を食べたことがあった。

③ 完了　The meeting had already finished when he came.
彼が来たとき，会議はすでに終わっていた。

☆過去完了の本質　＝　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●過去完了の感覚をつかむ

① I recognized her because I had seen her before. の感覚

② He had been in bed for three hours when I returned. の感覚

③ The party had already finished when she came. の感覚

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. When I got to the classroom, the test (　　).

① already started　② has already started
③ was already start　④ had already started

2. She (　　) in Tokyo for five years, when the earthquake happened.

① was　② has been　③ had been　④ would be

3. I (　　) for very long when a phone woke me up.

① didn’t sleep　② hadn’t been sleeping
③ haven’t been sleeping　④ haven’t slept

●復習用シート

1	過去完了の範囲	過去の一点を基準にその以前から続く範囲

復習テスト　　第５講【２】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. When I went to the bedroom, my wife (　　　) to sleep.
① has already gone　② had already gone
③ already goes　④ will already go

2. The couple (　　　) in Atlanta for three years when they had a baby.
① will have lived　② lives　③ had lived　④ has lived

3. Jimmy had never played fencing before he (　　　) the fencing club.
① enters　② entered
③ has entered　④ had entered

4. I (　　　) on the local train for 30 minutes when my smartphone vibrated.
① has been　② had been　③ am　④ will be

5. Our cat had been on the bookshelf for an hour when my father (　　　) home.
① came　② comes
③ will come　④ have come

NOTE

ポイント【3】未来完了形 (will have p.p.)

●英文法の基礎知識

<u>未来完了の表すもの</u>

① 継続　I will have lived in Sapporo for three years by this time next year.
　　　　私は来年のこの時期までに 3 年間札幌に暮らしていることになる。

② 経験　He will have been to Tokyo three times if he goes there again.
　　　　もし彼がそこに再び行くなら，東京に三回行ったことになる。

③ 完了　She will have finished the book by five tomorrow.
　　　　彼女は明日の 5 時までにその本を読み終えているだろう。

☆未来完了の本質　=　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●未来完了の感覚をつかむ

① I will have finished the report by tomorrow. の感覚

② I will have lived in America for ten years by next month. の感覚

③ By next April Jane will have been learning the guitar for five years. の感覚

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. Mike (　　) in Sapporo for five years by next month.

① is　② will be　③ will have　④ will have been

2. Next month I (　　) Tom for 20 years.

① know　② will have known

③ will have been knowing　④ am knowing

3. By next April he (　　) English for six years.

① has been studying　② is studying

③ will be studying　④ will have been studying

●復習用シート

1	未来完了の本質	未来のある時期を基準に，そこまであることが続いている
2	完了進行形 (have been ～ ing)	継続用法・V を進行形にできる時
3	S が V してから～年たつ× 2	～ years have passed since S V.
4		It has been ～ years since S V.

復習テスト　第５講【３】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Lola (　　　) in Niigata for three years by next year.
① lived　② lives　③ will live　④ will have lived

2. I (　　　) this online video five times if I see it again.
① will watch　② will have watched
③ have watched　④ had been watching

3. Next week she (　　　) married to Mick for five years.
① will have　② will be　③ will have been　④ will

4. I will have finished my English essay (　　　) nine tonight.
① by　② until　③ for　④ to

5. Liam (　　　) Japanese for two years by next September.
① will be learning　② was learning
③ has learned　④ will have been learning

NOTE

第６講　　助動詞①

ポイント

【1】 基本助動詞
【2】 will・助動詞の慣用表現①
【3】 助動詞の慣用表現②

ポイント【1】基本助動詞

助動詞とは，動詞の前に置いて，動詞に話者の気持ちを加えてくれるもの。

●助動詞の基本知識　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●英文法の基礎知識

① may　~かもしれない

She may be singing in the room.　彼女は部屋で歌っているかもしれない。

~してもよい

You may go abroad alone.　一人で海外に行っても良い。

② must　~しなければならない

You must keep the room clean.　部屋をきれいにしておかなければならない。

~に違いない

He must be tired.　彼は疲れているに違いない。

③ can　~できる (してもよい)

You can smoke here.　ここでタバコを吸ってもいいよ。

ありうる

An expert player can make a mistake. 熟練した選手でもミスを犯すことはありうる。

④ should　~はずだ

He should arrive at the office in two hours.　彼は二時間後に会社に到着するはずだ。

~すべきだ

You should be more careful.　もっと注意深くなるべきだ。

☆助動詞超整理法

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. You (　　) be very careful in crossing the street.
　① may　② cannot　③ must　④ should not

2. “Are you going to the party?” “I’m not sure. I (　　) go.”
　① mustn’t　② won’t　③ can’t　④ may

3. We (　　) go home before it starts raining.
　① are　② have　③ been　④ should

4. The girl solved the problem. She (　　) be very intelligent.
　① must　② had better　③ can’t　④ ought

●復習用シート

1	must	違いない・しなければならない
2	should	はずだ・すべきだ
3	may	かもしれない・してもよい
4	can	ありうる・できる

復習テスト　第６講【１】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The sky is getting very cloudy. It (　　) rain soon.
　① had better　② is going　③ may　④ cannot

2. He can’t keep a secret, so we (　　) not tell him about this private matter.
　① should　② have　③ are going　④ cannot

3. It’s raining. You (　　) bring an umbrella with you if you go out.
　① ought　② don’t have to　③ cannot　④ must

4. Don’t worry so much. Anyone (　　) make mistakes.
　① would have　② can　③ cannot　④ has to

5. The man travels abroad every month. He (　　) be very rich.
　① cannot　② wouldn’t　③ must　④ used to

NOTE

ポイント【2】will・助動詞の慣用表現①

●英文法の基礎知識

will の用法

①	単純未来	He will be fifteen next month.	彼は来月 15 歳になる。
②	意志未来	I'll call you later.	あとで電話するよ。
③	習性	Accidents will happen.	事故は起こるものだ。
④	拒絶	The students will not listen to me.	学生は私の話を聞こうとしない。

☆ will の本質　＝　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●過去の習慣　「昔はよく～した」

would often	I would often go fishing with my brother when young. 若いとき，よく兄と釣りに行ったものだった。

● will と be going to

He will come to the party.	彼はパーティーに来ると思うよ。
He is going to come to the party.	彼はパーティーに来る予定だ。

☆ will と be going to の違い　＝　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

● must と have to do

① 過去の義務には，had to を使う

I had to wait for fifty minutes.	私は 50 分待たなければならなかった。

② 否定形で，意味が異なる

You must not stop.	止まってはいけない。
You don't have to stop.	止まらなくてもよい。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. I am pushing it hard, but the door (　　) not open.

① might　② shall　③ will　④ can

2. I (　　) often play baseball in this park.

① may　② can　③ should　④ would

3. I couldn’t go out with my friends last night because I (　　) finish my homework.

① must　② had to　③ should　④ must have

4. You are too kind! You (　　) me a present.

① didn’t have to buy　② mustn’t have bought

③ mightn’t have bought　④ hadn’t to buy

●復習用シート

1	will の本質	必ず～する
2	will not	どうしても～しない
3	過去の習慣 (昔はよく～した)	would often
4	will と be going to の違い	will は話者の気持ち，be going to は予定
5	must と have to の否定形	must not してはいけない
6		don’t have to ～しなくてもよい

復習テスト　第6講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. They (　　　) get married next June.
   ① had to　② are going to　③ would often　④ will have

2. Last night, he rushed to the station because he (　　　) take the last train.
   ① didn't have to　② is going to　③ would not　④ had to

3. The old man (　　　) often tell me an interesting story when I was little.
   ① used　② ought　③ would　④ may

4. After all, light rain stopped falling soon. I (　　　) an umbrella.
   ① didn't have to buy　② cannot have bought
   ③ have to buy　④ should have bought

5. My little cousin doesn't trust me, so she (　　　) listen to my advice.
   ① should　② will not　③ is going to　④ would often

NOTE

ポイント【3】助動詞の慣用表現②

● need の用法

① You need not attend the meeting.　あなたは会議に出席する必要はない。
= You don't need to attend the meeting.

② Need I attend the meeting?　私は会議に出席する必要はありますか？
= Do I need to attend the meeting?

③ You need attend the meeting.　あなたは会議に出席する必要がある。
= You need to attend the meeting.

☆ need の助動詞と一般動詞の区別

	否定文	疑問文	肯定文
一般動詞			
助動詞			

● should ≦ ought to do < had better(～した方が良い)

① You should apologize to them.　あなたは彼らに謝るべきだ。

② You ought to apologize to them.　あなたは彼らに謝るべきだ。

③ You had better apologize to them. あなたは彼らに謝った方がいい。

☆ ought to do と had better の否定形
⇒ [　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●助動詞の過去形

① might ～かもしれない　She might become a singer when she grows up.
彼女は大きくなったら歌手になるかもしれない。

② could ～かもしれない　It could rain later this morning.
今日の朝遅く雨が降るかもしれない。

☆助動詞の過去形　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①〜④の選択肢から一つ選びなさい。

1. She said that I (　　) to give up the plan.

① might　② ought　③ would　④ should

2. You (　　) appear at the meeting now.

① had not better　② didn’t have better
③ had better not　④ had better not to

3. You (　　) rush to the ticket counter as there are many tickets left.

① not need　② need not
③ had need not to　④ need to

●復習用シート

1	need の否定形	don’t need to do, need not do
2	should と近い表現	ought to do, had better(should より強い)
3	ought to do と had better の否定形	ought not to do, had better not
4	助動詞の過去形	過去の意味なし，元の意味が弱くなるだけ

復習テスト　第6講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She told her little son that he (　　　) to be kind to animals.
   ① should　② must　③ could　④ ought

2. We (　　　) catch the train if we hurry.
   ① ought　② might　③ cannot　④ need

3. My father said, "You (　　　) go out today. It's very windy."
   ① cannot have　② had better not　③ would often　④ had not better

4. (　　　) say sorry to him?
   ① Had I　② Do I need　③ Were I　④ Need I

5. You (　　　) an eraser, because I can lend you mine.
   ① need buying　② not need buy
   ③ need not buy　④ need to buy

NOTE

第７講　助動詞②

ポイント

【1】 助動詞＋ have p.p.
【2】 can・may・would の慣用表現
【3】 助動詞総復習

ポイント【1】助動詞＋ have p.p.

① may have p.p.　「～したかもしれない」
・He may have left the office.　彼はオフィスを出たかもしれない。

② must have p.p.　「～したに違いない」
・He must have left the office.　彼はオフィスを出たに違いない。

③ cannot have p.p.　「～したはずがない」
・He cannot have left the office.　彼はオフィスを出たはずがない。

④ should have p.p.　「～すべきだったのに」
・He should have left the office.　彼はオフィスを出発すべきだったのに。

■問題演習

1. He (　　) been sick in bed yesterday. I saw him at the museum.
   ① would have　② cannot have
   ③ may not have　④ must have

2. Mike lost his wallet yesterday. He (　　) it on the train.
   ① must have been dropping　② must be dropping
   ③ must drop　④ must have dropped

3. I (　　) the movie, but I don’t remember when I saw it.
   ① cannot have seen　② should not have seen
   ③ ought not to have seen　④ may have seen

4. He (　　) her last night, but he forgot.
   ① should phone　② should have phoned
   ③ will have phoned　④ will phone

●復習用シート

1	may have p.p.	～したかもしれない
2	must have p.p.	～したに違いない
3	cannot have p.p.	～したはずがない
4	should have p.p.	～すべきだったのに

復習テスト　第７講【１】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The girl coughed a lot yesterday. She (　　　) had a bad cold.
① cannot have　② might　③ may have　④ could

2. The tea party was a lot of fun! You (　　　) it.
① must join　② should join
③ cannot have joined　④ should have joined

3. I overslept this morning. I (　　　) up late yesterday.
① shouldn't have stayed　② ought to stay
③ must have stayed　④ have been staying

4. Kevin hasn't come yet. Something (　　　) to him.
① must have happened　② must happen
③ cannot have happened　④ cannot happen

5. The man is not rich, so he (　　　) such an expensive watch.
① should have bought　② cannot have bought
③ might buy　④ must buy

NOTE

ポイント【2】can・may・would の慣用表現

● can の慣用表現

・cannot ～ too …　「…してもしすぎることはない」
You cannot be too careful when you drive a car.
車を運転するときに注意してもしすぎることはない。

・cannot help ~ing　「～せざるをえない」
You cannot help laughing at his story.
あなたは彼の話に笑わざるをえない。

● may の慣用表現

・may well do　「～するのももっともだ」
You may well say so.
あなたがそう言うのももっともだ。

・may as well A as B　「B するのは A するようなものだ」
You may as well throw your money away as lend it to him.
あなたが彼にお金を貸すのは，捨てるようなものだ。

● would の慣用表現

・would like to do　「～したい」
I would like to talk to you.
私はあなたとお話がしたい。

・would rather A than B　「B するよりむしろ A したい」
I would rather stay home than go out.
私は外出するよりもむしろ家にいたい。

■問題演習

1. 日本語に合うように，次の選択肢を適切な語順に並べ替えなさい。

「友人を選ぶのに注意してもしすぎることはない」

You (　　) (　　) (　　) (　　) in choosing your friends.

① be　② cannot　③ careful　④ too

2. I cannot (　　) at him.

① help laughing　② but to laugh
③ help to laugh　④ helping

3. I would (　　) shopping than study this afternoon.

① like to go　② better go　③ rather go　④ more go

4. You may (　　) throw your money away as spend it on gambling.

① as much　② as possibly　③ a quickly　④ as well

●復習用シート

1	cannot ~ too …	…してもしすぎることはない
2	cannot help ~ing	～せざるをえない
3	may well do	～するのももっともだ
4	may as well A as B	B するのは A するようなものだ
5	would like to do	～したい
6	would rather A than B	B するよりむしろ A したい

復習テスト　第７講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. The boy (　　　) be surprised at the news. He couldn’t expect it at all.
   ① may well　② would like to　③ cannot　④ had better

2. Everyone knows we (　　　) careful about our health.
   ① cannot be to　② cannot too be　③ cannot to be　④ cannot be too

3. You may (　　　) away your money as play *pachinko* every day.
   ① help throwing　② well as throw　③ cannot throw　④ as well throw

4. Today, I would (　　　) out than cook at home.
   ① often eat　② used to eat　③ rather eat　④ like to eat

5. The young couple couldn’t (　　　) about their future.
   ① thinking help　② help thinking　③ but thinking　④ than think

NOTE

ポイント【3】助動詞総復習

●基本助動詞　⇒　特にこの二表現に注意

・must の推量の意味は？　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

・cannot の推量の意味は？　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

● will 周辺　⇒　特にこの三表現に注意

・will not の特殊な意味　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

・過去の習慣を表す二表現　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●否定形に注意　⇒　この二表現に注意

・had better の否定表現は？　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

・ought to do の否定表現は？　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●助動詞＋ have p.p.　⇒　特にこの三表現に注意

・～したかもしれない　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

・～したに違いない　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

・～すべきだったのに　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●助動詞の慣用表現　⇒　特にこの二表現に注意

・may as well A as B　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

・would rather A than B　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

■問題演習

1. I’m sure that she is sick.
= She (　　) be sick.
① must　② may　③ can　④ will

2. He (　　) be over fifty; he must be in his forties.
① oughtn’t　② may　③ must　④ can’t

3. I tried to take her out, but she (　　) go out.
① were to　② might not　③ would not　④ had to

4. When I was a child, I (　　) often go walking around here.
① can　② may　③ should　④ would

5. 彼はそんな失礼なことを父親に言うべきではない。
He (　　) (　　) (　　) (　　) such a rude thing to his father.
① ought　② say　③ not　④ to

6. He isn’t here yet. I am afraid that he (　　) his way.
① may be lost　② may have lost
③ may be having lost　④ may have been lost

●復習用シート

1	must の推量	～に違いない
2	cannot の推量	～のはずがない
3	will not	絶対～しない，拒絶
4	過去の習慣× 2	would often, used to do
5	had better, ought to do の否定形	had better not do, ought not to do
6	～したかもしれない	may have p.p.
7	～したに違いない	must have p.p.
8	～すべきだったのに	should have p.p.

復習テスト　　第７講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. Our teacher looks very pale today. He (　　　) be sick.
   ① cannot　② shouldn’t　③ must　④ had better

2. My daughter (　　　) often ask me questions when she was small.
   ① cannot help　② can　③ should　④ would

3. I (　　　) talk to a wall as talk to him.
   ① would have　② as well as　③ may as well　④ would often

4. My mother said, “Breakfast is important. You (　　　) skip it.”
   ① must　② had better　③ do　④ ought not to

5. That jacket is sold out now. I (　　　) bought it yesterday.
   ① cannot have　② should have　③ must have　④ ought not to have

NOTE

第８講　受動態

ポイント

【1】　受動態の作り方
【2】　受動態のバリエーション
【3】　受動態×熟語

ポイント【1】受動態の作り方

（例文その一）

Someone stole my wallet.　　　　誰かが私の財布を盗んだ。

↓　受動態にすると

My wallet was stolen by someone.

（例文その二）

We can see stars at night.　　　　夜，星が見える。

↓　受動態にすると

Stars can be seen at night by us.

（手順）

① 元の文の目的語を主語の位置に

② 動詞を be 動詞＋ p.p.（過去分詞）に

③ 元の文の主語を by 以下に？

☆なぜ受動態にするか？

⇒（　　　　　　　　　　）

●次の英文は，なぜ英文として間違っているか？

「私は財布を盗まれた」

⇒ I was stolen my wallet.

●復習用シート

1	受動態を作る手順	① 元の文の O を S の位置に
2		② 動詞を be 動詞＋ p.p. に
3		③ 元の文の S を by 以下に
4	なぜ受動態にするか	S が分からない，隠したい
5	I was stolen my wallet. が駄目な理由	受動態の S は元の文の O

復習テスト　第8講【1】

＊次の英文を，書き出しに続けてそれぞれ受動態に変えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Someone stole her plastic umbrella.
   ⇒ Her plastic umbrella (　　　).
   ① stole　② steals　③ was stolen　④ been stolen

2. Someone parked a bicycle there.
   ⇒ (　　　) there.
   ① Someone was parking a bicycle　② A bicycle was parked
   ③ Someone was parked a bicycle　④ A parking bicycle was

3. He solved that problem.
   ⇒ That problem (　　　) him.
   ① was solved by　② was solved
   ③ was solved to　④ was being solved

4. We can find some street cats here.
   ⇒ Some street cats (　　　) here.
   ① to be found　② can be found　③ found　④ can find

5. We can see the moon from the earth.
   ⇒ The moon (　　　) from the earth.
   ① has been seen　② can see　③ has seen　④ can be seen

NOTE

ポイント【2】受動態のバリエーション

●助動詞＋受動態 ⇒ [　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

We will see a full moon this evening. 今晩満月が見えるだろう。
↓受動態へ
A full moon（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）this evening by us.

●完了形＋受動態 ⇒ [　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

Someone has stolen my bag.　　　　誰かが私のカバンを盗んだ。
↓受動態へ
My bag（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）by someone.

●進行形＋受動態 ⇒ [　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

They are constructing the bridge.　　人々は橋を建築している最中だ。
↓受動態へ
The bridge（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）by them.

●第Ⅴ文型（C に原形不定詞）＋受動態 ⇒ [　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

They made me finish the work.
↓受動態へ
I（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）the work by them.

■問題演習

1. We want to go to the beach in his car, because our car still won’t (　　).

① fixed　② have been fixed
③ have fixed　④ having been fixed

2.

A: What have you done with your car?

B: I had some engine trouble yesterday, so it is (　　) now.

① being repaired　② having been repaired
③ having repaired　④ repaired

3. I was made (　　) for a long time.

① wait　② to wait　③ waiting　④ waited

●復習用シート

1	助動詞＋受動態	助動詞＋ be p.p.
2	完了形＋受動態	have been p.p.
3	進行形＋受動態	be being p.p.
4	make 人 do の受動態	人 be made to do

復習テスト　第8講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. More friends (　　　) to the party next month.
① invited　② should invite　③ invites　④ should be invited

2. A simple mistake (　　　) this morning.
① has discovered　② discovered
③ has been discovered　④ will discover

3. His 23rd birthday (　　　) at the restaurant.
① is being celebrated　② celebrated
③ having celebrated　④ is celebrating

4. He was made (　　　) yes to her question.
① say　② saying　③ to say　④ said

5. The boy was seen (　　　) the window.
① broke　② to break　③ broken　④ break

NOTE

ポイント【3】受動態×熟語

●群動詞（句動詞）とは？　⇒ give up（あきらめる）などの様に，動詞＋前置詞や動詞＋副詞などが，一語の動詞と同じ働きをする表現。

☆「私は外国の人に話しかけられた」I was spoken by a foreigner. が，なぜ間違っている英文か？

・speak to　　　〜に話しかける The young man was spoken to in English by a strange man. その若者は見知らぬ人に英語で話しかけられた。 ・laugh at　　　〜を笑う His jokes are laughed at by everyone. 彼の冗談はみんなに笑われる。 ・look up to　　　〜を尊敬する He is looked up to as a great player. 彼は偉大なプレイヤーとして尊敬されている。 ・speak ill of　　　〜の悪口を言う He is spoken ill of by his coworkers. 彼は同僚に悪口を言われている。

●受動態の熟語

・be known to　　〜に知られている The man is known to the police.　　その人は警察に知られている。 ・be known for　　〜で有名だ The Amazon is known for its length. アマゾン川はその長さで知られている。 ・be known as　　〜として知られている The woman is known as a famous actress. その女性は有名な女優として知られている。

■問題演習

1. On her way home, Keiko was (　　) a stranger.
　① spoken at　② spoken to by　③ spoken by　④ spoken with by

2. He was (　　) everybody.
　① laughed at　② laughed at by　③ laughed by　④ laughed

3. He always makes good decisions, so he is (　　) his friends.
　① looked up to　② looking up to by
　③ looked to up by　④ looked up to by

4. His name is known (　　) everyone in our town.
　① for　② to　③ as　④ in

●復習用シート

1	〜に話しかける	speak to
2	〜を笑う	laugh at
3	〜を尊敬する	look up to
4	〜の悪口を言う	speak ill of
5	be known to	〜に知られている
6	be known for	〜で有名だ，〜で知られている
7	be known as	〜として知られている

復習テスト　第8講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. When the boy made a mistake, he was (　　　) his classmates.
① laughed at by　② laughed　③ laughed by　④ laughed at

2. At the movie theater, she (　　　) an Asian man.
① spoke by　② spoke to by
③ was spoken to by　④ was spoken by

3. Mari is (　　　) by many people, because she is a great hip-hop dancer.
① looked down　② looked down on　③ looked up　④ looked up to

4. That popular singer is known (　　　) his deep voice.
① for　② as　③ to　④ of

5. Her full name is known (　　　) every young person.
① for　② as　③ to　④ of

NOTE

第９講　不定詞①

ポイント

【1】　不定詞の三用法
【2】　名詞的用法
【3】　形容詞的用法

☆不定詞の基本　＝　［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

ポイント【1】不定詞の三用法

・英文中で，to ＋動詞の原形　⇒　不定詞　⇒　三用法の何かを考える！
・三用法とは，名詞的用法「〜すること」・形容詞的用法「〜するための」
　副詞的用法「〜するために」

●三用法の区別の基本

・形容詞的用法　⇒　名詞 to do の形になる！！
　something to drink 飲み物

・名詞的用法は，S・O・C のどれかになる！

■問題演習

＊次の英文の不定詞を，三用法のいずれが使われているか，特定しなさい。

① We must study hard to pass the exam.

② I want something cold to drink.

③ To live in the country is my dream.

④ I wanted to know how she felt.

⑤ His dream is to become an astronaut.

⑥ Do you have any books to read in the train?

⑦ He went to the store to buy a present for her.

●復習用シート

1	不定詞の基本	to ＋動詞の原形
2	不定詞の三用法	名詞的用法「～すること」
3		形容詞的用法「～するための」
4		副詞的用法「～するために」

復習テスト　第９講【１】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切なものをそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. To learn new things is a lot of fun.
   ① ～を学ぶために　② ～を学ぶこと
   ③ ～を学ぶための　④ ～を学ぶなんて

2. He has some housework to do today.
   ① ～するための　② ～するほど
   ③ ～するために　④ ～すること

3. She went to bed early to wake up at 5.
   ① 起きること　② 起きるための
   ③ 起きるために　④ 起きるほど

4. One of my dreams is to live in Hawaii.
   ① 住むための　② 住むために
   ③ 住むこと　④ 住むなんて

5. It’s cold today. I want something hot to drink.
   ① ～を飲むこと　② ～を飲むために
   ③ ～を飲むなんて　④ ～を飲むための

NOTE

ポイント【2】名詞的用法　「～すること」

●文中の S・O・C になる

① S になる場合

・To live in the country is my dream.

↓実際には,

・It is my dream to live in the country.

② O になる場合

・I wanted to know how she felt.

↓

[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　] の形で覚える

・I tried to write to her.

↓

[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　] の形で覚える

・I decided to go abroad.

↓

[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　] の形で覚える

・She began to run.

↓

[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　] の形で覚える

③ C になる場合

・My dream is to play basketball with my son.

■問題演習

1. (　　) hard to decide the cause of the accident.

① There’s　② Here’s　③ It’s　④ That’s

2. My aim is (　　) abroad.

① study　② to study　③ to studying　④ for studying

3. He finally decided (　　) the girl he had been dating for five years.

① to marry　② marrying to　③ to marry with　④ to get married

●復習用シート

1	仮主語の it を受ける不定詞	名詞的用法「～すること」
2	want to do	～したい
3	try to do	～しようとする
4	decide to do	～することにする
5	begin to do	～し始める

復習テスト　　第９講【２】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I think ( ) is helpful to save money for a rainy day.
① there　② it　③ this　④ that

2. The purpose of this meeting is ( ) ideas from everyone.
① collect　② collected　③ to collect　④ to collecting

3. The manager wanted ( ) a success of the big project.
① making　② for making　③ in making　④ to make

4. That shy guy tried ( ) to the woman, but he couldn’t.
① to talk　② in the talks　③ talking　④ a talk

5. My uncle decided ( ) a new tablet for his daughter.
① buying　② bought　③ to buy　④ buys

NOTE

ポイント【3】形容詞的用法　「～する（ための）」

●名詞 to do の形を取る

・次の二つの文の違いを説明しなさい。

① I have a family to look after.　　　私には世話をする家族がいる。

② I have a family to look after me.　私は世話をしてくれる家族がいる。

・do と名詞の間に，VO 関係・VS 関係・同格関係・前置詞と O の関係が成立する

She got the ability to speak French. 彼女はフランス語を話す能力を習得した。

・次の文は正しいか否か？

I am looking for an apartment to live in.

●同格の不定詞を取る名詞

the ability to do	～する能力	the decision to do	～する決心
the promise to do	～する約束	the chance to do	～する機会

■問題演習

＊次の英文の不定詞の形容詞的用法を，名詞とＶの関係を指摘して，日本語に直しなさい。

1. I have made the decision to tell her the truth.

私は，（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

2. Do you have anything to say about this opinion?

あなたは（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）？

3. He is the first man to walk on the moon.

彼は（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

4. We have the ability to think and speak.

私達は（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

5. Could you lend me a basket to carry these apples in?

あなたは私に（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）？

●復習用シート

1	不定詞形容詞的用法の基本	名詞 to do, ～するための名詞
2	do と名詞に成り立つ関係	VO, VS, 同格, 前置詞と O
3	～する能力	the ability to do
4	～する決心	the decision to do
5	～する約束	the promise to do
6	～する機会，～する可能性	the chance to do

復習テスト　　第９講【３】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My uncle thinks he has the ability (　　　) see ghosts.
① that　② as　③ to　④ of

2. He has lots of movie DVDs (　　　).
① saw　② seen　③ seeing　④ to see

3. She was the first woman (　　　) to space.
① gone　② to go　③ has gone　④ went

4. I had the chance (　　　) to that famous actor.
① to talk　② talking　③ talked　④ in talks

5. They are looking for a shared house (　　　).
① lived　② living　③ to live　④ to live in

NOTE

第１０講　不定詞②

ポイント

【1】　副詞的用法①
【2】　副詞的用法②
【3】　不定詞の主語・否定形・完了不定詞

ポイント【1】副詞的用法①

●あえて，目的を強調したい時に使う表現× 2

in order to do, so as to do　「～するために」

・I am studying French in order to communicate with them.
　私は彼らとコミュニケーションを取るために，フランス語を勉強している。

・I took a bus so as not to be late.
　私は遅れないようにバスに乗った。

●結果の不定詞

・grow up to be　「成長して～になる」
　He grew up to be a great athlete.
　彼は成長して，偉大なアスリートになった。

・live to be ~　「生きて～になる」
　He lived to be eighty.　彼は生きて 80 歳になった。

・wake up to find oneself ~　「目覚めて～とわかる」
　I woke up to find myself lying on a bench.
　目覚めたら，ベンチで寝ていた。

・~, only to do …　「～したが，…するだけだった」
　He worked hard, only to fail.　彼は熱心に働いたが，失敗しただけだった。

■問題演習

1. He went to France (　　) study French literature.

① in view of　② in order to

③ for the purpose of　④ for

2. 彼女は誰も起こさないようにとても静かに話をした。

She spoke very quietly (　　) (　　) (　　) (　　) (　　) anybody up.

① wake　② not　③ to　④ as

⑤ so

3. She did her best only (　　) fail again.

① as　② that　③ with　④ to

4. My grandfather lived (　　) ninety-five.

① for being　② to be　③ being　④ till he would be

5. He grew up (　　) a very sensible man.

① so that　② so as to　③ to be　④ in order to be

●復習用シート

1	～するために× 2	in order to do, so as to do
2	目覚めて～とわかる, 目覚めたら～していた	wake up to find oneself ~
3	生きて～になる，～歳まで生きる	live to be ~
4	成長して～になる	grow up to be ~
5	～したが，…するだけだった	～ , only to do …

復習テスト　第 10 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He bought a new PC (　　　) to build his own website.
   ① in order that　② so that　③ so as　④ for the purpose

2. She set an alarm for 5:45 in (　　　) miss the flight.
   ① not that　② not so as　③ so as not to　④ order not to

3. I went to a shop to buy a new video game, (　　　) find it had been sold out.
   ① only to　② but to　③ in that　④ so as to

4. His son grew up (　　　) a professional skateboarder.
   ① on being　② in to be　③ to be　④ so that he could

5. Those soldiers woke up (　　　) themselves in a mountain cave.
   ① to finding　② to find　③ in order to find　④ found

NOTE

ポイント【2】副詞的用法②

●感情の原因・判断の根拠

・I'm glad to see you again.　　　　また会えて嬉しいよ。

・He must be smart to solve the problem in such a short time.
彼はそんな短時間でその問題を解くなんて，賢いに違いない。

●…するほど～× 2

～ enough to do …

・He was kind enough to show me the way.
彼は私に道を教えてくれるほど親切だった。

so ～ as to do …

・She was so foolish as to leave her car unlocked.
彼女は車に鍵をしないで放置するほど愚かだった。

●～すぎて…できない

too ～ to …

・The grass was too wet to sit on.　　草が濡れすぎていて座れなかった。

■問題演習

1. 彼は親切に駅までの道を教えてくれた。

He was（　　）（　　）（　　）（　　）me the way to the station.

① enough　② to　③ show　④ kind

2. 君がテストに合格だと伝えることができて嬉しい。

I（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）that you have passed the test.

① you　② happy　③ tell　④ am

⑤ to

3. You were kind enough to show me around the city.

= You were（　　　）（　　　）（　　　）to show me around the city.

4. I'm（　　）excited to eat anything.

① enough　② hardly　③ much　④ too

●復習用シート

1	…するほど～× 2	～ enough to do …
2		so ～ as to do …
3	～すぎて…できない	too ～ to …

復習テスト　　第 10 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My neighbor was kind (　　　) to feed my cat while I was away.
   ① very　② too　③ so　④ enough

2. The little girl was happy (　　　) to that spring festival.
   ① that going　② to go　③ been gone　④ to going

3. You must have a quick brain (　　　) the meaning of his joke.
   ① understood　② about understandings
   ③ to understand　④ understands

4. My father was so honest (　　　) tell me the truth.
   ① that　② enough to　③ as to　④ too

5. That game app was (　　　) to buy.
   ① too expensive　② expensive so
   ③ that expensive　④ expensive as

NOTE

ポイント【3】不定詞の主語・否定形・完了不定詞

●不定詞の主語　⇒　for S to do

・It is dangerous for us to swim in this river.
　私達がこの川で泳ぐのは危険だ。

・They stepped aside for her to pass.
　彼らは彼女が通り過ぎるために脇に寄った。

●不定詞の否定形　⇒　not to do

・不定詞を否定形にする時には，否定語を to の前に置く！！

・特に，in order to do, so as to do の否定形
⇒　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

●完了不定詞　⇒　to have p.p.

不定詞で，本動詞より以前を表す場合には，to have p.p. を使う。
・She is said to have been beautiful when she was young.
　彼女は若いころ，美しかったと言われている。

●不定詞の受動態　⇒　to be p.p.

不定詞の対応する名詞と受動の関係にある場合，to be p.p. の形にする。
・I like to be praised by my father.　私は父にほめられるのが好きだ。

■問題演習

1. It is important (　　) your parents' advice.

① you following　　② your following

③ of you to follow　　④ for you to follow

2. It is said that he was in Tokyo ten years ago.

= He is said (　　　　) (　　　　) (　　　　) in Tokyo ten years ago.

3. Students should try (　　) late.

① not be　　② to not be　　③ to don't be　　④ not to be

4. The thief seems to have worn (　　) (　　) (　　) (　　) any fingerprints.

*thief　泥棒　　fingerprint　指紋

① in order　　② not　　③ to leave　　④ gloves

5. The topic (　　) at this meeting is whether we should put off the plan.

① be discussing　　② to be discussed

③ is discussing　　④ to be discussing

●復習用シート

1	不定詞の主語	for S to do
2	不定詞の否定形	not to do
3	完了不定詞	to have p.p.
4	不定詞の受動態	to be p.p.

復習テスト　第 10 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. I believe it's necessary (　　) think about our future.
   ① us to　② for us to　③ our to　④ of us to

2. Her great grandfather (　　) been an ukiyoe artist.
   ① is said to　② was said to　③ have　④ is said to have

3. After all, he decided (　　) a smart watch.
   ① not to buy　② not to buying　③ to buy not　④ to buying not

4. Those travelers brought a map (　　) to get lost.
   ① in not order　② so not as　③ in order not　④ not so as

5. The news (　　) tomorrow is very important.
   ① be announcing　② to have announced
   ③ will be announcing　④ to be announced

NOTE

第 11 講　不定詞③

ポイント

【1】 be to 不定詞 , seem to do
【2】 不定詞の慣用表現
【3】 不定詞総復習

ポイント【1】be to 不定詞 , seem to do

●英文法の基礎知識

・be to 不定詞は，① 予定 ② 義務 ③ 意志 ④ 可能 の四つの意味（もう一つは，上のレベルで）

① We are to meet tomorrow.　　私達は明日会う予定だ。
⇒未来を表す副詞

② You are not to leave the building.　　その建物を出てはいけない。
⇒ You が主語

③ If you are to succeed in your job, you must work hard.
もしあなたが仕事で成功するつもりなら，一生懸命働かなければならない。
⇒ if 節中

④ The ring was not to be found.　　その指輪は見つからなかった。
⇒否定文＋受動態

☆ be to 不定詞の本質　⇒　[　　　　　　　　　　　　　　]

● seem to do, appear to do　「〜する様に思える」

・He seems to be happy.　　彼は幸せそうだ。

・They appeared to have nothing in common.
彼らは共通点が何もないように思えた。*have O in common　O を共通に持つ

■問題演習

1. その国際会議は明日開催される予定です。

The international conference（　　）to be held tomorrow.

① will be　② takes　③ is　④ makes

2. If you（　　）to succeed, you have to work hard.

① make　② are　③ take　④ will be

3. あのシャツは彼には大きいようだ。

That shirt（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）him.

① be　② seems　③ to　④ for

⑤ large

●復習用シート

1	be to 不定詞の本質	万能助動詞
2	seem の型と意味	seem to do
3		～する様に思える

復習テスト　第11講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My instructor said, “If you (　　　) a good swimmer, swim every day.”
   ① are to become　② become　③ to become　④ seem to become

2. She (　　　) in a good mood yesterday.
   ① seemed to　② looked like　③ appeared to be　④ was seen to

3. A new model of their smartphone is (　　　) next Wednesday.
   ① to release　② released　③ releasing　④ to be released

4. That rumor (　　　) be false.
   ① appears　② seems to　③ looks as if　④ looks like

5. Although they searched everywhere, the missing bag was (　　　) found.
   ① to be　② being　③ not to be　④ had been

NOTE

ポイント【2】不定詞の慣用表現

● All you have to do is to do ~. あなたがしなければならない全ては～することだ。
＝～しさえすればよい。

・All you have to do is to clean your room. あなたがしなければならない全ては，部屋を掃除することです。 ＝あなたは部屋を掃除しさえすればよい。

● To do 型

① To tell the truth　実を言うと ・To tell the truth, I don’t like *sushi*.　実を言うと，寿司が好きじゃない。 ② To be frank（honest）　率直に言うと ・To be honest, I don’t like him very much. 率直に言うと，私は彼をあまり好きじゃない。 ③ To begin with　まずはじめに ・To begin with, we didn’t have enough money. まずはじめに，私達には十分なお金がなかった。

●形容詞 to do 型

① Needless to say, to say nothing of　言うまでもなく ・Needless to say, he was very angry. 言うまでもないが，彼はとても怒っていた。 ② Strange to say　不思議なことに ・Strange to say, she passed the exam after all. 不思議なことに彼女は最終的にその試験に合格した。

■問題演習

1.（　　）you have to do is to sign your name.

① That　② Whatever　③ All　④ Only

2. All you have to do（　　）push this button.

① is　② are　③ need to　④ have to

3. He speaks Russian, to say（　　）of English.

① anything　② something　③ everything　④ nothing

4.（　　）to say, world peace is desirable for all people.

① When it comes　② Why don’t you

③ Needless　④ Quite a few

5. 実を言うと，日本酒が好きじゃない。

（　　　）（　　　）（　　　）the（　　　）, I don’t like *sake*.

●復習用シート

1	All you have to do is to do ~.	～しさえすればよい。
2	to tell the truth	実を言うと
3	to be honest（frank）	率直に言うと
4	to begin with	まずはじめに
5	needless to say, to say nothing of	言うまでもなく
6	strange to say	不思議なことに

復習テスト　　第 11 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. All you have to do (　　　) your anger.
   ① is to control　② to control　③ are to control　④ controlling

2. (　　　) with, we should solve this problem.
   ① To tell　② To begin　③ To need　④ To say

3. (　　　) say, everything has a good and bad side.
   ① Nothing into　② Without
   ③ Not to mention　④ Needless to

4. (　　　) say, I got a call from him when I was trying to contact him.
   ① Strangeness　② Strangely
   ③ Strange to　④ Strangers with

5. To (　　　), I was disappointed with his new work.
   ① be needless　② be strange
   ③ say nothing　④ be frank

NOTE

ポイント【3】不定詞総復習

① 不定詞の三用法は？ ⇒ [ ]

②「～するために」× 2 ⇒ [ ]

③ 上記表現の否定形 ⇒ [ ]

< 結果の不定詞 >

④ 成長して～になる ⇒ [ ]

生きて～歳になる ⇒ [ ]

目覚めると～していた ⇒ [ ]

～したが，…するだけだった ⇒ [ ]

⑤ …するほど～だ× 2 ⇒ [ ]

⑥ ～すぎて…できない ⇒ [ ]

⑦ 不定詞の主語 ⇒ [ ]

⑧ 不定詞の否定形 ⇒ [ ]

⑨ 完了不定詞 ⇒ [ ]

■問題演習

1. I promise（　　）again.

① be not late to　　② to be late not

③ not late to be　　④ not to be late

2. “How’s your father?” “He’s fine. He’s（　　）to play tennis every Sunday.”

① enough active　　② enough to active

③ active enough　　④ active to enough

3. I woke up（　　）on the bench.

① and found my to lying　　② to find myself lying

③ and found me to lie　　④ to find lying

4. その映画はあまりに難しすぎて私は理解できなかった。

The movie was（　　　　）difficult（　　　　）（　　　　）to understand.

5. She seems to（　　）a bad cold last night.

① be caught　② been caught　③ catch　④ have caught

復習テスト　第11講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. That student studied day and night, only (　　　) the exam.
① not failed　② fail　③ not failing　④ to fail

2. You should set an alarm in (　　　) oversleep tomorrow.
① order not to　② so as to　③ order to　④ so not as to

3. You (　　　) a proposal within two weeks.
① submit to　② are submitting to
③ are to submit　④ are to submit to

4. My doctor said, "(　　　) have to do is take this drug and go to sleep."
① Only　② All you　③ There　④ You only

5. The boy was (　　　) jump into the river from that high bridge.
① so brave as　② enough brave to
③ so brave that　④ brave enough to

NOTE

第 12 講　動名詞

ポイント

【1】　動名詞の基本
【2】　動名詞を O に取る動詞
【3】　動名詞の慣用表現

ポイント【1】動名詞の基本　⇒　doing「～すること」

●動名詞の役割　⇒　S・O・C になる。

・Playing video games is fun.	ゲームをすることは楽しい。
・I like playing video games.	ゲームをすることが好きだ。
・My hobby is playing video games.	私の趣味は，ゲームをすることだ。

☆不定詞の名詞的用法との違い

次の二つの文は，どちらが正しい文か？

・I am good at playing video games.

・I am good at to play video games.

●動名詞の応用

① 動名詞の主語　⇒　動名詞の前に，所有格（目的格）

・I don't like your speaking ill of others.

・I don't like you speaking ill of others.

　あなたが他人の悪口を言うのが好きではない。

② 動名詞の否定形　⇒　not ～ing　=　not の頭出し

・He was frustrated at not finding a job.

　彼は仕事が見つからなくていらいらしていた。

③ 完了動名詞　⇒　having p.p.　=　本動詞より以前を動名詞で表す

・I regret having been lazy at school.

　私は学校で怠けていたことを後悔している。

■問題演習

1. He thanked her for（　　）him with the homework.

①　to help　　②　helped　　③　helpful　　④　helping

2. My father complains of（　　）lazy.

①　I am　　②　I being　　③　me to be　　④　my being

3. 彼は嘘をつかなかったことを褒められた。

He was praised for（　　）（　　）（　　）（　　）lie.

①　a　　②　not　　③　told　　④　having

●復習用シート

1	前置詞の後ろは？	動名詞を置く，不定詞は×
2	動名詞の主語は？	所有格（目的格）
3	動名詞の否定形	not ~ing
4	完了動名詞	having p.p.

復習テスト　第 12 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My cousin is good at (　　　) the drums.
① to play　② playing　③ players　④ plays

2. He’s always complaining of (　　　) noisy.
① they being　② their being
③ them be　④ theirs to be

3. She thanked me for (　　　) her birthday.
① forgetting not　② not to forget
③ to forget not　④ not forgetting

4. One of his hobbies is (　　　) American TV dramas.
① watching　② watch
③ to watching　④ watches

5. I don’t have money at all now. I regret (　　　) the money.
① to waste　② wasteful
③ having wasted　④ that I’ll waste

NOTE

ポイント【2】動名詞を O に取る動詞

●動名詞・不定詞（名詞的用法）双方を目的語に取る動詞　⇒　remember

・次の二文の違いを説明しなさい。

I remember to post your letter.　　あなたの手紙を出すのを覚えている。

I remember posting your letter.　　あなたの手紙を出したのを覚えている。

・不定詞（to do）の持つイメージ　⇒　未来志向「これから～すること」

・動名詞（～ing）の持つイメージ　⇒　過去志向「（以前）～したこと」

↓

●不定詞を目的語に取る動詞　⇒　これからやることを意味する動詞

・decide to do　「～することに決める」

I decided to go abroad.　　私は外国に行くことに決めた。

・refuse to do　「～することを拒絶する」

She refused to marry him.　　彼女は彼と結婚することを拒絶した。

↓

●動名詞を目的語に取る動詞

・動名詞の持つイメージ　＝　① 反復　② 中断

①のイメージの動詞　⇒　mind, enjoy

mind ~ing（～するのを嫌がる・気にする）

・Would you mind opening the window?

あなたは窓を開けるのは嫌ですか？　＝　窓を開けてもらえませんか？

enjoy ～ ing（～して楽しむ）

・I enjoy playing the guitar.　　私はギターを弾くのを楽しむ。

②のイメージの動詞　⇒　stop ~ing, give up ~ing

stop ~ing

・I stopped smoking.　　煙草を吸うのをやめた。

give up ~ing

・I gave up smoking.　　煙草を吸うのをやめた。

■問題演習

1. “Haven’t we met somewhere before?” “Yes, I remember (　　) you at the party last month.”

① to meet　② of meeting　③ to meeting　④ meeting

2. Although it was late, she (　　) her family about the result.

① decides to phone　② decided phoning

③ decides phoning　④ decided to phone

3. Would you mind (　　) the door?

① open　② opening　③ to open　④ you open

4. He always enjoys (　　) various movies.

① see　② in seeing　③ to see　④ seeing

●復習用シート

1	動名詞・不定詞双方を O に取る V	remember
2	不定詞と動名詞の違い	未来志向・過去志向
3	不定詞を O に取る V	decide to do, refuse to do
4	動名詞の持つイメージ	① 反復　② 中断
5	①のイメージの V	mind ~ing, enjoy ~ing
6	②のイメージの V	stop ~ing, give up ~ing

復習テスト　　　第 12 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Let's enjoy (　　　) cards today.
　① play　② plays　③ to play　④ playing

2. I'm hungry, Dad. Would you mind (　　　) something for me?
　① to cook　② if it cooks　③ cooking　④ that you cooked

3. My brother is studying Spanish because he decided (　　　) in Spain.
　① to live　② living　③ that he lives　④ where live

4. Stop (　　　) about the past. That happens all the time.
　① from worrying　② worrying　③ worries that　④ to worry

5. Remember (　　　) two tablets after every meal.
　① that take　② to take　③ as taking　④ taking

NOTE

ポイント【3】 動名詞の慣用表現

① When it comes to ~ing, 「～することになると」

・When it comes to playing the guitar, he is a genius.
ギターを弾くことになると，彼は天才だ。

② What do you say to ~ing? 「～してはどうですか？」
=What about ~ing?

・What do you say to seeing a movie?　映画を見に行きませんか？
・What about seeing a movie?　映画を見に行きませんか？

③ There is no ~ing. 「～できない」

・There is no accounting for tastes.
蓼食う虫も好き好き。（人の好みは説明できない）

④ It is no use ~ing. 「～しても無駄だ」

・It is no use crying over spilt milk.
こぼれたミルクを嘆いても無駄だ。＝　覆水盆に返らず。

⑤ It goes without saying that ~. 「～は言うまでもない」

・It goes without saying that honesty is the best policy.
正直が一番というのは言うまでもない。

⑥ feel like ~ing 「～したい気がする」

・I feel like going for a walk.　散歩をしたい気分だ。

■問題演習

1. What do you say (　　) a walk to the park?

① of taking　② take　③ taking　④ to taking

2. “What would you like to do today?” “I feel like (　　) for a drive.”

① going　② I go　③ am going　④ to go

3. I enjoy looking at photographs, but when it comes (　　) them, I know nothing.

① to take　② to taking　③ being taken　④ taking

4. 彼が次に何をするか誰も分からない。

(　　) (　　) (　　) (　　) what he will do next.

① is　② knowing　③ no　④ there

●復習用シート

1	When it comes to ~ing,	～することになると
2	What do you say to ~ing?	～してはどうですか
3	There is no ~ing.	～できない
4	It is no use ~ing.	～しても無駄だ
5	It goes without saying that ~.	～は言うまでもない
6	feel like ~ing	～したい気がする

復習テスト　　第 12 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She’s very angry with you. I think it’s no use (　　) sorry to her now.
   ① say　② sayings　③ saying　④ to say

2. (　　) goes without saying that tablets are useful.
   ① There　② Only　③ It　④ When

3. Hey, what do you say (　　) a 30-minute break?
   ① to take　② to taking　③ taking　④ take

4. I didn’t feel (　　) anything, so I skipped lunch.
   ① eating　② to eat　③ eaten　④ like eating

5. There (　　) explaining my feelings. Actually, I can’t express them in words.
   ① goes without　② is no　③ comes to　④ is like

高１・高２スタンダードレベル英語＜文法・読解編＞　前編　解答

本講座では，解答編もただ答えを載せるものではなく，徹底して受講生の復習を意識した構成にしました。

この講座は，これから広がる大きな英語の世界の基礎を固める大切な始まりです。何より重視してほしいのが，英語学習の習慣。授業を聞いて終わりにしない，復習の大切さ・授業に準備をしてのぞむ，予習の大切さ，英語学習の繰り返すことの大切さ，これを念頭に英語学習の良いスタートを切ってください。講義では，全訳はしませんから，この解答の掲載している全訳を参考にしてください。

予習⇒授業⇒復習⇒復習テストのサイクルで，理解⇒定着⇒実践のサイクルで，英語力を徹底して高めていきましょう。

第１講　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

(1) ① These trees grow tall.　　これらの木は, 高く（ **なる／成長する** ）。

S V C　　⇒第Ⅱ文型

② Japanese grow rice traditionally.　　日本人は，伝統的に米を（ **栽培する** ）。

S V O M　　⇒第Ⅲ文型

(2) ① He became a doctor.　　彼は医者に（ **なった** ）。

S V C　　⇒第Ⅱ文型

② Your hat becomes you.　　あなたの帽子は（ **似合っています** ）。

S V O　　⇒第Ⅲ文型

(3) ① He looked at the dog.　　彼はその犬を（ **見た** ）。

S V M　　⇒第Ⅰ文型

② He looked happy.　　彼は幸せに（ **見えた** ）。

S V C　　⇒第Ⅱ文型

(4) ① He ran for three hours.　　彼は３時間（ **走った** ）。

S V M　　⇒第Ⅰ文型

② He ran the company.　　彼はその会社を（ **経営していた** ）。

S V O　　⇒第Ⅲ文型

ポイント【2】 問題演習の解答

全て第Ⅰ文型

① There is a dog at the door.　　ドアのところに（ **犬がいる** ）。

M V S M

② There lived a wise man in Greece.　　ギリシア（ **に賢い人が住んでいた** ）。

M V S M

③ She stayed by her mother.　　彼女は母親の（ **そばにいた** ）。

S V M

④ The town lies in a small valley.　　その町は小さな谷間（ **にある** ）。

S V M

⑤ Don’t cry over spilt milk.　　（ **覆水盆に返らず** ）。(ことわざ)

V M

⑥ He spoke in a low voice.　　彼は低い声で（ **話した** ）。

S V M

⑦ He insisted on speaking to her father.
S V M　彼は彼女の父に話をすると（ **言い張った** ）。

⑧ This bus goes to Tokyo.　このバスは東京に（ **行く** ）。
S V M

⑨ He runs every morning.　彼は毎朝（ **走る** ）。
S V M

⑩ They came to the country yesterday.
S V M M　彼らは昨日田舎に（ **やってきた** ）。

ポイント【3】　問題演習の解答

全て第Ⅱ文型

① Your dress looks nice.　あなたのドレスは素敵（ **に見える** ）。
S V C

② Good medicines taste bitter.　良薬は口（ **に苦し** ）。(ことわざ)
S V C

③ This piano sounds fantastic.　このピアノは素晴らしい音（ **に聞こえる** ）。
S V C

④ She feels happy.　彼女は幸せ（ **に感じている** ）。
S V C

⑤ This flower smells sweet.　この花は甘い（ **匂いがする** ）。
S V C

⑥ India became an independent country.
S V C　インドは独立国家（ **になった** ）。

⑦ Dreams come true.　夢は（ **かなう** ）。
S V C

⑧ Things sometimes go bad.　物事は時に（ **悪くなる** ）。
S M V C

⑨ She turned pale.　彼女は（ **青ざめた** ）。
S V C

第２講　　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

全て第Ⅲ文型

① We discussed the problem with them.

S V O M

私達は彼らとその問題（ **について議論した** ）。

② He married her last year.　彼は昨年彼女と（ **結婚した** ）。

S V O M

③ He reached the hotel at midnight.

S V O M　彼は真夜中にホテルに（ **着いた** ）。

④ Nick closely resembled his father.

S M V O　ニックは彼の父親にとても（ **似ていた** ）。

⑤ You should mention my name to your boss.

S V O M

上司に私の名前（ **について言うべきだ** ）。

⑥ I know that you are my friend. 私はあなたが私の友人（ **だと知っている** ）。

S V O

ポイント【2】 問題演習の解答

全て第Ⅳ文型

① The teacher gave him five minutes.

S V O_1 O_2　その先生は彼に五分間（ **与えた** ）。

② I teach these kids English.　私はこの子供達に英語を（ **教えている** ）。

S V O_1 O_2

③ He told us jokes.　彼は私達に冗談を（ **言った** ）。

S V O_1 O_2

④ Please show me your passport.

M V O_1 O_2　私にあなたのパスポートを（ **見せてください** ）。

⑤ My parents lent me the car.　両親が私に車を（ **貸してくれた** ）。

S V O_1 O_2

⑥ Her friends told her that her husband was crazy.

S V O_1 O_2

彼女の友達は彼女に（ **彼女の夫は気が狂っていると伝えた** ）。

⑦ That will show us that he is honest.

S　V　O_1　O_2

そのことは私達に（ **彼が正直者であることを教えてくれるだろう** ）。

ポイント【3】　問題演習の解答

① I will give my wife the bag.

私は妻にそのかばんをあげようと思っています。

⇒ I will give（ **the bag to my wife** ）.

② He bought his daughter a new ring.　彼は娘に新しい指輪を買ってあげた。

⇒ He bought（ **a new ring for his daughter** ）.

③ She cooked her boyfriend a delicious meal.

彼女はボーイフレンドにおいしい食事を作ってあげた。

⇒ She cooked（ **a delicious meal for her boyfriend** ）.

④ I lent my friends the car.　私は友人に車を貸してあげた。

⇒ I lent（ **the car to my friends** ）.

⑤ She showed her students the book.　彼女は生徒にその本を見せた。

⇒ She showed（ **the book to her students** ）.

第３講　　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

① He found the bed comfortable.　彼は（ **そのベッドを快適に思った** ）。

S　V　O　C

② I made him captain of my team.

S　V　O　C

私は（ **彼を私のチームのキャプテンにした** ）。

③ He left the engine running.　彼は（ **エンジンをつけっぱなしにした** ）。

S　V　O　C

④ I saw him walking across the street.

S　V　O　C　M

私は（ **彼が道路を横切るのを見た** ）。

⑤ He called the natives Indians.　彼は（ **その原住民をインディアンと呼んだ** ）。

S　V　O　C

⑥ Many people thought the war a mistake.

S　V　O　C

多くの人が（ **その戦争を間違いだと思った** ）。

⑦ I had my hair cut yesterday.　私は昨日髪の毛（ **を切ってもらった** ）。

S　V　O　C　M

⑧ I had my bag stolen.　私はカバン（ **を盗まれた** ）。

S　V　O　C

ポイント【2】 問題演習の解答

① I saw him walk across the street.

S　V　O　C　M

私は（ **彼が通りを横切るのを見た** ）。

② I had a mechanic look at this car.

S　V　O　C　M

私は（ **機械工にこの車を見てもらった** ）。

③ My parents let me go abroad.　両親が（ **私を海外に行かせてくれた** ）。

S　V　O　C　M

④ Her jokes made us laugh.　彼女の冗談は（ **私達を笑わせた** ）。

S　V　O　C

⑤ He had a repairman fix the computer.

S　V　O　C

彼は（ **修理工にコンピューターを修理してもらった** ）。

⑥ I heard him go out.　　私は（ **彼が外に出ていくのを聞いた** ）。

S　V　O　C

ポイント【3】 問題演習の解答

1. ④　彼は私が彼の携帯電話を使うのを許してくれた。
2. ③　私は父に 6 時に迎えに来てもらうように頼んだ。
3. ②　彼の助けのおかげで私はその仕事を終えられた。

第４講　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

1. ④　太陽は東から昇る。
2. ③　サンディは今家で夕食を食べている最中だ。
3. ③　私の先生は地球は丸いと言った。
4. ③　今昼食を食べている最中です。後で来てもらえますか。

ポイント【2】 問題演習の解答

1. ③　私は先週彼の手紙を受け取った。
2. ③　私達は学生の頃，キャッチボールをやったものだ。
3. ④　電話が鳴った時，私は夕食を作っている最中だった。
4. ③　彼は私がその少女を知っていると思っていた。

ポイント【3】 問題演習の解答

1. ①　もし私が彼女に会ったら，この手紙を彼女に渡すよ。
2. ④　彼女がやってきたら，彼女にこの手紙を渡します。
3. ①　夜ぐっすり眠れば，気分がよくなるよ。
4. ①　あなたが仕事を終えたら，私に電話をください。
5. ②　あなたが帰ってくるまでに，それを終えておきます。

第５講　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

1. ②　その木は百年間そこに立っている。
2. ①　そのお店は，ここ三週間，ずっと閉まっている。
3. ②　マイクと私は，仲の良い友達だ。私達は若いころからずっとお互いを知っている。

ポイント【2】 問題演習の解答

1. ④　私が教室に着いたとき，テストがすでに始まっていた。
2. ③　地震が起きた時，彼女は東京に五年間いるところであった。
3. ②　電話で目覚めたとき，あまり長く寝ていなかった。

ポイント【3】 問題演習の解答

1. ④　マイクは来月で五年間札幌にいることになる。
2. ②　来月で，私がトムと知り合って 20 年たつ。
3. ④　次の四月で彼は 6 年間英語を勉強し続けていることになる。

第６講　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

1. ③　通りを渡るときはとても注意しなければならない。
2. ④　「パーティーに行く予定ですか？」「わからない。行くかもしれない。」
3. ④　雨が降り始める前に家に帰るべきだ。
4. ①　その女の子はその問題を解いた。彼女はとても賢いに違いない。

ポイント【2】 問題演習の解答

1. ③　一生懸命押しているが，そのドアはどうしても開かない。
2. ④　私はこの公園でよく野球をした。
3. ②　昨晩友人と外出できなかったのは，宿題を終わらさなければならなかったからだ。
4. ①　本当に親切だね。私にプレゼントを買わなくてもよかったのに。

ポイント【3】 問題演習の解答

1. ②　彼女は私がその計画をあきらめるべきだと言った。
2. ③　今会議に現れない方がいい。
3. ②　多くのチケットが残っているので，チケットカウンターに急ぐ必要はない。

第７講　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

1. ②　彼は昨日病気で寝ていたはずがない。私は博物館で彼を見た。
2. ④　マイクは昨日財布を無くした。彼は電車でそれを落としたに違いない。
3. ④　私はその映画を見たかもしれないが，いつ見たか思い出せない。
4. ②　彼は昨晩彼女に電話をすべきだったが，忘れてしまった。

ポイント【2】 問題演習の解答

1. ②－①－④－③
   You (**cannot be too careful**) in choosing your friends.
2. ①　私は彼を笑わざるをえない。
3. ③　私は今日の午後勉強するよりむしろショッピングに行きたい。
4. ④　あなたがギャンブルにお金を使うのは，お金を捨てるようなものだ。

ポイント【3】 問題演習の解答

1. ①　彼女は病気に違いない。
2. ④　彼は五十を超えているはずがない。四十代に違いない。
3. ③　私は彼女を外に連れて行こうとしたが，どうしても外出しなかった。
4. ④　子供の頃，よくここら辺を散歩したものだ。
5. ①－③－④－②
   He (**ought not to say**) such a rude thing to his father.
6. ②　彼はまだここにいない。彼は道に迷ったかも知れないと思う。

第８講　解答

ポイント【2】 問題演習の解答

1. ②　私達は彼の車で浜辺に行きたい，なぜなら私達の車はまだ修理できていないだろうから。

2. ①

A:「車がどうかした？」

B:「昨日エンジンがおかしくなったから，今修理している最中だ」

3. ②　私は長い間待たされた。

ポイント【3】 問題演習の解答

1. ②　ケイコは家に帰る途中，見知らぬ人に話しかけられた。
2. ②　彼はみんなに笑われた。
3. ④　彼はいつも良い決断をするので，友人に尊敬されている。
4. ②　彼の名前は私達の町の皆に知られている。

第９講　　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

① **副詞的用法**　私達は試験に合格するために一生懸命勉強しなければならない。
② **形容詞的用法**　私は冷たい飲み物が欲しい。
③ **名詞的用法**　田舎に住むことが私の夢です。
④ **名詞的用法**　私は彼女がどう感じているか知りたかった。
⑤ **名詞的用法**　彼の夢は宇宙飛行士になることです。
⑥ **形容詞的用法**　あなたは電車で読む本を持っていますか？
⑦ **副詞的用法**　彼は彼女へのプレゼントを買うためにその店に行った。

ポイント【2】 問題演習の解答

1. ③　その事故の原因を決定することは難しい。
2. ②　私の目標は，留学することだ。
3. ①　彼は最終的に５年間付き合ってきた女の子と結婚することにした。

ポイント【3】 問題演習の解答

1. 同格関係　私は，（ **彼女に真実を伝える決心をした** ）。
2. ＯとＶの関係　あなたは（ **この意見について言うことはありますか** ）？
3. ＳとＶの関係　彼は（ **月面を歩いた最初の人だ** ）。
4. 同格関係　私達は（ **考えたり話したりする能力がある** ）。
5. ＯとＶ（前置詞）の関係
あなたは私に（ **これらのリンゴを入れて運ぶかごを貸してくださいますか** ）？

第 10 講　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

1. ②　彼はフランス文学を勉強するためにフランスに行った。
2. ⑤ー④ー②ー③ー①
   She spoke very quietly (**so as not to wake**) anybody up.
3. ④　彼女はベストを尽くしたが，また失敗しただけだった。
4. ②　私の祖父は 95 歳まで生きた。
5. ③　彼は成長して，とても分別のある人になった。

ポイント【2】 問題演習の解答

1. ④ー①ー②ー③
   He was (**kind enough to show**) me the way to the station.
2. ④ー②ー⑤ー③ー①
   I (**am happy to tell you**) that you have passed the test.
3. You were (**so kind as**) to show me around the city.
   あなたは私を町に案内してくれるほど親切だった。
4. ④　私は興奮しすぎて，何も食べられない。

ポイント【3】 問題演習の解答

1. ④　あなたが両親のアドバイスに従うことは重要だ。
2. He is said (**to have been**) in Tokyo ten years ago.
   彼は十年前東京にいたと言われている。
3. ④　学生は遅れないようにすべきだ。
4. ④ー①ー②ー③
   The thief seems to have worn (**gloves in order not to leave**) any fingerprints.
   その泥棒は，指紋を残さないように手袋をつけていたように思える。
5. ②　この会議で話し合うべき話題は，私達がその計画を延期すべきかどうかだ。

第 11 講　解答

ポイント【1】　問題演習の解答

1. ③
2. ②　もしあなたが成功するつもりなら，一生懸命働かなければならない。
3. ②－③－①－⑤－④

   That shirt (**seems to be large for**) him.

ポイント【2】　問題演習の解答

1. ③　あなたはサインしさえすればよい。
2. ①　あなたはこのボタンを押しさえすればよい。
3. ④　彼はロシア語を話すし，英語は言うまでもない。
4. ③　言うまでもなく，世界平和は全人類に望ましい。
5. (**To tell you**) the (**truth**), I don’t like sake.

ポイント【3】　問題演習の解答

1. ④　私は二度と遅れないと約束する。
2. ③　「あなたのお父さんは元気ですか。」「彼は元気ですよ。毎週日曜日，テニスをするほど元気だ。」
3. ②　目覚めて気付いたら，ベンチに寝ていた。
4. The movie was (**too**) difficult (**for me**) to understand.
5. ④　彼女は昨晩ひどい風邪をひいたようだ。

第 12 講　　解答

ポイント【1】 問題演習の解答

1. ④　彼は彼女に宿題を手伝ってくれたことを感謝した。
2. ④　私の父は，私が怠けていることに不平を言っている。
3. ②－④－③－①

   He was praised for (**not having told a**) lie.

ポイント【2】 問題演習の解答

1. ④　「私達は以前どこかで会ったことがない ?」「はい，先月のパーティーで会ったのを覚えています。」
2. ④　遅かったけれども，彼女はその結果について家族に電話することにした。
3. ②　そのドアを開けてもらえますか。
4. ④　彼はいつも様々な映画を見て楽しんでいる。

ポイント【3】 問題演習の解答

1. ④　公園まで散歩するのはどうですか。
2. ①　「今日何がしたいですか ?」「ドライブに行きたい気分。」
3. ②　写真を見て楽しみはするが，写真を撮ることになると，何も知らない。
4. ④－①－③－②

   (**There is no knowing**) what he will do next.

復習テスト（解答）　第１講【1】

1. ④ She got to the park at 4 p.m.　彼女は午後４時に公園に**到着した。**

解説：
to the park 以下を M（修飾語）とする，SV(M) の第 I 文型の文。
第 I 文型における get の意味は「到着する」なので，
ここではその過去形である got を意味する「到着した」が正解。

2. ② Mami became a musician.　マミは音楽家**になった。**

解説：
Mami と a musician が S（主語）＝ C（補語）の関係になっている SVC の第Ⅱ文型の文。
第Ⅱ文型における become の意味は「～になる」なので，
ここではその過去形である became を意味する「～になった」が正解。

3. ① My father grows vegetables.　父は野菜**を栽培する。**

解説：
vegetables が動詞 grows の O（目的語）になっている SVO の第Ⅲ文型の文。
第Ⅲ文型における grow の意味は「～を栽培する」。

4. ③ Lisa looked sleepy this morning.　リサは今朝，眠そう**に見えた。**

解説：
Lisa と sleepy が S ＝ C の関係になっている SVC の第Ⅱ文型の文。
時を表す副詞（句）this morning は M（修飾語）なので，(　　) に入れて文型から外す。
第Ⅱ文型における look の意味は「～に見える」なので，
ここではその過去形である looked を意味する「～に見えた」が正解。

5. ② Manabu runs for an hour every day.　マナブは毎日，１時間**走る。**

解説：
for an hour 以下を M とする，SV(M) の第 I 文型の文。第 I 文型における run の意味は「走る」。

復習テスト（解答）　第１講【2】

1. ③ There is a girl in the park.　公園に少女**がいる。**

解説：
There is[are] ～ . は「～がいる［ある］」という意味の存在を表す構文。
文頭にある There を M（修飾語）とする，MVS の第Ⅰ文型の文。
主語である a girl が重要な新情報であるために倒置されている。

2. ② There lived an old man in the village.
その村には一人の老人が**住んでいた。**

解説：
〈There ＋存在などを表す動詞＋主語〉「～が…する」の形の，MVS の第Ⅰ文型の文。
第Ⅰ文型における live は「住む」という存在を表す意味なので，
ここではその過去形である lived を意味する「住んでいた」が正解。

3. ④ I spoke to her yesterday.　私は昨日，彼女と**話した。**

解説：
to her 以下を M とする，SVM の第Ⅰ文型の文。
speak to で「～に話しかける」という発話を表す意味なので，
ここではその過去形である spoke を意味する「話した」が正解。
yesterday などの時を表す副詞は M なので，(　　) に入れて文型から外す。

4. ① My father runs every Sunday.　父は毎週日曜日に**走る。**

解説：
every Sunday を M とする，SVM の第Ⅰ文型の文。
第Ⅰ文型における run は「走る」という移動を表す意味。
every Sunday は時を表す副詞（句）なので，(　　) に入れて文型から外す。

5. ② He insisted on going there.　彼はそこへ行くと**言い張った。**

解説：
on going there を M とする，SVM の第Ⅰ文型の文。
insist on で「～と言い張る」という発話を表す意味なので，
ここではその過去形である insisted を意味する「言い張った」が正解。
on の後ろに動詞を続ける場合，動名詞にする。

復習テスト（解答）　第１講【3】

1. ④ My father looks angry today.　父は今日，怒っている**ように見える。**

解説：
My father と angry が S（主語）＝ C（補語）の関係になっているので，SVC の第Ⅱ文型の文。
第Ⅱ文型における look は「～に見える」という五感を表す意味。

2. ③ This drink tastes sweet.　この飲み物は甘い**味がする。**

解説：
This drink と sweet が S ＝ C の関係になっているので，SVC の第Ⅱ文型の文。
第Ⅱ文型における taste は「～の味がする」という五感を表す意味。

3. ① The boy feels sad.　少年は悲しいと**感じている。**

解説：
The boy と sad が S ＝ C の関係になっているので，SVC の第Ⅱ文型の文。
第Ⅱ文型における feel は「～に感じる」という五感を表す意味。

4. ② My dream came true.　私の夢が**かなった。**

解説：
My dream と true が S ＝ C の関係になっているので，SVC の第Ⅱ文型の文。
第Ⅱ文型における come は「～になる」という変化を表す意味なので，ここではその過去形である came を意味する「～になった」が正解。come true「（夢などが）実現する」。

5. ③ That orange went bad.　そのオレンジは腐って**しまった。**

解説：
That orange と bad が S ＝ C の関係になっているので，SVC の第Ⅱ文型の文。
第Ⅱ文型における go は「～になる」という変化を表す意味なので，ここではその過去形である went を意味する「～になった」が正解。go bad「（食べ物などが）腐る」。

復習テスト（解答）　第２講【1】

1. ③ Carl <u>resembles</u> his older sister.　カールは彼の姉**に似ている**。

解説：
SVO の第Ⅲ文型の文。
resemble は目的語を直接取る動詞で，resemble O で「O に似ている」の意味。

2. ② You should <u>marry</u> that nice guy.
君はあの素敵な男性**と結婚する**べきだ。

解説：
SVO の第Ⅲ文型の文。marry は目的語を直接取る動詞で，marry O で「O と結婚する」の意味。

3. ③ I <u>discussed</u> the future plan with her.
私は彼女と今後の計画**について議論した**。

解説：
with her を M とする，SVO の第Ⅲ文型の文。
discuss は目的語を直接取る動詞で，discuss O で「O について議論する，話し合う」の意味。

4. ④ He <u>mentioned</u> the serious problem.
彼はその深刻な問題**について言った**。

解説：
SVO の第Ⅲ文型の文。
mention は目的語を直接取る動詞で，mention O で「O について言う，言及する」の意味。

5. ① We <u>reached</u> the train station at 8.　私たちは８時に鉄道駅**に到着した**。

解説：
at 8 を M とする，SVO の第Ⅲ文型の文。
reach は目的語を直接取る動詞で，reach O で「O に到着する」の意味。

復習テスト（解答）　第２講【2】

1. ④ I told her that he was brave.　私は彼女**に**，彼は勇敢だ**と伝えた。**

解説：
her を O_1，名詞節の that he was brave を O_2 とする，SVO_1O_2 の第Ⅳ文型の文。
tell O_1 O_2 で「O_1 に O_2 を伝える」という意味。

2. ② She gave me a birthday present.　彼女は私**に**誕生日プレゼント**をくれた。**

解説：
me を O_1，a birthday present を O_2 とする，SVO_1O_2 の第Ⅳ文型の文。
give O_1 O_2 で「O_1 に O_2 を与える」という意味。

3. ① He lent me his electric bass.　彼は私**に**エレキベース**を貸してくれた。**

解説：
me を O_1，his electric bass を O_2 とする，SVO_1O_2 の第Ⅳ文型の文。
lend O_1 O_2 で「O_1 に O_2 を貸す」という意味。ここでの lent は lend の過去形。
electric bass「エレキベース」。

4. ② I'll show you my new photo.　君**に**私の新しい写真**を見せてあげよう。**

解説：
you を O_1，my new photo を O_2 とする，SVO_1O_2 の第Ⅳ文型の文。
show O_1 O_2 で「O_1 に O_2 を見せる，示す」という意味。

5. ③ He teaches us world history.　彼は私たち**に**世界史**を教えてくれる。**

解説：
us を O_1，world history を O_2 とする，SVO_1O_2 の第Ⅳ文型の文。
teach O_1 O_2 で「O_1 に O_2 を教える」という意味。

復習テスト（解答）　第２講【3】

1. ③ He often gives me advice.　彼はよく，私にアドバイスをくれる。
⇒ He often gives (**advice to me**).

解説：
give O_1 O_2「O_1 に O_2 を与える」を第Ⅳ文型から第Ⅲ文型に書き換えると，SV O_2 to O_1 となる。

2. ① The boy lent me his comic book.　少年は私に漫画を貸してくれた。
⇒ The boy lent (**his comic book to me**).

解説：
lend O_1 O_2「O_1 に O_2 を貸す」を第Ⅳ文型から第Ⅲ文型に書き換えると，SV O_2 to O_1 となる。

3. ② She bought her son a new coat.
彼女は息子に新しいコートを買ってあげた。
⇒ She bought (**a new coat for her son**).

解説：
buy O_1 O_2「O_1 に O_2 を買ってやる」を第Ⅳ文型から第Ⅲ文型に書き換えると, SV O_2 for O_1 となる。

4. ④ My uncle showed me his new car.　おじは私に新車を見せてくれた。
⇒ My uncle showed (**his new car to me**).

解説：
show O_1 O_2「O_1 に O_2 を見せる，示す」を第Ⅳ文型から第Ⅲ文型に書き換えると,
SV O_2 to O_1 となる。

5. ③ My sister made me a tuna sandwich.
姉は私にツナサンドを作ってくれた。
⇒ My sister made (**a tuna sandwich for me**).

解説：
make O_1 O_2「O_1 に O_2 を作ってやる」を第Ⅳ文型から第Ⅲ文型に書き換えると,
SV O_2 for O_1 となる。

復習テスト（解答）　第３講【1】

1. ③ Her great courage made her a hero.
   彼女の大きな勇気が彼女**を**英雄**にした。**

解説：
her と名詞 a hero「英雄」をイコールの関係で結ぶことができるので，第Ⅴ文型（SVOC）の文。
第Ⅴ文型の make は，make O C で「O を C にする」という意味。

2. ④ I found the service convenient.　私はそのサービス**が**便利**だと思った。**

解説：
the service と形容詞 convenient をイコールの関係で結ぶことができるので，
第Ⅴ文型（SVOC）の文。第Ⅴ文型の find は，find O C で「O が C だと思う，わかる」という意味。

3. ② We had our air conditioner repaired.
   私たちはエアコン**を**修理**してもらった。**

解説：
our air conditioner と過去分詞 repaired が S' と V' の関係にあるので，第Ⅴ文型（SVOC）の文。
第Ⅴ文型の have は，have O C で「O を C してもらう」という意味。repair「～を修理する」。

4. ① I saw the actor driving a sports car.
   私はその俳優**が**スポーツカーを運転**しているのを見た。**

解説：
the actor と現在分詞 driving が S' と V' の関係にあるので，第Ⅴ文型（SVOC）の文。
第Ⅴ文型の see は，see O C で「O が C するのを見る」という意味。

5. ② We left the large window open.
   私たちは大きな窓**を**開け**っぱなしにした。**

解説：
the large window と形容詞 open をイコールの関係で結ぶことができるので，
第Ⅴ文型（SVOC）の文。第Ⅴ文型の leave は，leave O C で「O を C のままにする」という意味。

復習テスト（解答）　第３講【2】

1. ④ My little sister let me use her tablet.
妹は私**に**タブレットを使わせて**くれた。**

解説：
me と動詞の原形 use が S' と V' の関係にある第Ⅴ文型（SVOC）の文。
第Ⅴ文型の let には，原形不定詞を補語に取り，
let 人 do で「〜に許可を与えて…させる」の意味がある。

2. ① She made her husband stop smoking.　彼女は夫に禁煙**させた。**

解説：
her husband と動詞の原形 stop が S' と V' の関係にある第Ⅴ文型（SVOC）の文。
第Ⅴ文型の make には，原形不定詞を補語に取り，
make 人 do で「〜に無理やり…させる」の意味がある。

3. ② I heard my pet cat scratch the wall.
私は飼い猫**が**壁を引っかく**のが聞こえた。**

解説：
my pet cat と動詞の原形 scratch「〜を引っかく」が S' と V' の関係にある第Ⅴ文型（SVOC）の文。
第Ⅴ文型の hear には，原形不定詞を補語に取り，
hear O C で「O が C するのが聞こえる」の意味がある。

4. ② He had the taxi driver wait for a minute.
彼はタクシー運転手**に**少しの間待って**もらった。**

解説：
the taxi driver と動詞の原形 wait が S' と V' の関係にある第Ⅴ文型（SVOC）の文。
第Ⅴ文型の have には，原形不定詞を補語に取り，
have 人 do で「〜に職務として…させる」の意味がある。

5. ③ We saw a dog run in the park.
私たちはイヌ**が**公園で走る**のを見た。**

解説：
a dog と動詞の原形 run が S' と V' の関係にある第Ⅴ文型（SVOC）の文。
第Ⅴ文型の see には，原形不定詞を補語に取り，
see O C で「O が C するのを見る，目にする」の意味がある。

復習テスト（解答）　第３講【3】

1. ③ My father (**allowed**) me to work part-time.
   父は，私がアルバイトするのを許した。

解説：
空所の後ろに目的語 me と不定詞が続いている。よって，不定詞を補語に取り，
allow O to do で「O が～するのを許す」の意味になる allowed が正解。

2. ② She asked me (**to explain**) the real reason.
   彼女は私に，本当の理由を説明するように頼んだ。

解説：
動詞 ask は第Ⅴ文型を取る動詞で，ask O to do で「O に～するように頼む」の意味。
よって，不定詞の to explain が正解。ここでの不定詞は文の補語。

3. ④ His cute behavior (**causes**) me to smile.
   彼のかわいい振る舞いが私をほほ笑ませる。

解説：
空所の後ろに目的語 me と不定詞が続いている。よって，不定詞を補語に取り，
cause O to do で「O に～させる」の意味になる causes が正解。

4. ③ My teacher advised me (**to use**) a dictionary app.
   私の先生は私に辞書アプリを使うように助言した。

解説：
動詞 advise は第Ⅴ文型を取る動詞で，advise O to do で「O に～するように助言する」の意味。
よって，不定詞の to use が正解。ここでの不定詞は文の補語。app「アプリ」。

5. ① Her support (**enabled**) me to win the boxing match.
   彼女の精神的な支えは，私がボクシングの試合で勝つのを可能にした。

解説：
空所の後ろに目的語 me と不定詞が続いている。よって，不定詞を補語に取り，
enable O to do で「O が～するのを可能にする」の意味になる enabled が正解。
support「（精神的な）支え，援助」。

復習テスト（解答）　第４講【1】

1. ④ Lily (**is playing**) the trombone now.
   リリーは今，トロンボーンを演奏している最中だ。

解説：
文末に now「今」とあるので，現在進行形の is playing を入れて，
「～している最中だ」という意味の文にする。 trombone「トロンボーン」。

2. ① She (**is taking**) an online class now. Call her later, please.
   彼女は今，オンライン授業を受講しています。後で彼女に電話してください。

解説：
第 1 文の文末に now「今」とあり，第 2 文では，後で電話するようお願いしている。
よって，現在進行形の is taking を入れて，「～している最中だ」という意味の文にすると文意が通る。

3. ③ The planet earth (**goes**) around the sun.
   地球という惑星は太陽の周りを回っている。

解説：
「地球という惑星が太陽の周りを回る」ことは不変の真理なので，現在形の goes が正解。
planet「惑星」。

4. ③ The boy (**practices**) table tennis every Saturday.
   少年は毎週土曜日に卓球を練習している。

解説：
文末に every Saturday「毎週土曜日に」とあるので，
現在形の practices を入れて，習慣を表す文にする。

5. ② My father told me that the core of the sun (**is**) very hot.
   父は，太陽の中心部は非常に熱いと教えてくれた。

解説：
「太陽の中心部が非常に熱い」ということは不変の真理なので，現在形の is が正解。
不変の真理は時制の一致の影響を受けない。core「中心部」。

復習テスト（解答）　第４講【2】

1. ③ I often (**played**) that board game when I was a child.
私は子どものころ，よくあのボードゲームで遊んでいた。。

解説：
過去の一点を示す語句 when I was a child「子どものころ」があるので，過去形の played が正解。

2. ④ She (**sent**) a text message to him yesterday.
彼女は昨日，彼にテキストメッセージを送信した。

解説：
過去の一点を示す語 yesterday「昨日」があるので，過去形の sent が正解。
現在完了形は，過去と現在をつなぐ幅のある時制なので不適切。

3. ② I thought that she (**broke**) the coffee cup.
私は，彼女がそのコーヒーカップを壊したのだと思った。

解説：
文の動詞（述語動詞）が過去形 thought なので, 時制の一致により, that 節内の動詞も過去形にする。
よって，broke が正解。

4. ① He (**was reading**) a magazine when she called him.
彼女が彼に電話したとき，彼は雑誌を読んでいた。

解説：
過去の一点を示す語句 when she called him があるので，
「～している最中だった」を表す過去進行形の was reading が正解。

5. ③ We (**ate**) curry fifteen times last month.
私たちは先月，カレーを 15 回食べた。

解説：
過去の一点を示す語句 last month があるので，過去形の ate が正解。

復習テスト（解答）　第4講【3】

1. ② If you (**join**) our basketball team, we will win the next tournament.
君がバスケチームに加われば，私たちは今度の選手権試合に勝てるだろう。

解説：
文頭に接続詞 If があることに着目。
時・条件を表す副詞節内では，未来のことでも will を使わずに現在形で表す。

2. ④ When he (**arrives**) here, I’ll ask him about it.
彼がここに到着したら，私はそれについて彼に尋ねておきます。

解説：
文頭に接続詞 When があることに着目。
時・条件を表す副詞節内では，未来のことでも will を使わずに現在形で表す。
副詞節内の主語が he なので，三人称単数現在形の arrives が正解。

3. ③ You will pass that listening test if (**you study**) hard.
熱心に勉強すれば，君はそのリスニングテストに合格するだろう。

解説：
空所の前にある接続詞 if に着目。
時・条件を表す副詞節内では，未来のことでも will を使わずに現在形で表す。

4. ① Send me a text message when you (**leave**) your home.
家を出たら私にテキストメッセージを送って。

解説：
空所の前にある接続詞 when に着目。
時・条件を表す副詞節内では，未来のことでも will を使わずに現在形で表す。

5. ② I’ll clean the living room before the TV program (**starts**).
そのテレビ番組が始まる前に，私はリビングを掃除しようと思う。

解説：
空所の前にある接続詞 before に着目。
時・条件を表す副詞節内では，未来のことでも will を使わずに現在形で表す。
副詞節内の主語が the TV program なので，三人称単数現在形の starts が正解。

復習テスト（解答）　第５講【1】

1. ④ That stone building (**has stood**) there since the 17th century.
あの石造りの建物は 17 世紀からそこに立っている。

解説：
since the 17th century「17 世紀から」とあるので，現在完了形 have p.p. の has stood が正解。
現在完了形で，過去から現在へと続いている状態を表している。stand「立っている」。

2. ③ The little boy (**has been**) to Korea many times.
その少年は何度も韓国に行ったことがある。

解説：
many times「何度も」とあるので，現在完了形 have p.p. の has been を入れて，
過去から現在までの経験を表す文にする。
have[has] been to ～で「～に行ったことがある」の意味。

3. ② This Japanese restaurant has just (**opened**). Let’s go inside.
この日本料理店はちょうどオープンしたところだね。中に入ろう。

解説：
has に続けて just「ちょうど」とあるので，
過去分詞の opened を入れて，完了を表す現在完了形 have p.p. の文にする。

4. ④ My big brother (**has been**) sick for the last few days.
私の兄はここ数日，体調を崩している。

解説：
for the last few days「ここ数日」とあるので，
現在完了形 have p.p. の has been が正解。継続を表す現在完了形の文。

5. ① Ms. Hammond (**has lived**) in Tokyo since she was a kid.
ハモンドさんは子どものころから東京に住んでいる。

解説：
since she was a kid「子どものころから」とあるので，
現在完了形 have p.p. の has lived が正解。継続を表す現在完了形の文。

復習テスト（解答）　第５講【2】

1. ② When I went to the bedroom, my wife (**had already gone**) to sleep.
私が寝室に行ったとき，妻はすでに眠りについていた。

解説：
過去完了形 had p.p. である had already gone を入れて，
「私が寝室に行ったとき」という過去の一点においてすでに完了していたことを表す文にする。

2. ③ The couple (**had lived**) in Atlanta for three years when they had a baby.
子どもができたとき，その夫婦は 3 年間アトランタに住んでいた。

解説：
過去完了形 had p.p. である had lived を入れて，
「彼らに子どもができたとき」という過去の一点までの継続を表す文にする。

3. ② Jimmy had never played fencing before he (**entered**) the fencing club.
ジミーはフェンシング部に入部する前にはフェンシングをしたことがなかった。

解説：
主節で過去完了形 had p.p. が用いられているので，空所に過去形の entered を入れて，
before 節で「ジミーがフェンシング部に入部した（前）」という過去の明確なある一点を示す。
経験を表す過去完了の文。

4. ② I (**had been**) on the local train for 30 minutes when my smartphone vibrated.
スマートフォンが振動したとき，私は 30 分間普通列車に乗っていた。

解説：
過去完了形 had p.p. である had been を入れて，
「スマートフォンが振動した」という過去の一点までの継続を表す文にする。vibrate「振動する」。

5. ① Our cat had been on the bookshelf for an hour when my father (**came**) home.
父が帰宅したとき，飼い猫は 1 時間本棚の上にいた。

解説：
主節で過去完了形 had p.p. が用いられているので，空所に過去形の came を入れて，
when 節で「父が帰宅したとき」という過去の明確なある一点を示す。継続を表す過去完了の文。

復習テスト（解答）　第５講【3】

1. ④ Lola (**will have lived**) in Niigata for three years by next year.
ローラは来年で 3 年間新潟に暮らしていることになる。

解説：
for three years「3 年」と期間が，by next year「来年までに」と未来のある一点が示されている。
よって，未来完了形 will have p.p. を入れて，来年の時点までの継続を表す文にする。

2. ② I (**will have watched**) this online video five times if I see it again.
もう 1 回見れば，私はこのオンライン動画を 5 回見たことになる。

解説：
five times「5 回」と回数が示されていることに着目。
未来完了形 will have p.p. を入れて，未来のある時点における経験を表す文にする。

3. ③ Next week she (**will have been**) married to Mick for five years.
来週で，彼女は 5 年間ミックと結婚していることになる。

解説：
期間と未来のある一点が示されているので，未来完了形 will have p.p. を入れて，
来週の時点までの継続を表す文にする。be married to ～「～と結婚している」。

4. ① I will have finished my English essay (**by**) nine tonight.
私は今夜 9 時までに英語の作文を終えているだろう。

解説：
未来完了形 will have p.p. を用いた文なので，期限を表す by「～までに（は）」が正解。

5. ④ Liam (**will have been learning**) Japanese for two years by next September.
リアムは次の 9 月で 2 年間日本語を勉強していることになる。

解説：
期間と未来のある一点が示されているので，未来完了進行形 will have been ～ ing を入れて，
次の 9 月の時点までの動作の継続を表す文にする。

復習テスト（解答）　第６講【1】

1. ③ The sky is getting very cloudy. It (**may**) rain soon.
空がとても曇ってきている。もうじき雨が降るかもしれない。

解説：
第１文に「空がとても曇ってきている」とあるので，
推量を表す助動詞である may「～かもしれない」が文意に合う。

2. ① He can't keep a secret, so we (**should**) not tell him about this private matter.
彼は秘密を守れないから，私たちは彼にこの私的な問題を話すべきではない。

解説：
カンマまでに「彼は秘密を守れない」とあるので，
義務を表す助動詞である should「～すべきだ」を入れて，
「彼にこの私的な問題を話すべきではない」とすると文意が通る。private「私的な」。

3. ④ It's raining. You (**must**) bring an umbrella with you if you go out.
雨が降っているね。君は外出するなら傘を持っていかなければならないよ。

解説：
第１文に「雨が降っている」とあるので，
義務を表す助動詞である must「～しなければならない」が文意に合う。

4. ② Don't worry so much. Anyone (**can**) make mistakes.
そんなに心配しないで。誰だって間違いをすることはあるよ。

解説：
可能性を表す助動詞である can「ありうる」を入れると，相手を励ます発言として文意が通る。

5. ③ The man travels abroad every month. He (**must**) be very rich.
その男性は毎月，海外旅行をする。彼はとても裕福に違いない。

解説：
第１文に「その男性は毎月，海外旅行をする」とあるので，
文意に合うのは推量を表す助動詞 must「～に違いない」。

復習テスト（解答）　第６講【2】

1. ② They (**are going to**) get married next June.
彼らは今度の 6 月に結婚する予定だ。

解説：
next June「今度の 6 月に」とあるので，予定を表す are going to が正解。
be going to「～する予定である」。

2. ④ Last night, he rushed to the station because he (**had to**) take the last train.
昨夜，彼は終電に乗らなければならなかったので駅へと急いだ。

解説：
空所を含む because 節では，彼が昨夜駅に急いだ理由が示されている。
文意に合うのは，過去の義務を表す had to「～しなければならなかった」。

3. ③ The old man (**would**) often tell me an interesting story when I was little.
私が小さいころ，その老人男性は，私に興味深い話をしてくれたものだった。

解説：
空所の直後に often があるので，
would often で「昔はよく～した」という過去の習慣を表す would が正解。

4. ① After all, light rain stopped falling soon. I (**didn’t have to buy**) an umbrella.
結局，小雨はすぐに降り止んだ。私は傘を買う必要がなかった。

解説：
第 1 文に「小雨はすぐに降り止んだ」とあるので，don’t have to「～する必要がない」の
過去形である didn’t have to buy を入れて「傘を買う必要がなかった」とすると文意が通る。

5. ② My little cousin doesn’t trust me, so she (**will not**) listen to my advice.
幼いいとこは私を信頼していないので，私の助言を聞こうとしない。

解説：
so までに「幼いいとこは私を信頼していないので」とある。
よって，拒絶を表す will not「どうしても～しない」が文意に合う。

復習テスト（解答）　第６講【3】

1. ④ She told her little son that he (**ought**) to be kind to animals.
彼女は幼い息子に，動物に優しくした方がいいと言った。

解説：
空所の直後に to があるので，ought to で「～した方がいい」という意味になる ought が正解。
なお，ought to に過去形はないので，時制の一致の影響は受けない。

2. ② We (**might**) catch the train if we hurry.
急げば，電車に間に合うかもしれないよ。

解説：
推量を表す might「～かもしれない」を入れると文意が通る。
might は助動詞 may「～かもしれない」の過去形ではあるが，might 自体に過去を表す意味はない。
may よりも意味が弱くなった推量を表す。

3. ② My father said, “You (**had better not**) go out today. It’s very windy.”
父は，「今日は外に出ない方がいい。風がすごく強いよ」と言った。

解説：
had better「～した方がいい」の否定形である had better not を入れると文意が通る。
not の位置に注意。

4. ④ (**Need I**) say sorry to him?　私は彼に謝る必要がある？

解説：
文法上適切なのは，助動詞 need「～する必要がある」を用いた Need I のみ。
動詞 need を用いて表現する場合は Do I need to do ～？の形になる。

5. ③ You (**need not buy**) an eraser, because I can lend you mine.
君は消しゴムを買う必要がないよ，僕が君に自分のものを貸してあげるから。

解説：
理由を表す because 節に「僕が君に自分のもの（＝消しゴム）を貸してあげるから」とあるので，
助動詞 need の否定形である need not が文意に合う。
ここでの mine は「(私の) 消しゴム」を指している。

復習テスト（解答）　第７講【1】

1. ③ The girl coughed a lot yesterday. She (**may have**) had a bad cold.
その少女は昨日，咳がひどかった。彼女はひどい風邪をひいていたのかもしれない。

解説：
第 1 文から，少女が咳をたくさんしていたのは昨日のこと。
よって，may have を入れて，過去の推量を表す may have p.p.「～したかもしれない」にする。

2. ④ The tea party was a lot of fun! You (**should have joined**) it.
ティーパーティーはとても楽しかったよ！ 君はそれに参加すべきだったのに。

解説：
第 1 文から，ティーパーティーが開催されたのは過去。
よって，過去の行動を指して「～すべきだったのに」という意味を表す should have p.p. が正解。

3. ① I overslept this morning. I (**shouldn’t have stayed**) up late yesterday.
私は今朝，寝坊した。昨日，夜更かしをすべきではなかったのに。

解説：
第 1 文の内容から，後悔を表す should not have p.p.「～すべきではなかったのに」が適切。
oversleep「寝坊する」。

4. ① Kevin hasn’t come yet. Something (**must have happened**) to him.
ケビンはまだ来ていない。彼に何かあったに違いない。

解説：
第 1 文の内容から，過去の推量を表す must have p.p.「～したに違いない」が正解。

5. ② The man is not rich, so he (**cannot have bought**) such an expensive watch.
その男性は裕福ではないので，彼がそんな高価な腕時計を買ったはずがない。

解説：
so の前後で因果関係が示されていることに着目。
文意に合うのは，過去の推量を表す cannot have p.p.「～したはずがない」である。

復習テスト（解答）　第７講【2】

1. ① The boy (**may well**) be surprised at the news. He couldn’t expect it at all.
   少年がそのニュースに驚くのももっともだ。彼はそれを全く予想できなかった。

   解説：
   may well を入れて，may の慣用表現である
   may well do「～するのももっともだ」を用いた文にする。expect「～を予想する」。

2. ④ Everyone knows we (**cannot be too**) careful about our health.
   健康に気を付けても気を付けすぎることはない，ということは誰もが知っている。

   解説：
   cannot be too を入れて，can の慣用表現である
   cannot ～ too ...「…してもしすぎることはない」を用いた文にする。

3. ④ You may (**as well throw**) away your money as play *pachinko* every day.
   毎日パチンコをするのはお金を捨てるようなものだ。

   解説：
   as well throw を入れて，may の慣用表現である
   may as well A as B「B するのは A するようなものだ」を用いた文にする。

4. ③ Today, I would (**rather eat**) out than cook at home.
   今日は，家で料理するよりもむしろ外食したいと思っている。

   解説：
   rather eat を入れて，would の慣用表現である
   would rather A than B「B するよりむしろ A したい」を用いた文にする。eat out「外食する」。

5. ② The young couple couldn’t (**help thinking**) about their future.
   その若い夫婦は，自分たちの将来について考えざるをえなかった。

   解説：
   help thinking を入れて，can の慣用表現である
   cannot help ～ing「～せざるをえない」を用いた文にする。

復習テスト（解答）　　第７講【3】

1. ③ Our teacher looks very pale today. He (**must**) be sick.
私達の先生は今日，とても顔色が悪い。彼は病気に違いない。

解説：
第 1 文の内容から，推量を表す must「～に違いない」が正解。look pale「顔色が悪い」。

2. ④ My daughter (**would**) often ask me questions when she was small.
娘は幼いとき，よく私に質問をしたものだった。

解説：
過去を表す語句 when she was small があるので，would を入れて，
would often do「昔はよく～した」を用いた文にする。

3. ③ I (**may as well**) talk to a wall as talk to him.
彼と話すのは壁に向かって話すようなものだ。

解説：
may as well を入れて，may の慣用表現である
may as well A as B「B するのは A するようなものだ」を用いた文にする。

4. ④ My mother said, “Breakfast is important. You (**ought not to**) skip it.”
母は，「朝食は重要だよ。それを抜かない方がいい」と言った。

解説：
「朝食は重要だ」に続く発言なので，ought to「～した方がいい」の否定形である
ought not to が適切。skip「～を抜く，省く」。

5. ② That jacket is sold out now. I (**should have**) bought it yesterday.
あのジャケットは今，売り切れだ。私は昨日，それを買っておけばよかった。

解説：
第 1 文の内容から，should have を入れて，後悔を表す
should have p.p.「～すべきだったのに」を用いた文にする。be sold out「売り切れである」。

復習テスト（解答）　第８講【1】

1. ③ Someone stole her plastic umbrella.　誰かが彼女のビニール傘を盗んだ。
⇒ Her plastic umbrella (**was stolen**).　彼女のビニール傘が盗まれた。

解説：
her plastic umbrella「彼女のビニール傘」を主語にした受動態に書き換えるので，
動詞を be 動詞＋ p.p. の形にする。
ここでは盗んだ人物が不明なので，受動態にしたとき by someone は不要。

2. ② Someone parked a bicycle there.　誰かがそこに自転車を駐輪した。
⇒ (**A bicycle was parked**) there.　自転車がそこに駐輪された。

解説：
a bicycle を目的語とする文を受動態に書き換えるので，
主語は A bicycle，動詞は be 動詞＋ p.p. の was parked となる。

3. ① He solved that problem.　彼はあの問題を解決した。
⇒ That problem (**was solved by**) him.
あの問題は彼によって解決された。

解説：
that problem を主語にした受動態に書き換えるので，
動詞を be 動詞＋ p.p. の形にし，動作主は前置詞 by で表す。

4. ② We can find some street cats here.　私たちはここで野良猫を見られる。
⇒ Some street cats (**can be found**) here.
ここでは野良猫が見られる。

解説：
助動詞を含む文を受動態に書き換える際には，動詞を助動詞＋ be p.p. の形にする。
上の文にある We は一般人を指すので，受動態にしたとき by us は不要。street cat「野良猫」。

5. ④ We can see the moon from the earth.　私たちは地球から月を見られる。
⇒ The moon (**can be seen**) from the earth.
月は地球から見られる。

解説：
助動詞を含む文を受動態に書き換える際には，動詞を助動詞＋ be p.p. の形にする。

復習テスト（解答）　第８講【2】

1. ④ More friends (**should be invited**) to the party next month.
来月のパーティーにはもっとたくさんの友人が招待されるべきだ。

解説：
invite は他動詞で「～を招待する」という意味。主語が More friends なので，
should be invited を入れて，助動詞を含む受動態 助動詞＋ be p.p. にする。

2. ③ A simple mistake (**has been discovered**) this morning.
今朝，単純なミスが発見された。

解説：
discover は他動詞で「～を発見する」という意味。主語が A simple mistake なので，
has been discovered を入れて完了形の受動態 have[has] been p.p. にする。

3. ① His 23rd birthday (**is being celebrated**) at the restaurant.
彼の 23 歳の誕生日がそのレストランで祝われている。

解説：
celebrate は他動詞で「～を祝う」という意味。主語が His 23rd birthday なので，
is being celebrated を入れて，進行形の受動態 be being p.p. にする。

4. ③ He was made (**to say**) yes to her question.
彼は彼女の質問に，無理やり「はい」と言わされた。

解説：
主語 He の後ろに was made とある。よって，不定詞の to say を入れて，
〈使役動詞 make ＋人＋ do〉「～に無理やり…させる」の受動態である
〈人＋ be made to do〉の形にする。

5. ② The boy was seen (**to break**) the window.
その少年は窓を割るのを見られた。

解説：
主語 The boy の後ろに was seen とある。よって，不定詞の to break を入れて，
〈知覚動詞 see ＋人＋ do〉「～が…するのを見る」の受動態〈人＋ be seen to do〉の形にする。

復習テスト（解答）　第８講【3】

1. ① When the boy made a mistake, he was (**laughed at by**) his classmates.
少年はミスをしたとき，クラスメートに笑われた。

解説：
空所の前に be 動詞 was があるので，群動詞 laugh at「～を笑う」を受動態にする。
by は動作主を表す。

2. ③ At the movie theater, she (**was spoken to by**) an Asian man.
映画館で，彼女はアジア人男性に話しかけられた。

解説：
空所の前に主語 she，後ろに人を表す an Asian man があるので，
群動詞 speak to「～に話しかける」の受動態の後ろに動作主を表す by を続けた
was spoken to by が正解。

3. ④ Mari is (**looked up to**) by many people, because she is a great hip-hop dancer.
マリは大勢の人に尊敬されているよ，だって素敵なヒップホップダンサーだから。

解説：
空所の前に be 動詞 is があるので，
群動詞 look up to「～を尊敬する」を受動態で用いた looked up to を入れると文意が通る。

4. ① That popular singer is known (**for**) his deep voice.
あの人気歌手は低い声で有名だ。

解説：
空所の後ろに his deep voice「彼の低い声」とあるので，
be known for で「～で有名だ」という意味になる for が正解。受動態の熟語表現。

5. ③ Her full name is known (**to**) every young person.
彼女のフルネームは，どの若者にも知られている。

解説：
空所の後ろに every young person「あらゆる若者」とあるので，
be known to で「～に知られている」という意味になる to が正解。受動態の熟語表現。

復習テスト（解答）　　第９講【1】

1. ② To learn new things is a lot of fun.
新しいこと**を学ぶの**はとても楽しい。

解説：
ここでの不定詞〈to ＋動詞の原形〉は文の主語（S）になっていると考えられるので，
名詞的用法「～すること」。

2. ① He has some housework to do today.　彼には今日，**すべき**家事がある。

解説：
ここでの不定詞は名詞 housework「家事」の直後にあるので，
名詞を後ろから修飾する形容詞的用法「～するための」。

3. ③ She went to bed early to wake up at 5.
彼女は 5 時に**起きるために**早く寝た。

解説：
不定詞の直前に名詞がなく，主語（S），目的語（O），補語（C）のいずれにもなっていないことから，
ここでの不定詞は「彼女が早く寝た目的」を表す副詞的用法「～するために」だとわかる。

4. ③ One of my dreams is to live in Hawaii.
私の夢の一つはハワイに**住むこと**だ。

解説：
ここでの不定詞は文の補語（C）になっていると考えられるので，名詞的用法「～すること」。

5. ④ It's cold today. I want something hot to drink.
今日は寒い。私は温かい飲み物（**飲むための**温かいもの）が欲しい。

解説：
ここでの不定詞は something hot「温かいもの」の直後にあるので，
名詞を後ろから修飾する形容詞的用法「～するための」。
形容詞で代名詞 something を修飾する場合，形容詞は後ろに置く。

復習テスト（解答）　第９講【2】

1. ② I think (**it**) is helpful to save money for a rainy day.
　まさかの時に備えて貯金するのは役立つと思う。

解説：
仮主語の働きを持つ it を入れて〈it is ＋形容詞＋ to do〉の形にすると，
不定詞以降が真主語となり文意が通る。ここでの不定詞は「～すること」という意味の名詞的用法。
for a rainy day「まさかの時に備えて」。

2. ③ The purpose of this meeting is (**to collect**) ideas from everyone.
　この会議の目的は，皆からアイデアを集めることだ。

解説：
空所の前には，主語 The purpose of this meeting と be 動詞 is がある。
よって，不定詞の to collect を入れて，文の補語（C）に不定詞を置いた形にすればよい。

3. ④ The manager wanted (**to make**) a success of the big project.
　マネージャーはその大型プロジェクトを成功させたいと思った。

解説：
want は不定詞を目的語に取り，want to do で「～したい」の意味。ここでの不定詞は名詞的用法。

4. ① That shy guy tried (**to talk**) to the woman, but he couldn’t.
　あの内気な男性はその女性に話しかけようとしたが，できなかった。

解説：
try は不定詞を目的語に取り, try to do で「～しようとする」の意味。ここでの不定詞は名詞的用法。

5. ③ My uncle decided (**to buy**) a new tablet for his daughter.
　私のおじは彼の娘に，新しいタブレットを買ってあげることにした。

解説：
decide は不定詞を目的語に取り，decide to do で「～することにする」の意味。
ここでの不定詞は名詞的用法。

復習テスト（解答）　第９講【3】

1. ③ My uncle thinks he has the ability (**to**) see ghosts.
   おじは，自分には幽霊を見る能力があると思っている。

解説：
the ability to do で「～する能力」という意味になる to が正解。
ここでの不定詞は形容詞的用法で，the ability と see ghosts が同格の関係にある。

2. ④ He has lots of movie DVDs (**to see**).
   彼には見るべき映画の DVD がたくさんある。

解説：
to see を入れて，「見るべき映画の DVD」とすると文意が通る。
ここでの不定詞は形容詞的用法で名詞 movie DVDs を修飾しており，
movie DVDs が see の目的語の働きをしている VO 関係にある。

3. ② She was the first woman (**to go**) to space.
   彼女は宇宙に行った最初の女性だ。

解説：
to go を入れて，「宇宙に行った最初の女性」とすると文意が通る。
ここでの不定詞は形容詞的用法で the first woman を後ろから修飾しており，
the first woman が go to space の主語の働きをしている VS 関係にある。

4. ① I had the chance (**to talk**) to that famous actor.
   私は，あの有名な俳優と話をする機会に恵まれた。

解説：
the chance to do で「～する機会」という意味。
ここでの不定詞は形容詞的用法で，the chance と talk to that famous actor が同格の関係にある。

5. ④ They are looking for a shared house (**to live in**).
   彼らは住むためのシェアハウスを探している。

解説：
to live in を入れて，「住むためのシェアハウス」とすると文意が通る。
ここでの不定詞は前置詞 in の目的語の働きをしている。shared house「シェアハウス」。

復習テスト（解答）　第 10 講【1】

1. ③ He bought a new PC (**so as**) to build his own website.
彼は自分のウェブサイトを作るために新しいパソコンを買った。

解説：
空所の直後に不定詞があるので，so as to do で「～するために」という意味になる so as が正解。
目的を強調したい際に使う表現。

2. ④ She set an alarm for 5:45 in (**order not to**) miss the flight.
彼女は飛行機に遅れないよう，5 時 45 分に目覚ましをセットした。

解説：
空所の直前に in があるので，order not to を入れて，
目的を表す in order not to do「～しないように」にする。

3. ① I went to a shop to buy a new video game, (**only to**) find it had been sold out.
私は新しいテレビゲームを買いに店に行ったが，それは売り切れていた。

解説：
空所の後ろに動詞の原形があるので，only to を入れて，
結果を表す ～ , only to do ...「～したが，…するだけだった」にすると文意が通る。

4. ③ His son grew up (**to be**) a professional skateboarder.
彼の息子は成長してプロのスケートボード選手になった。

解説：
grow up to be ～で「成長して～になる」という意味になる to be が正解。
ここでの不定詞は結果を表す。professional「プロの」。

5. ② Those soldiers woke up (**to find**) themselves in a mountain cave.
その兵士たちは目覚めると山の洞窟にいた。

解説：
wake up to find oneself ～で「目覚めて～とわかる」という意味になる to find が正解。
ここでの不定詞は結果を表す。cave「洞窟」。

復習テスト（解答）　第 10 講【2】

1. ④ My neighbor was kind (**enough**) to feed my cat while I was away.
隣人は私が留守にしている間，私のネコにご飯をあげてくれるほど親切だった。

解説：
enough を入れて，～ enough to do ...「…するほど～」を用いた文にする。
副詞 enough は形容詞を後ろから修飾する。feed「～に食べ物を与える」。

2. ② The little girl was happy (**to go**) to that spring festival.
少女はあの春のお祭りに行くことができて嬉しかった。

解説：
to go を入れて，be happy to do「～して嬉しい」にする。
ここでの不定詞は副詞的用法で，感情の原因を表す。

3. ③ You must have a quick brain (**to understand**) the meaning of his joke.
彼のジョークの意味を理解するなんて，君は頭の回転が速いに違いないね。

解説：
不定詞である to understand を入れて，
「彼のジョークの意味を理解するなんて」とすると文意が通る。
ここでの不定詞は副詞的用法で，判断の根拠を表す。have a quick brain「頭の回転が速い」。

4. ③ My father was so honest (**as to**) tell me the truth.
父は私に真実を話してくれるほど正直だった。

解説：
as to を入れて，so ～ as to do ...「…するほど～」にする。honest「正直な」。

5. ① That game app was (**too expensive**) to buy.
あのゲームアプリは値段が高すぎて買えなかった。

解説：
too expensive を入れて，too ～ to ...「～すぎて…できない」にする。app「アプリ」。

復習テスト（解答）　第 10 講【3】

1. ② I believe it’s necessary (**for us to**) think about our future.
   私たちは将来について考える必要があると思う。

   解説：
   for us to を入れて for S to do の形にし，不定詞の主語を示す。
   〈it is ＋形容詞＋ to do〉「〜するのは…だ」の文。

2. ④ Her great grandfather (**is said to have**) been an ukiyoe artist.
   彼女の曽祖父は浮世絵師だったと言われている。

   解説：
   is said to have を入れて，完了不定詞 to have p.p. を用いた文にする。
   不定詞で本動詞より以前のことを表す場合には完了不定詞を使う。great grandfather「曽祖父」。

3. ① After all, he decided (**not to buy**) a smart watch.
   結局，彼はスマートウォッチを買わないことにした。

   解説：
   不定詞の否定形 not to do である not to buy が正解。decide to do「〜することにする」。

4. ③ Those travelers brought a map (**in order not**) to get lost.
   その旅行者たちは迷わないよう，地図を持参した。

   解説：
   in order not を入れて，目的を表す in order to do「〜するために」の否定形にする。
   get lost「迷う」。

5. ④ The news (**to be announced**) tomorrow is very important.
   明日発表されるニュースはとても重要だ。

   解説：
   不定詞の受動態 to be p.p. である to be announced が正解。announce「〜を発表する」。

復習テスト（解答）　第 11 講【1】

1. ① My instructor said, “If you (**are to become**) a good swimmer, swim every day.”
   私の指導員は，「泳ぎ上手になるつもりなら，毎日泳ぎなさい」と言った。

   解説：
   空所が if 節内にあることに着目。are to become を入れて，
   意志を表す be to 不定詞を用いた文にする。be to 不定詞は万能助動詞で，複数の意味を持つ。

2. ③ She (**appeared to be**) in a good mood yesterday.
   彼女は昨日，上機嫌なようだった。

   解説：
   空所の後ろに前置詞句 in a good mood が続いているので，be 動詞が要る。
   よって，appeared to be を入れて appear to do「～するように思える」を用いた文にする。

3. ④ A new model of their smartphone is (**to be released**) next Wednesday.
   今度の水曜日に，彼らのスマートフォンの新モデルが発売される予定だ。

   解説：
   未来を表す語句 next Wednesday に着目。release は「～を発売する」という意味の他動詞なので，
   予定を表す be to 不定詞の受動態である to be released が正解。

4. ② That rumor (**seems to**) be false.　　あのうわさはデマのようだ。

   解説：
   seem to do で「～するように思える」という意味になる seems to が正解。
   rumor「うわさ」，false「間違っている」。

5. ③ Although they searched everywhere, the missing bag was (**not to be**) found.
   彼らはあちこちを捜したが，紛失したバッグは見つからなかった。

   解説：
   逆接を表す although 節に「彼らはあちこちを捜したが」とあるので，not to be を入れて，
   可能を表す be to 不定詞の受動態を用いた否定文にすると文意に合う。

復習テスト（解答）　第 11 講【2】

1. ① All you have to do (**is to control**) your anger.
あなたは自分の怒りを抑えさえすればよい。

解説：
is to control を入れて，All you have to do is (to) do ～.
「あなたがしなければならない全ては～することだ（＝あなたは～しさえすればよい）」にする。
この all は「全てのこと」という意味の代名詞で，単数扱いである点に注意。
control「～を抑制する」，anger「怒り」。

2. ② (**To begin**) with, we should solve this problem.
まずはじめに，私たちはこの問題を解決すべきだ。

解説：
to begin with で「まずはじめに」という意味になる To begin が正解。

3. ④ (**Needless to**) say, everything has a good and bad side.
言うまでもないが，あらゆることにはいい面と悪い面がある。

解説：
needless to say で「言うまでもなく」という意味になる Needless to が正解。

4. ③ (**Strange to**) say, I got a call from him when I was trying to contact him.
不思議なことに，私が彼に連絡しようとしたときに彼からの電話があった。

解説：
strange to say で「不思議なことに」という意味になる Strange to が正解。
contact「～に連絡する」。

5. ④ To (**be frank**), I was disappointed with his new work.
率直に言うと，彼の新作にはがっかりした。

解説：
to be frank で「率直に言うと」という意味になる be frank が正解。work「作品」。

復習テスト（解答）　第 11 講【3】

1. ④ That student studied day and night, only (**to fail**) the exam.
その学生は日夜勉強に励んだが，試験に不合格だった。

解説：
空所の前に only があるので，to fail を入れて，
結果を表す ～, only to do「～したが，…するだけだった」にすると文意が通る。

2. ① You should set an alarm in (**order not to**) oversleep tomorrow.
君は明日寝坊しないようにアラームをセットしておくべきだよ。

解説：
order not to を入れて，目的を表す in order to do「～するために」の否定形にすると文意に合う。
oversleep「寝坊する」。

3. ③ You (**are to submit**) a proposal within two weeks.
あなたは 2 週間以内に提案書を提出しなければならない。

解説：
are to submit を入れて，義務を表す be to 不定詞を用いた文にすると文意に合う。
submit「～を提出する」，proposal「提案（書）」。

4. ② My doctor said, "(**All you**) have to do is take this drug and go to sleep."
医者は，「あなたはこの薬を飲んで眠りさえすればいい」と言った。

解説：
All you を入れて，All you have to do is (to) do ～.
「あなたがしなければならない全ては～することだ（＝あなたは～しさえすればよい）」にする。

5. ④ The boy was (**brave enough to**) jump into the river from that high bridge.
少年は，あの高い橋から川に飛び込むほど勇敢だった。

解説：
brave enough to を入れて，～ enough to do ...「…するほど～」を用いた文にする。
副詞 enough は形容詞を後ろから修飾する点に注意。brave「勇敢な」。

復習テスト（解答）　第 12 講【1】

1. ② My cousin is good at (**playing**) the drums.
いとこはドラムを叩くのが上手だ。

解説：
空所の前に前置詞があるので，動名詞の playing が正解。
ここでの playing は at の目的語の働きをしている。be good at ～「～が上手である」。

2. ② He’s always complaining of (**their being**) noisy.
彼はいつも，彼らが騒々しいことについて文句を言っている。

解説：
空所の前に前置詞があるので，動名詞を用いる。
動名詞の主語は所有格または目的格で表すので，their being が正解。
complain of ～「～について不平を言う」。

3. ④ She thanked me for (**not forgetting**) her birthday.
彼女は私に，自分の誕生日を忘れなかったことで感謝した。

解説：
空所の前に前置詞があるので，動名詞を用いる。動名詞の否定形は，
動名詞の前に not を置いて作るので，not forgetting が正解。thank A for B「A に B で感謝する」。

4. ① One of his hobbies is (**watching**) American TV dramas.
彼の趣味の一つは，アメリカのテレビドラマを見ることだ。

解説：
空所までに主語と動詞があるので，
補語の働きをすることのできる動名詞の watching を入れれば，SVC の文が成立する。

5. ③ I don’t have money at all now. I regret (**having wasted**) the money.
私は今，お金がまったくない。お金を無駄遣いしたことを後悔している。

解説：
お金を無駄遣いしたのは過去のことだと判断できる。
よって，本動詞 regret「～を後悔する」よりも以前を表す完了動名詞 having p.p. にすればよい。
having wasted が正解。

復習テスト（解答）　　第 12 講【2】

1. ④ Let’s enjoy (**playing**) cards today.　　今日はトランプをして楽しもうよ。

解説：
enjoy は動名詞を目的語に取る動詞で，enjoy ～ing で「～して楽しむ」の意味。
play cards「トランプをする」。

2. ③ I’m hungry, Dad. Would you mind (**cooking**) something for me?
おなかが空いたよ，お父さん。私に何か作ってくれない？

解説：
mind は動名詞を目的語に取る動詞で，mind ～ing で「～するのを嫌がる」の意味。

3. ① My brother is studying Spanish because he decided (**to live**) in Spain.
兄はスペインに住むことに決めたので，スペイン語を勉強している。

解説：
decide は不定詞を目的語に取る動詞で，decide to do で「～することに決める」の意味。

4. ② Stop (**worrying**) about the past. That happens all the time.
過去のことで気を揉むなって。そういうことはよくあることだよ。

解説：
stop は動名詞を目的語に取るとき，中断のイメージを持つ。
文意に合うのは，stop ～ing で「～するのをやめる」という意味になる worrying。

5. ② Remember (**to take**) two tablets after every meal.
毎食後に 2 錠服用するのを覚えておいてください。

解説：
remember は動名詞も不定詞も目的語に取る動詞。
文意に合うのは，remember to do で「～するのを覚えている」という意味になる，
不定詞の to take。tablet「錠剤」。

復習テスト（解答）　第 12 講【3】

1. ③ She’s very angry with you. I think it’s no use (**saying**) sorry to her now.
彼女は君にとても腹を立てている。今彼女に謝っても無駄だと思う。

解説：
saying を入れて，It is no use ～ing.「～しても無駄だ」を用いた文にする。
say sorry to ～「～に謝る」。

2. ③ (**It**) goes without saying that tablets are useful.
タブレットが便利だということは言うまでもない。

解説：
It を入れて，It goes without saying that ～.「～は言うまでもない」を用いた文にする。
useful「便利な」。

3. ② Hey, what do you say (**to taking**) a 30-minute break?
ねえ，30 分の休憩を取るのはどう？

解説：
to taking を入れて，提案を表す What do you say to ～ing?「～してはどうですか」の文にする。
break「休憩」。

4. ④ I didn’t feel (**like eating**) anything, so I skipped lunch.
私は何も食べたい気分ではなかったので，昼食を抜かした。

解説：
like eating を入れて，feel like ～ing「～したい気がする」を用いた文にする。

5. ② There (**is no**) explaining my feelings. Actually, I can’t express them in words.
私の気持ちを説明することはできない。実際，私はそれを言葉では表せない。

解説：
is no を入れて，There is no ～ing.「～できない」を用いた文にする。
feelings「気持ち」，express「～を表現する」。

高１・高２スタンダードレベル英語＜文法・読解編＞　後編

いよいよ，本講座も後期に入っていきます。後期は，前期から引き続いて，最重要分野である準動詞の一つである分詞を扱い，18 講から関係詞・21 講から比較・24 講に接続詞と，読解に直結する英文法の分野を，重点的に扱っていきます。

ただやみくもにルールをひたすら詰め込むのではなく，なぜそうなるか，どうしてこの表現が存在するか，理由・背景がわかった時，一つの表現に命が吹き込まれたように，生き生きする瞬間があります。英語も，言葉であり，言葉には，いつの時代も，世界のどの地域でも，常に人の思いが込められていること。そんな思いを体感すべく授業を進めていくので，一緒に生きた表現を学んでいきましょう。

肘井　学

目　次

第 13 講　分詞① p4

第 14 講　分詞②（分詞構文） p12

第 15 講　準動詞総合 p20

第 16 講　仮定法① p28

第 17 講　仮定法② p36

第 18 講　関係詞① p44

第 19 講　関係詞② p52

第 20 講　関係詞③ p60

第 21 講　比較① p68

第 22 講　比較② p76

第 23 講　比較③ p84

第 24 講　接続詞 p92

第 13 講　分詞①

ポイント

【1】　分詞の種類と役割
【2】　感情動詞の分詞
【3】　付帯状況の with

ポイント【1】分詞の種類と役割

●分詞の種類× 2

・分詞は，現在分詞（doing）と過去分詞（done）という二種類の分詞がある。
speaking（現在分詞），spoken（過去分詞）

・現在分詞は, 能動（～する・している）の意味があり, 過去分詞には受動（～れる・られる）の意味がある。すなわち，能動の意味を表したいなら現在分詞を使い，受動の意味を表したいなら，過去分詞を使う。
speaking「話している」，spoken「話されている」

●分詞の役割

・現在分詞は，be 動詞とセットで進行形を作り，過去分詞は be 動詞とセットで受動態を作り，have とセットで完了形を作る。

He is speaking on the phone.	彼は電話で話し中です。
What languages are spoken in India?	インドでは何語を話しますか？
We have finished the meeting.	私達は会議を終えた。

・分詞の役割で最重要なのは，形容詞のカタマリを作って，名詞を修飾する役割と，補語の位置で使われて，文の要素となる役割である。

① 名詞修飾の分詞

the broken glass	「割れたグラス」
the glass broken by her	「彼女によって割られたグラス」

分詞の単独修飾は前からかかる。複数修飾は後ろから（これが重要）かかる。

② 補語で使われる分詞

SVC, SVOC の 2 か所で現在分詞・過去分詞共に使われる。

He sat surrounded by his children.

彼は子供たちに囲まれて座っていた。

I heard my name called from behind.

背後から私の名前が呼ばれるのを耳にした。

●分詞の解法

① 対応する名詞の特定

② 名詞と分詞が能動の関係 ⇒ 現在分詞

名詞と分詞が受動の関係 ⇒ 過去分詞

■問題演習

＊カッコ内の動詞を，適切な形に変えなさい。

1. a（steal）bag ⇒（ ）
2. a girl（walk）down the street ⇒（ ）
3. a letter（write）in Spanish ⇒（ ）
4. I’m sorry to have kept you（wait） ⇒（ ）
5. I must have my car（repair）as soon as possible. ⇒（ ）

●復習用シート

1	分詞の種類	現在分詞（doing），過去分詞（done）
2	上 2 つの違い	現在分詞は能動，過去分詞は受動
3	分詞の役割（2 つ）	① 名詞修飾　② 補語で使われる
4	①の使い分け	単独修飾は前から，複数修飾は後ろから
5	②の使う部分	SVC, SVOC の 2 か所
6	分詞の解法	① 対応する名詞の特定
		② 名詞と分詞が能動⇒現在分詞
		名詞と分詞が受動⇒過去分詞

復習テスト　第 13 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She gave me (　　　) cookies.
① bakes　② baking　③ baked　④ to bake

2. Look at that boy (　　　) photos.
① taken　② took　③ takes　④ taking

3. He looked through several messages (　　　) to him yesterday.
① sent　② sending　③ to send　④ sends

4. I saw a stranger (　　　) a conversation with my father.
① had　② to have　③ having　④ had been

5. The woman had her heavy suitcase (　　　) to her hotel room.
① to carry　② carried　③ carries　④ carrying

NOTE

ポイント【2】感情動詞の分詞

●感情動詞とは？

日本語では，「驚く」「興奮する」「喜ぶ」と感情は内から起こってくるものと捉えているが，英語では，「驚かせる」「興奮させる」「喜ばせる」といったように，感情はひとりでに起こるものではなくて，外から刺激されて，起こるものと捉えている。

日本語	英語
私はその知らせに驚いた。	I was surprised at the news.

●感情動詞一覧

驚き系
surprise（驚かせる）, amaze（驚かせる）, shock（ショックを与える）

プラス系
excite（興奮させる）, please（喜ばせる）

マイナス系
disappoint（失望させる）

●感情動詞の解法

① 分詞の対応する名詞を特定
② その名詞が感情原因　⇒　現在分詞
　その名詞が感情主体　⇒　過去分詞
＊日本語に引っ張られすぎないように注意

■例題　次のカッコ内の動詞を適切な形に変えなさい。

・I was（surprise）at the news.　　私はその知らせに驚いた。

・The news was（surprise）to me.　　その知らせは私にとって驚きであった。

・Ichiro is（surprise）to major-league baseball fans.
イチローはメジャーリーグのファンに驚きを与えている。

■問題演習

＊カッコ内の動詞を適切な形に変えなさい。

1. I was very (excite) to meet such a famous man.

2. The end of the movie was (disappoint).

3. “What happened to Mary?” “She seems to be (shock).”

4. He’ll be (please) to see her next week.

5. The news of the destruction of the Soviet Union was (surprise) to us.

●復習用シート

1	感情動詞の例	surprise, amaze, shock
		excite, please
		disappoint
2	感情動詞の解法	① 対応する名詞を特定
		② 名詞が感情原因⇒現在分詞
		名詞が感情主体⇒過去分詞

復習テスト　第 13 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. The result was very (　　　) to every one of them.
   ① shocked　② to shocking　③ shocking　④ in shocked

2. The new employee spoke 7 languages fluently. Everyone there was (　　　).
   ① amazing　② amazed　③ amaze　④ to amaze

3. I went to a jazz concert yesterday. It was (　　　) to me.
   ① pleased　② pleases　③ pleasing　④ to please

4. The first part of the online video was quite (　　　).
   ① exciting　② excited　③ excitement　④ excites

5. His favorite soccer team lost a game. He was (　　　).
   ① disappoints　② disappointing
   ③ disappointment　④ disappointed

NOTE

ポイント【3】付帯状況の with

●付帯の with とは？

with の後ろに O, C と二つ文の要素をおいて，文の後ろにある状況を付帯させる。基本の解釈は，with O C で，「O を C した状態で」となるが，柔軟に訳出する。C には，現在分詞，過去分詞，形容詞などが来るが，O との関係で，能動なら現在分詞，受動なら過去分詞と使い分ける。形容詞は，一部の特定の表現に限られているので，それをおさえる。

（例文）

・My father often thinks with his eyes closed.
　父は，よく目を閉じたまま考え事をする。

・A strange man stood at the door with his arms folded.
　見知らぬ人が腕を組んだままドアの所に立っていた。

・Don’t speak with your mouth full.
　口にものを入れて話してはいけない。

■問題演習

＊カッコ内の動詞を適切な形に変えて，日本語に訳しなさい。

1. He can walk straight with his eyes (close).
　彼は（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）まっすぐ歩ける。

2. He stood by the entrance with his arms (fold).
　彼は（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）入り口のそばに立っていた。

3. I can’t sing a song with you (stand) there.
　私は（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）歌を歌えない。

4. He lay on the floor with his leg (break).
　彼は（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）床に横になっていた。

●復習用シート

1	付帯の with の基本解釈	with O C「O を C した状態で」
2	目を閉じたまま	with one’s eyes closed
3	腕を組んだまま	with one’s arms folded
4	口にものを入れて	with one’s mouth full

復習テスト　第 13 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I laughed at his jokes with my mouth (　　　) with my hands.
① to cover　② covered　③ to covering　④ covering

2. My brother was on the floor with his legs (　　　).
① crossing　② in crossing　③ crossed　④ in crossed

3. He wanted to see that romance movie with her (　　　) next to him.
① sitting　② sits　③ sat　④ to sit

4. Some people were enjoying the live performance with their bodies (　　　).
① shakes　② to shake　③ shaken　④ shaking

5. I can’t concentrate with someone (　　　) me from behind.
① watched　② watching　③ watches　④ when watched

NOTE

第 14 講　分詞②（分詞構文）

ポイント

【1】　分詞構文の基本
【2】　分詞構文の応用
【3】　分詞構文の解釈

ポイント【1】分詞構文の基本

●分詞構文とは？

現在分詞・過去分詞を使った特殊構文の一つで，元々接続詞があった英文を，簡略化したもの。主に，文頭と文尾の二つの位置に現れる。

Doing（Done）～ , SV.　　　　　　SV ～ , doing（done）….

●分詞構文の作り方

① 接続詞を省略（省略しても分かる接続詞）
② S が主節と共通なら省略（主節を見れば分かるから）
　異なる場合は，残す（省略しては分からないから）
③ 動詞を～ ing（現在分詞）に変える
④ Being p.p. の being は省略可能（過去分詞に受身の意味があるから）

・When the earth is seen from space, the earth looks round.
　地球を宇宙から見ると，丸く見える。
　↓　分詞構文に変える
　① When を消して，② the earth が主節（接続詞をふくまない方）と従属節（接続詞をふくむ方）で共通しているので消して，③ 動詞を～ ing にして，④ Being seen の being を省略すると，
・Seen from space, the earth looks round. と分詞構文が完成。

■問題演習

＊次の英文を分詞構文を用いて書き換えなさい。

1. If you turn to the left, you'll see the museum.

⇒（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）, you'll see the museum.

2. When the island was seen from an airplane, it was very beautiful.

⇒（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）, the island was very beautiful.

3. As I live here for many years, I know many sightseeing spots.

⇒（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）, I know many sightseeing spots.

4. She studied hard, and entered the university.

⇒ She studied hard,（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）.

●復習用シート

1	分詞構文の作り方	① 接続詞を省略
2		② 主語が共通なら省略
3		③ 動詞を ~ing にする
4		④ Being p.p. の being は省略可
5	分詞構文の形	Doing（Done）~, SV. SV, doing（done）….

復習テスト　　第 14 講【1】

＊次の英文をそれぞれ分詞構文を用いて書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を下の①～④から一つ選びなさい。

1. When she arrived at the station, she looked for her friend.
   ⇒ (　　　) at the station, she looked for her friend.
   ① Being arrived　② Arriving
   ③ Having arrived　④ Having been arrived

2. If computers are used in the right way, they will be helpful to you.
   ⇒ (　　　) in the right way, computers will be helpful to you.
   ① Using　② Having used　③ Used　④ Being using

3. As he has a quick brain, he will solve this math question.
   ⇒ (　　　) a quick brain, he will solve this math question.
   ① Had been　② Being　③ As had　④ Having

4. When the sound was heard from a distance, it was a bit strange.
   ⇒ (　　　) from a distance, the sound was a bit strange.
   ① Hearing　② Heard　③ Been heard　④ Being hearing

5. Our hockey team practiced hard every day, and won the tournament.
   ⇒ Our hockey team practiced hard every day, (　　　) the tournament.
   ① having won　② being won　③ winning　④ being winning

NOTE

ポイント【2】分詞構文の応用

●分詞構文の否定形

Since I did not know what to do, I was at a loss.

↓　何をすべきか分からなかったので，途方に暮れた。

① Since を消して，② I を消して，③ know を～ ing に，④ Not を knowing の前に残す（消すと分からないから）

Not knowing what to do, I was at a loss.

●分詞構文の完了形

After he had finished his homework, he went swimming.

↓　宿題を終えて，彼は泳ぎに行った。

① After を消して，② he を消して，③ had を having にする。

Having finished his homework, he went swimming.

●分詞構文で，主語が主節（接続詞なし）と従属節（接続詞あり）で異なるケース

Since it was fine, we went on a picnic.

↓　晴れていたので，私達はピクニックに出かけた。

① Since を消して，② it は主節と異なるので残して，③ was を being にする。

It being fine, we went on a picnic.

●分詞構文の慣用表現

・All things considered,　全てを考慮すると

All things considered, she is a good student.

全てを考慮すると，彼女は良い生徒だ。

・Judging from ~,　～から判断すると

Judging from the way he speaks, he is very honest.

彼の話し方から判断すると，彼はとても誠実だ。

・Compared with ~,　～と比べると

Compared with her problems, my problems are nothing.

彼女の問題と比べると，私の問題は何でもない。

■問題演習

＊次の英文を，分詞構文を用いて書き換えなさい。

1. As I did not know what to say, I didn’t say anything.

⇒ （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）, I didn’t say anything.

2. Since it started raining yesterday, the picnic was postponed.

⇒ （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）, the picnic was postponed.

3. After he had done his homework, he took a bath.

⇒ （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）, he took a bath.

4. If Mike is compared with Tom, he is more reliable.

⇒ （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）, Mike is more reliable.

●復習用シート

1	分詞構文の否定形	Not doing ~, SV.
2	分詞構文の完了形	Having p.p. ~, SV.
3	全てを考慮すると	All things considered,
4	～から判断すると	Judging from ~,
5	～と比べると	Compared with ~,

復習テスト　　第 14 講【2】

＊次の英文をそれぞれ分詞構文を用いて書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を下の①～④から一つ選びなさい。

1. Since he did not understand the theory, he asked his teacher to explain it.
   ⇒ (　　　) the theory, he asked his teacher to explain it.
   ① Being understandings　　② Not understanding
   ③ Understood　　④ Not understood

2. As it was rainy, we decided not to go outside for the moment.
   ⇒ (　　　) rainy, we decided not to go outside for the moment.
   ① Being　　② Having been　　③ It having been　　④ It being

3. After I had finished slow jogging, I hit the shower.
   ⇒ (　　　) slow jogging, I hit the shower.
   ① Been finished　　② Finished
   ③ Finishing　　④ Having finished

4. If this box is compared with that one, it is heavier.
   ⇒ (　　　) with that box, this one is heavier.
   ① Comparing　　② Being comparing
   ③ Compared　　④ Having compared

5. When all things are considered, today was a good day.
   ⇒ All things (　　　), today was a good day.
   ① considered　　② considering
   ③ being considering　　④ having been considered

NOTE

ポイント【3】分詞構文の解釈

●分詞構文のパターン

① 文頭分詞構文　　= Doing（Done）～ , SV.
② 文尾の分詞構文 = SV ～ , doing（done）‥‥.

①のパターンは,「時（～して, ～すると）か理由（～なので)」で訳す。
②のパターンは,「そして…する（…しながら)」で訳す。

（例文）

・Seeing the policeman, he ran away.
　警察官を見て，彼は逃げ出した。

・Living by the lake, I went swimming every day.
　湖のそばに住んでいたので，毎日泳ぎに行った。

・He studied hard, becoming a lawyer.
　彼は一生懸命勉強して，そして弁護士になった。

■問題演習

＊次の英文を，日本語に訳しなさい。

1. Looking up, I saw a swallow flying over my head.
（　　　　　　　　　　　　　　），私は燕が頭上を飛んでいるのを目にした。

2. Turning to the left, you’ll see the museum.
（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　），博物館が見えるでしょう。

3. Seen from an airplane, the island was very beautiful.
（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　），その島はとても美しかった。

4. Living here for many years, I know many sightseeing spots in the city.
（　　　　　　　　　　　　），私はその街の多くの観光スポットを知っている。

5. She studied hard, entering the university.

彼女は一生懸命勉強して，（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

6. I talked with her family, watching TV on the sofa.

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　），私は彼女の家族と話をした。

●復習用ページ

1	分詞構文の位置	文頭・文尾
2	分詞構文の解釈	① 文頭⇒時・理由　② 文尾⇒そして
3	① の具体的意味	〜して，〜すると・〜なので

復習テスト　　第 14 講【3】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Shopping at a supermarket, we met one of our neighbors.
   ① 買い物しているので　② 買い物していると
   ③ 買い物しているが　④ 買い物するなら

2. She took a long bath, talking to one of her friends on the smartphone.
   ① しゃべっていると　② しゃべりながら
   ③ しゃべっているが　④ しゃべるなら

3. Looked at through the telescope, the planet was red.
   ① 見たので　② 見ながら　③ 見ると　④ 見られたので

4. My uncle studied day and night, passing the bar exam.
   ① ～に合格した　② ～に合格したので
   ③ ～に合格している　④ ～に合格するだろう

5. Moving here just recently, I’m not familiar with this neighborhood.
   ① 引っ越すと　② 引っ越しながら
   ③ 引っ越すなら　④ 引っ越したので

NOTE

第15講　準動詞総合

ポイント

【1】　準動詞の主語・否定形・完了形・受動態 【2】　準動詞を目的語に取る動詞 【3】　準動詞の慣用表現

＊この講は，9講から14講まで続いた英文法の最重要分野である準動詞（不定詞・動名詞・分詞）の知識定着と＋αの授業をねらいとしたものです。必ず，自分の手を動かして，予習の際に空白を埋めてきてください。

ポイント【1】準動詞の主語・否定形・完了形・受動態

●準動詞の主語

① 不定詞	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　）
② 動名詞	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　）
③ 分詞構文	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　）

●準動詞の否定形

① 不定詞	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　）
② 動名詞	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　）
③ 分詞構文	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　）

●準動詞の完了形

① 不定詞	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　）
② 動名詞	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　）
③ 分詞構文	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　）

●準動詞の受動態

① 不定詞	⇒	(　　　　　　　　　　　　　　　　　　)
② 動名詞	⇒	(　　　　　　　　　　　　　　　　　　)
③ 分詞構文	⇒	(　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

●不定詞の主語について

It is 形容詞 for S to do ～ . の構文で，形容詞に人の性格を示す形容詞が来たら，of S にする？

↓この二文を比較

It is impossible for you to do such a thing.

It is kind [of] you to do such a thing.

人の性格を示す形容詞

kind（親切な）, nice（素敵な）, wise（賢明な）

foolish（馬鹿な）, stupid（愚かな）, careless（不注意な）

■問題演習

＊次の英文の空欄に最も合うものを①～④から一つずつ選びなさい。

1. He is ashamed of (　　).

① his family not being rich　② not his family being rich
③ his family is not rich　④ his family being not rich

2. The snow (　　) to fall, we took a bus to the station.

① beginning　② begins　③ has begun　④ was begun

3. (　　) no buses, I had to walk home.

① It having been　② Being
③ It being　④ There being

復習テスト　第 15 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I’m proud of (　　　) a professional athlete.
　① my aunt to be　② my aunt is
　③ my aunt being　④ my aunt to being

2. (　　　) able to play musical instruments, he joined the band as a dancer.
　① Being not　② Not being　③ Not to be　④ To be not

3. My older sister has a fever now. She appears (　　　) a cold.
　① being caught　② having caught
　③ to be caught　④ to have caught

4. (　　　) white, the wall looks brighter than before.
　① To paint　② To be painted　③ Painting　④ Painted

5. It is careless (　　　) break his favorite coffee mug.
　① of him to　② of him not to　③ for him to　④ for him not to

NOTE

ポイント【2】準動詞（不定詞名詞的用法・動名詞）を目的語に取る動詞

●不定詞・動名詞両方を目的語に取れる動詞　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

不定詞と動名詞の違い

・不定詞　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・動名詞　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・forget to do ～することを忘れる

Don’t forget to mail this letter.

この手紙を出すのを忘れないで。

・forget ～ ing ～したことを忘れる

I will never forget visiting Hawaii last year.

昨年ハワイに行ったのを忘れないだろう。

●不定詞のみを目的語に取れる動詞　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・I hope to see you at the next meeting. 次の会議でお会いしましょう。

・I won’t promise to do what I can’t do. 私は出来ないことをやると約束しない。

●動名詞のみを目的語に取れる動詞

動名詞のイメージ　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

①のイメージの動詞　＝　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

②のイメージの動詞　＝　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

③のイメージの動詞　＝　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・He should consider seeking professional advice.

彼は専門家のアドバイスを求めるのを考えるべきだ。

・I can’t finish reading the book in a day.

一日でその本を読み終えることはできない。

・I escaped being hit by a car.

車にひかれるのを逃れた。

・I avoid walking down the street alone.

一人でその道を歩くのは避けている。

■問題演習

＊次の英文の空欄に，適切なものを①～④から一つずつ選びなさい。

1. Here is the pen I promised (　　).

① buying you　② to you to buy
③ for you to buy　④ to buy you

2. She left home, went to Italy, and (　　) to find love.

① regarded　② supposed　③ hoped　④ considered

3. Please don’t forget (　　) this letter on your way home.

① and to mail　② mail　③ mailing　④ to mail

4. Have you finished (　　) a letter to your mother?

① of writing　② to write　③ writing　④ write

5. She tried to avoid (　　) her ex-boyfriend.

① to meet　② met　③ meeting　④ meet

復習テスト　第 15 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He hopes (　　　) finished doing his homework by next Sunday.
   ① that he　② having　③ to be　④ to have

2. She went to a neighboring town by bicycle, avoiding (　　　) a train.
   ① using　② to use　③ used　④ uses

3. I'll never forget (　　　) camping in the mountains with them last summer.
   ① to go　② going
   ③ that I will go　④ about being gone

4. My grandfather promised (　　　) play his ukulele on the next visit.
   ① for me to　② my letting　③ to let me　④ that I

5. This plan won't work. Maybe we should consider (　　　) it.
   ① to change　② that changes
   ③ changed　④ changing

NOTE

ポイント【3】準動詞の慣用表現

① 〜は言うまでもない

（不定詞）　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（動名詞）　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

② 〜せざるをえない

（動名詞）　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（不定詞）　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・I have no choice but to go there.　　私はそこに行かざるをえない。

③ 率直に言うと

（不定詞）　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（分詞構文）⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

④ 動名詞の反復のイメージを持つ慣用表現× 2

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・I’m really looking forward to seeing you.　本当にあなたに会うのが楽しみだ。

・I’m used to getting up early.　早起きに慣れている。

⑤ 動名詞の逃避のイメージを持つ慣用表現× 2

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・I put off holding a party.　パーティーを開くのを延期した。

・I object to being treated like a child.　子供のように扱われるのが嫌いだ。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. I’m really looking forward (　　) there again sometime.

① go　② going　③ to go　④ to going

2. (　　) abroad.

① I used to traveling　② I was used to travel

③ I’m used to travel　④ I’m used to traveling

3. We had no choice (　　) to accept their offer.

① but　② with　③ at　④ under

4. You shouldn’t put off (　　) a letter to your parents.

① to write　② write　③ writing　④ have written

＊次の二つの文がほぼ同じ意味になる様に，空欄に適切な単語を埋めなさい。

5. Needless to say, health is above wealth.

= It goes (　　) saying that health is above wealth.

復習テスト　第 15 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The student is used (　　　) for five hours every day.
　① study　② to studying　③ studying　④ to study

2. The couple put (　　　) camping because of bad weather.
　① on going　② off to going　③ on to go　④ off going

3. (　　　), their music is not exactly to my taste.
　① To be honest　② So to speak
　③ Strange to say　④ When it comes to saying

4. It goes (　　　) that practice makes perfect.
　① to saying　② without saying
　③ saying　④ in saying

5. He asked me to marry him, but I had no choice (　　　) no.
　① than say　② to say that　③ but to say　④ what is said

NOTE

第 16 講　仮定法①

ポイント

【1】 仮定法の基本（公式）
【2】 仮定法の慣用表現①
【3】 仮定法の慣用表現②

ポイント【1】仮定法の基本（公式）

●仮定法とは？

英文を，事実か仮定の話か命令かで分けると，直説法（事実を述べる），仮定法（事実に反すること），命令法（命令文）の三種類に分けられる。直説法とは，一般的な英文のことで，命令法は命令文，仮定法がこの講で扱う，現実と反する内容を伝える際の表現。

●直説法と仮定法の違い

次の二文は何が違うか？

・If it is fine tomorrow, we will go on a picnic.
　明日晴れたら，ピクニックに行こう。

・If I were you, I would not marry such a man.
　もし私があなたなら，そんな人と結婚しない。

●仮定法の公式 = 最重要

	本来の時制	if 節の特徴	主節の特徴
仮定法過去	現在	過去形	助動詞の過去＋ V 原形
仮定法過去完了	過去	過去完了形（had p.p.）	助動詞の過去＋ have p.p.

●仮定法では，なぜ現在のことでも過去形を使うのか？

⇒　英語の過去形とは，単に時制上の過去を示すのみではない。現在形と距離を置くことで，丁寧さや非現実的イメージを伝えられる。

・駅への道を教えてくれますか？
　△　Can you tell me the way to the station?
　○　Could you tell me the way to the station?

・もし私があなたなら，その会社では働かないだろう。
　×　If I am you, I will not work in the company.
　○　If I were you, I would not work in the company.

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. If I (　　) her phone number, I could have called her yesterday.
　① is knowing　② has known　③ knows　④ had known

2. If your nose (　　) longer, you would be so beautiful.
　① is　② were　③ would be　④ can be

3. If he had worked a little harder, he (　　) the exam.
　① will pass　② would passed
　③ has passed　④ would have passed

4. If he were in Japan, he probably (　　) that way.
　① would act　② will act
　③ would have been acting　④ has acted

●復習用シート

仮定法の公式

	本来の時制	if 節の特徴	主節の特徴
仮定法過去	現在	過去形	助動詞の過去＋ V 原形
仮定法過去完了	過去	過去完了形（had p.p.）	助動詞の過去＋ have p.p.

復習テスト　第16講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. If I (　　　) in her position, I would turn down his marriage offer.
   ① am　② will be　③ were　④ being

2. If they (　　　) enough, they could have lost that baseball game.
   ① practiced　② had not practiced
   ③ didn’t practice　④ had practiced

3. If it (　　　) too windy tomorrow, I will put off climbing the mountain.
   ① were　② will be　③ had been　④ is

4. If you had set an alarm, you (　　　) up at 6 a.m.
   ① could have woken　② could wake
   ③ can wake　④ have been woken

5. If he felt sick, he (　　　) this birthday party.
   ① wouldn’t have joined　② will be able to join
   ③ would not join　④ could have joined

NOTE

ポイント【2】仮定法の慣用表現①

●問題　次の二つの英文は何が違うか？

・I hope you'll have a date with me.　僕とデートしてほしい。
・I wish you had a date with me.　僕とデートしてくれたらなあ。
↓
・hope that は（　　　　　　　　　　　　　　　　）
・wish that は（　　　　　　　　　　　　　　　　）

●仮定法の慣用表現①

I wish SV. S が V だったらなあ。
・V の時制を，本来の時制から一つ古い方にずらす。
I wish I knew his address.　彼の住所を知っていればなあ。
I wish I had bought the ticket.　そのチケットを買っていたらなあ。

●仮定法の慣用表現②

It is（about, high）time SV.（そろそろ，まさに）S が V する時間だ。
・V の時制を，本来の時制から一つ古い方にずらす。
　= is で，現在時制なので，V はそれより一つずらした過去形しか使われない。
It is（about, high）time you went to bed.（そろそろ，まさに）寝る時間だ。

●仮定法の慣用表現③

～ as if SV.「まるで S が V するかのように～」
・V の時制を一つ古い方にずらす。
She talks as if she were a child.
彼女はまるで子供であるかの様に話をする。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④，または①～⑥の選択肢から一つ選びなさい。

1. I wish I (　　) a million yen.
① have　② have had　③ am having　④ had

2. That child is smart; she talks (　　) she were a grown-up.
① instead of　② so　③ if　④ as if

3. It’s about time you (　　) your homework for the next class.
① are doing　② did　③ have done　④ will do

4. He wishes he (　　) rich at that time.
① had been　② have been　③ were　④ would be

5. 彼はまるでそのことを聞いたことがあるような口ぶりだ。
He talks (　　) (　　) (　　) (　　) (　　) (　　) it.
① heard　② about　③ if　④ had
⑤ he　⑥ as

●復習用シート

1	S が V だったらなあ。	I wish SV.
2	上記表現の特徴	V を本来の時制から一つ古い方にずらす
3	そろそろ S が V する時間だ	It is (about, high) time SV.
4	上記表現の特徴	V を過去形にする
5	まるで S が V するかのように	as if SV

復習テスト　第 16 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. My father said, “I wish I (　　　) abroad when I was younger.”
　① have studied　② studied　③ will study　④ had studied

2. The man smiled warmly (　　　) nothing had happened.
　① even if　② however　③ as if　④ because of

3. Oh, I think it’s high time I (　　　) a meal for my family.
　① had prepared　② will prepare　③ are preparing　④ prepared

4. The university student wishes she (　　　) a roommate.
　① found　② finding　③ will find　④ that finds

5. I really hope (　　　) that entrance exam.
　① he could pass　② he will pass
　③ him to have passed　④ his passing

NOTE

ポイント【3】仮定法の慣用表現②

●もし～がなかったら× 4

① if it were not for ~,
② if it had not been for ~,
= without ~, but for ~

If it were not for your help, I could not succeed.
あなたの助けがなければ成功できないだろう。
If it had not been for your help, I could not have succeeded.
あなたの助けがなかったら，成功できなかったろうに。
Without your help, I could not succeed.
あなたの助けがなければ成功できないだろう。
But for your help, I could not succeed.
あなたの助けがなければ成功できないだろう。

●仮定法未来（これから先の仮定＋実現可能性かなり低い）

① If S were to do, S 助動詞の過去＋ V 原形 ~.
「仮に S が～するなら，S は～だろう」
If the sun were to rise in the west, I would not betray you.
仮に太陽が西から昇っても，あなたを裏切らないよ。
⇒　極めて実現可能性が低い仮定

② If S should V, ~（命令文，助動詞の現在，助動詞の過去）.
「万が一 S が V するなら，～」
If anyone should visit me, tell them I'll be back soon.
万が一誰かが私を訪ねてきたら，すぐ戻ると伝えておいて。

If you should be late again, you will lose your job.
万が一再び遅刻するなら，あなたは職を失うことになる。

If it should snow tomorrow, the game would be postponed.
万が一明日雪が降るなら，試合は延期されるでしょう。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④，または①～⑤の選択肢から一つ選びなさい。

1. If anything (　　) , please let me know.

① happened　② should happen　③ had happened　④ will happen

2. If the sun (　　) , what would happen in this world?

① had disappeared　② should disappear

③ were to disappear　④ was disappearing

3. If it (　　) for your help, I could not have succeeded.

① is not　② has not been　③ were not　④ had not been

4. もし水がなければ私達は生きることができないでしょう。

(　　) (　　) (　　) (　　) (　　) water, we could not live.

① were　② it　③ if　④ not

⑤ for

5. He wouldn't have succeeded (　　) his wife's help.

① to　② within　③ thanks to　④ but for

●復習用シート

1	もし～がなかったら× 4	if it were not for ~, if it had not been for ~, without ~, but for ~
2	If S should V, ~. の特徴× 2	~ に命令文，助動詞の現在形あり
3	If S were to do , ~. の特徴	極めて実現可能性低い仮定に使う

復習テスト　　第 16 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. If (　　　) for ads, I could enjoy this online game more.
   ① it were　② it were not　③ but　④ it was without

2. If the world (　　　) filled with zombies, I would stand by you.
   ① should have　② had　③ not for　④ were to be

3. I might have given up halfway (　　　) your encouraging words.
   ① if it were　② should　③ but　④ without

4. I don’t expect calls today. If someone (　　　) me, tell them I’m away.
   ① will call　② called　③ should call　④ had called

5. (　　　) for that safety rope, he would have fallen to his death.
   ① If it had not been　② Not
   ③ Without　④ If it were not

NOTE

第 17 講　仮定法②

ポイント

【1】 if 節の倒置・代用
【2】 仮定法現在
【3】 仮定法総合演習

ポイント【1】if 節の倒置・代用

● if 節の倒置

（手順）

① if を消して，② S と were（had, should）を逆にする。

· If it were not for your help,	⇒	Were it not for ~,
· If it had not been for ~,	⇒	Had it not been for ~,
· If anything should happen,	⇒	Should anything happen,
· If the sun were to disappear,	⇒	Were the sun to disappear,

● if 節の代用

If ~ not の代用　⇒　otherwise（さもなければ）

Work hard; otherwise you would fail.
一生懸命頑張りなさい，さもなければ失敗するよ。

不定詞で代用　⇒　To hear him speak,「彼が話すのを聞けば」

To hear him speak, you would take him for a British man.
彼が話すのを聞けば，彼をイギリス人と思うだろう。

S が代用　⇒　A 名詞 「名詞なら」

A wise man would not do such a thing.
賢い人なら，そんなことはしないだろう。

⇒　仮定法の最大の特徴 = （　　　　　　　　　　　　）

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①〜④の選択肢から一つ選びなさい。

1. (　　) it not been for your help, we could not have reached the top of the mountain.

① Were　② Had　③ If　④ Since

2. (　　) he need any help, just let me know.

① Could　② Had　③ Should　④ Would

3. (　　) the sun to rise in the west, I would keep it to myself.

① Were　② Had　③ Should　④ Would

4. (　　) in your position, I would not have anything to do with the company.

① If I am　② If I had　③ Were I　④ Had I

5. 大衆の支持がなければ，その大統領は成功できなかっただろう。

(　　)(　　)(　　)(　　) the support of the public, the President could not have succeeded.

① for　② were　③ not　④ it

6. I was very tired; (　　), I would have gone to the party last night.

① if it had　② otherwise　③ if　④ without

●復習用シート

1	仮定法 if 節倒置の手順	① if を消して，② S と were, had, should を逆にする
2	さもなければ	otherwise

復習テスト　第 17 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) she call me, tell her I’m working from home this week.
① Were　② When　③ Was　④ Should

2. (　　　) been for his explanation, I couldn’t have understood the rules of English grammar.
① Were it not　② Should it not　③ Had it not　④ Was it not

3. A British person (　　　) pronounce this word like that.
① had not　② would not　③ was not　④ were not

4. He is honest. (　　　) to tell a lie, I would be very surprised.
① If he hadn’t　② Should he be　③ If he　④ Were he

5. (　　　) see her dance, you would think of her as a professional dancer.
① To　② If　③ Had you　④ Should you

NOTE

ポイント【2】仮定法現在

●仮定法現在とは？

動詞の原形を用いて，現在実現されていないことの実現を願う表現。

提案・命令・要求の that 節

提案する，命令する，要求するという V の that 節は，V 原形 or should V 原形を使う。

He insisted that his daughter keep early hours.

彼は娘に早寝早起きをするように要求した。

提案する　⇒　suggest, propose

命令する　⇒　order

要求する　⇒　demand

＊アメリカ英語では，V 原形，イギリス英語では，should V 原形にする。

☆なぜこのルールが存在するか？

⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. The teacher suggested she (　　) his history lecture.

① to attend　② attend　③ attending　④ attends

2. I proposed that we (　　) go back home.

① would　② should　③ could　④ might

3. He demanded that his mother (　　) the key to his car.

① returned　② returns　③ had returned　④ return

●復習用シート

1	提案・命令・要求の that 節に使われるルール	この that 節は，動詞の原形 or should 動詞の原形
2	上記ルールの動詞	propose, suggest, order, demand

復習テスト　　第 17 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My cousin insisted that I (　　　) him to the winter festival tomorrow.
① take　② would take　③ took　④ had taken

2. She suggested (　　　) before 11 p.m.
① me to sleep　② to me sleep　③ I should sleep　④ I have slept

3. The boss ordered (　　　) the job done by next Wednesday.
① that their getting　② they get
③ they got　④ them to getting

4. The police demanded the criminal (　　　) his gun.
① dropped　② drop　③ on dropping　④ him to dropping

5. He proposed (　　　) someone for advice.
① to me we asked　② our asking to me
③ to me to our asking　④ to me we should ask

NOTE

ポイント【3】仮定法総合演習

＊このポイントは，今までやった仮定法に関する膨大な知識を定着させて，＋αの知識を身に付ける講義です。予習を必ずやって空欄を埋めてから，講義にのぞんでください。

① 仮定法の公式

	本来の時制	if 節の特徴	主節の特徴
仮定法過去			
仮定法過去完了			

＊次の英文は正しいか？

If you had accepted our offer, you would be happy now.

② S が V だったらなあ　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

上記表現の特徴　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＊次の英文は正しいか？

He wishes he could go with you.

③ そろそろ S が V する頃だ　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

上記表現の特徴　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＊次の英文は正しいか？

It is high time they had gone to bed.

④ まるでＳがＶするかの様に　⇒　(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

上記表現の特徴

He looked as if he had seen a ghost. 彼はまるでお化けを見たかのような表情をしていた。 He talks as if he were a grown-up. 彼はまるで大人であるかのような話し方をする。

⑤ ～がなかったら× 4

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

⑥ 上記表現の倒置× 2

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

⑦ 仮定法未来の表現× 2　⇒　(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

上記表現の特徴　⇒　① (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

② (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

復習テスト　　第 17 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) cold yesterday, I would be enjoying the sleepover now.
   ① Were I caught　② Were to catch
   ③ Had I not caught　④ Should I catch

2. She wishes she (　　　) a glass of water now.
   ① will drink　② could drink　③ had drunk　④ should drink

3. It is about time we (　　　) our pet bird some food.
   ① give　② gave　③ had given　④ were given

4. I would freeze to death (　　　) this thick coat!
   ① otherwise　② had it not been
   ③ but for　④ weren't it for

5. If I (　　　) born again, I would travel around the world.
   ① will be　② had been
   ③ was to be　④ were to be

NOTE

第 18 講　関係詞①

ポイント

【1】　関係詞の基本
【2】　関係代名詞
【3】　関係副詞

ポイント【1】関係詞の基本

●関係代名詞とは？

日本語には全くない品詞だが, 実は接続詞と代名詞の役割を一つで兼ねられるのが, この関係代名詞。機能的には，接続代名詞といえる品詞。

例えば,

He had a daughter and she was very beautiful.

この文は，and という接続詞で文と文をつなげて，she という代名詞で a daughter を受けている。この二つを同時に兼ねるのが，関係代名詞の who となる。

He had a daughter who was very beautiful.

●関係副詞とは？

これも日本語に全くない品詞だが，関係代名詞と同様の考え方で，接続詞と副詞を一つで兼ねるのが，関係副詞。

例えば,

This is the town and there I was born.

この文は，and という接続詞で文と文をつなげて，there という副詞で the town を受けている。この二つを同時に兼ねるのが，関係副詞の where となる。

This is the town where I was born.

●関係代名詞と関係副詞の区別

次の二つの英文で，which, where どちらの関係詞を使うか？

This is the park（　　）I used to visit.

This is the park（　　）I used to go.

まずは，先行詞が park という場所だから where を使うという発想をやめる。

関係詞の後ろの文の形を見ることが先決。

上の文は，visit が他動詞で，本来目的語が必要な動詞だが，欠けている。目的語は名詞しかなれないので，この文は名詞が欠けている文となる。名詞が欠けている文を，不完全文という。すると，関係代名詞とは，代名詞，すなわち名詞の代わりも兼ねているのだから，後ろに名詞が欠けた不完全文に対応している。よって，which を使う。

一方で，下の文は，go が自動詞で，目的語は不要な動詞なので，後ろは名詞の欠けがない。名詞の欠けのない文を完全文といい，この場合は，関係副詞で対応させる。よって，where を使う。

☆関係詞の後ろの文が，

不完全文（名詞の欠けた文）　⇒　関係代名詞

完全文（名詞の欠けのない文）⇒　関係副詞

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. This is the hotel（　　）.

① which I stayed　② where I stayed

③ that I was stayed　④ what I was staying

2. France is a country（　　）I've wanted to visit.

① which　② where　③ in which　④ to which

●復習用シート

1	後ろが不完全文	関係代名詞
2	後ろが完全文	関係副詞

復習テスト　第 18 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I know a person (　　) keeps a snake as a pet.
   ① and　② where　③ who　④ then

2. We are going to a park (　　) we can play tennis.
   ① which　② where　③ but　④ what

3. He lives in a city (　　) many tourist attractions.
   ① where has　② and had　③ and is had　④ which has

4. I still remember the day (　　) I got on an airplane for the first time.
   ① when　② in whom　③ which　④ where

5. She went shopping at a store (　　) he often visits on weekends.
   ① where　② which　③ what　④ when

NOTE

ポイント【2】関係代名詞

後ろの文が完全か不完全かで，関係代名詞か関係副詞か判断出来たら，次に先行詞により関係詞を使い分けていく。

●関係代名詞の使い分け

先行詞	主格	目的格
人	who（that）	whom（that）
人以外	which（that）	which（that）

ここで次に問題になるのが，「主格」・「目的格」という言葉。これは，その関係代名詞が，後ろの文の主語の代名詞となっているか，目的語の代名詞になっているかの違い。簡単に言うと，後ろの文の主語が欠けていれば，主格。目的語が欠けていれば，目的格となる。人以外が先行詞であればどちらも which で問題ないが，人が先行詞の場合は，後ろの文の主語が欠けていれば who を使い，目的語が欠けていれば whom を使う。

The woman who entered the building was my mother.

The woman whom you met yesterday is my mother.

●関係代名詞の whose

英語学習の最初の段階で，多くの人が苦手になるのが whose。まずは，who と同じ語感から先行詞が人の時しか使えないと誤解されがちだが，先行詞が人以外にも使えることに注意。

The house whose roof is green is mine.　屋根が緑の家が私の家です。

次に，whose を苦手とする学習者が多い原因の一つは，なんとなくで whose を使ったり入れていたりするからだが，必ず明確な根拠を持つこと。所有格という言葉が曖昧なのが，混乱する原因の一つだが，これは先行詞と whose の直後の名詞が所有の関係にあることを指す言葉である。

The boy whose bicycle was stolen got very angry.

自転車が盗まれた少年はとても怒っていた。

☆ whose の特徴

① (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

② (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

●関係代名詞の that

関係代名詞の that は万能だが，好んで使う場面がいくつかあることに注意。

① 先行詞が疑問詞の who の時。

Who that knows her can believe the story?

彼女を知る誰が，その話を信じられようか。

② 先行詞が最上級形容詞で修飾されている時

He is one of the greatest basketball players that I have ever met.

彼は私が今まで会った中で最も優れたバスケットボール選手の一人だ。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. Do you know the girl (　　) is playing the guitar?

① those　② who　③ whom　④ whose

2. The girl (　　) I met on the airplane sent me a letter.

① where　② when　③ whom　④ whose

3. The U.S. imports 50% of the oil (　　) it consumes.

① that　② who　③ whom　④ whose

4. Heaven helps those (　　) help themselves.

① that　② who　③ whom　④ whose

5. Who (　　) was in the room called me?

① that　② who　③ whom　④ whose

復習テスト　第 18 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He finished reading a magazine (　　　) he bought yesterday.
① whose　② which　③ and　④ when

2. She's wearing a coat (　　　) color is dark gray.
① whom　② which　③ whose　④ who

3. Those travelers saw a statue (　　　) stood in front of the station.
① where　② whose　③ whom　④ that

4. He is the kindest person (　　　) I know.
① that　② whose　③ when　④ which

5. (　　　) loves animals dislikes cats?
① Who　② Those who　③ Which　④ Who that

NOTE

ポイント【3】関係副詞

●先行詞による関係副詞の使い分け

先行詞	時（time, day）	理由（reason）	場所
関係詞	when	why	where

関係代名詞と違い，関係副詞は主格・目的格を気にする必要がない。よって，後ろが完全文⇒関係副詞と決まったら，あとは先行詞でどの関係詞を使うかを使い分ける。when と where がほとんどで，why を使う場合は，先行詞は the reason となるので，簡単に why を選択できる。

・I remember the day when I first met you.
　私は最初にあなたに会った日を覚えている。

・I don't know the reason why you get so angry.
　私はあなたがそんなに怒っている理由がわからない。

・This is the park where I used to play soccer.
　これは私がよくサッカーをした公園だ。

●関係副詞の how

上記の関係副詞との大きな違いが，how は先行詞を取らないということ。むしろ，the way how という用法は間違った用法であることに注意。「S が V する方法」は，the way SV と，how SV の二つのパターンを覚える。the way と how は両雄並び立つことはない。

・This is how I came to know the accident.
・This is the way I came to know the accident.
　これが私がその事故を知るようになった方法です。

●先行詞の省略

関係副詞では，それぞれ頻度の高い先行詞は省略される。
例えば，when の time，why の reason，where の the place など。
when ～「～な時」　why ～「～する理由」　where ～「～する場所」

・That is when I met you first.　　それがあなたに最初に会った時だ。
・That is why I met you first.　　それがあなたに最初に会った理由だ。
・That is where I met you first.　　そこがあなたに最初に会った場所だ。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. This is the house (　　) Shakespeare was born.
① when　② why　③ which　④ where

2. There is no reason (　　) you said such a thing to me.
① when　② why　③ which　④ where

3. The day (　　) we went to the dance was last Sunday.
① when　② why　③ which　④ where

4. There was a train accident. That's (　　) he was late.
① when　② why　③ which　④ where

5. Computers have changed (　　) we live.
① how　② why　③ which　④ where

●復習用シート

1	関係副詞・先行詞が時	when
2	関係副詞・先行詞が場所	where
3	関係副詞・先行詞が理由	why
4	S が V する方法× 2	the way SV, how SV

復習テスト　　　　第 18 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Wednesday is the day (　　　) my mother comes home early from work.
   ① where　② how　③ when　④ which

2. I visited the local farm (　　　) my uncle worked.
   ① where　② which　③ what　④ why

3. Tell us the reason (　　　) you missed a bus.
   ① what　② why　③ whose　④ whom

4. My brother has two part-time jobs. This is (　　　) he earns enough money.
   ① when　② how　③ what　④ who

5. I had been feeling sick. That is (　　　) I went to a doctor yesterday.
   ① where　② what　③ when　④ why

NOTE

第 19 講　関係詞②

ポイント

【1】　前置詞 + 関係代名詞
【2】　関係代名詞の what
【3】　関係詞の応用

ポイント【1】前置詞＋関係代名詞

・まずは，前置詞の後ろは目的語しか置けず，目的語は名詞しかなれないので，名詞の性質を持つ関係代名詞しか後ろに置けないことに注意。前置詞 + 関係副詞の形は，基本認められない。

●なぜ前置詞 + 関係代名詞にするのか？

・This is the house. と I was born in the house. の二つの文を関係代名詞 which を使って，一つの文にする。

⇒ This is the house which I was born in. の文が完成する。

これ自体間違いの文ではないが，やはり文末の in という前置詞は，言葉の前に置かれてはじめて機能するもの。よって，house の代名詞である which の前に置いて，in which にする。完成した文が，

⇒ This is the house in which I was born.　　これが私が生まれた家です。

●前置詞 + 関係代名詞の後ろの文の形

・完全文（名詞の欠けのない文）か不完全文（名詞が欠けている文）という観点からは，前置詞 + 関係代名詞の後ろの文は，完全文となる。上の文で，This is the house which I was born in. でこそ，in が前置詞で，後ろの目的語が欠けた不完全文となるが，その違和感を解消するために，in を which の前に持ってきたのだから，in which の後ろの I was born. は，受動態で終わる名詞の欠けのない完全文となる。

●前置詞 + 関係代名詞の解法

・関係詞を入れる空所の後ろが完全文と分かったら，関係副詞・前置詞 + 関係代名詞の二つの可能性が生まれる。どの前置詞を使うかは，先行詞を後ろの文に入れて，判断する。

（例文）This is the house（　　）I used to live.

⇒　先行詞 the house を後ろの文の I used to live に入れると，I used to live in the house. になる。the house を代名詞の役割を果たす which に代えて，in which。そして，接続詞の位置に持ってくると，This is the house in which I used to live. になるので，in which を使うとわかる。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. I can’t find the bag（　　）I put my purse.

① whom　② to whom　③ in which　④ which

2. I can remember the day（　　）I arrived in Tokyo.

① where　② which　③ on which　④ at where

3. The chair（　　）she was sitting was made of pipe.

① on that　② that　③ on which　④ which

4. He has a clever daughter（　　）he is proud.

① of that　② of whom　③ of which　④ in which

●復習用シート

1	前置詞 + 関係代名詞の解法	先行詞を後ろの文に入れて，前置詞を特定
2	前置詞 + 関係代名詞の後ろの文	完全文

復習テスト　　第 19 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. There are times (　　　) people need to be brave.
   ① why　② at which　③ what　④ of whom

2. I sometimes remember my foolish acts (　　　) I'm ashamed.
   ① which　② in which　③ where　④ of which

3. She has some old friends (　　　) she hasn't kept in touch.
   ① with whom　② who　③ of that　④ when

4. At that time, he had a pen friend (　　　) he wrote e-mails.
   ① where　② with which　③ to whom　④ when

5. I had a strange dream (　　　) I was jumping with rabbits on the moon.
   ① when　② on whom　③ in which　④ how

NOTE

ポイント【2】関係代名詞の what

・関係詞の問題で, もっとも出題頻度の高いのが, この what。what が得意になるには, what の特徴を覚えることがカギを握っている。

● what の特徴× 2

①「～こと・もの」の意味になる名詞節を作る
② 後ろの文が不完全
What you have achieved is great.　あなたが達成したことは素晴らしい。

● what = the thing which とは？

・関係代名詞の which を使って，先行詞が the thing「こと」になるケースが非常に多いため, 関係代名詞which と先行詞 the thing を一語でまとめたものが what。ゆえに，what は先行詞をその中に含んでいるので，文中に先行詞は現れない。そして，what の訳は「～なこと」の意味になる。

● what の慣用表現

① 現在の S	what S is（am, are）
② 過去の S	what S was（were, used to be）
③ ～年前の S	what S was ～ years ago
④ いわゆる	what is called
⑤ さらに～なことに	what is 比較級

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. You should tell him (　　) you want him to do.

① where　② who　③ why　④ what

2. She spends (　　) she earns on her daughter.

① but　② that　③ as　④ what

3. Tokyo today is different from (　　) it was thirty years ago.

① as　② what　③ which　④ that

4. This is a picture of (　　) a caveman.

① who is said　② who is called　③ what is called　④ that is spoken

5. The day was windy, (　　) was worse, rainy.

① such　② so　③ which　④ what

●復習用シート

1	what の特徴× 2	名詞節「～こと」を作る
		後ろが不完全文
2	現在の S	what S is (am, are)
3	～年前の S	what S was ～ years ago
4	いわゆる	what is called
5	さらに～なことに	what is 比較級

復習テスト　第 19 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Express (　　　) you’re thinking and feeling in your own words.
① which　② as　③ what　④ that

2. The result was announced. It was quite different from (　　　) we expected.
① what　② that　③ where　④ but

3. My little brother is not lazy anymore. He is not (　　　) he used to be.
① so　② what　③ would　④ why

4. This chair is (　　　) called a gaming chair.
① how　② that　③ what is　④ which is

5. We won the dance contest. (　　　) is more important, everybody enjoyed it.
① Who　② That　③ Which　④ What

NOTE

ポイント【3】関係詞の応用

●関係詞の制限用法・非制限用法

・制限用法とは，関係詞の前にカンマを置かずに，先行詞を修飾していく用法。非制限用法とは，関係詞の前にカンマを置いて，先行詞の説明が続く用法。先行詞の意味を「制限」するという点で，制限用法。特に制限しないものなので，非制限用法と呼ばれる。

（例文）

He has a son who is a doctor.　　彼には医者をやっている息子がいる。

He has a son, who is a doctor.　　彼には息子がいて，医者をやっている。

●非制限用法の解釈＋特別用法

, which「そしてそれは」⇒　先行詞の範囲を文単位で取れる！！

He remained silent, which made me angry.

彼は静かなままだった，そしてそれは私を怒らせた。

, who「そしてその人は」

He has a sister, who works as a pianist in Tokyo.

彼には姉がいて，そしてその人は東京でピアニストとして働いている。

, when「そしてその時」

They came at eight, when we sat at the table.

彼らは八時に来て，そしてその時私達は食卓に座った。

, where「そしてそこで」

She went to Tokyo, where she met him.

彼女は東京に行って，そしてそこで彼女は彼と出会った。

●関係代名詞の as

・特定の表現と呼応して使われる。

such A as B「B のような A」

I have never seen such a picture as he painted.

私は彼が描いたような絵を見たことがない。

the same A as B「B と同じ A」

He wears the same kind of clothes as his brother wears.

彼は兄が着るのと同じ種類の服を着る。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. You should choose such friends (　　) can benefit you.

① which　② when　③ in which　④ as

2. She said she couldn’t speak English, (　　) was not true.

① what　② why　③ which　④ where

3. I want to buy the same book (　　) he has.

① which　② in which　③ as　④ than

4. Last winter I went to London, (　　) as cold as I had thought.

① when wasn’t　② where it wasn’t

③ where wasn’t　④ which it wasn’t

5. As a result of working at this company, I met my future wife, (　　) was also working there.

① when　② which　③ that　④ who

●復習用シート

1	, which の特徴と訳	文単位で先行詞をとれる。「そしてそれは」
2	such A as B	B のような A
3	the same A as B	B と同じ A

復習テスト　　　第 19 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My parents moved to Chiba in 2006, (　　　) I was born.
   ① which　② when　③ who　④ what

2. She has the same shoes (　　　) he is wearing.
   ① what　② whose　③ as　④ how

3. I have a cousin, (　　　) graduated from university.
   ① why　② which　③ whom　④ who

4. Such a high-tech machine (　　　) we just saw is not rare these days.
   ① what　② as　③ but　④ for

5. Things went worse, (　　　) few people could imagine.
   ① which　② what　③ where　④ whom

NOTE

第 20 講　関係詞③

ポイント

【1】　複合関係詞（-ever）
【2】　関係詞の解釈
【3】　関係詞総合演習

ポイント【1】複合関係詞（-ever）

●複合関係詞の特徴

・複合関係詞とは，関係詞の後ろに ever がついた形で，意味が二つある。任意のグループと譲歩のグループに分かれる。

whoever	「～する人はどんな人でも」
whatever	「～するものはどんなものでも」
whichever	「～するものはどれでも」
whenever	「～する時はどんな時でも」
wherever	「～する場所はどんな場所でも」

（例文）

・You may take whoever wants to go.
　行きたい人は誰でも連れていっていいよ。

・Whenever she comes, she brings us presents.
　彼女が来る時はいつでも，私達にプレゼントを持ってくる。

●譲歩の意味　⇒　「たとえ～でも」

・whoever	「たとえ誰が～しても」
・whatever	「たとえ何が～しても」
・whichever	「たとえどれが～しても」
・whenever	「たとえいつ～しても」
・wherever	「たとえどこで～しても」
・however + 形容詞（副詞）	「たとえ S がどれほど形容詞（副詞）でも」

（例文）

・However late you may be, please give me a call.
　たとえどれほど遅くなっても，電話してください。

●関係詞と複合関係詞の違い

⇒　複合関係詞は，先行詞が文中に現れない。 You may take（　　　）wants to go. ① who　　② whoever

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. She gets angry with（　　）opposes her.
   ① anyone　② everyone　③ whoever　④ they

2. We have plenty. Give this candy to（　　）wants to eat it.
   ① who　② whom　③ whoever　④ whomever

3. （　　）hard it may be, you have to do your best.
   ① Whatever　② Whenever　③ Whichever　④ However

4. Please bring（　　）you like.
   ① however　② no matter　③ that　④ whatever

5. （　　）I ask to speak to him, the secretary always says he is in a meeting.
   ① Whatever　② Whoever　③ Whomever　④ Whenever

●復習用シート

1	複合関係詞の特徴	先行詞を関係詞の中に含む
2	複合関係詞に含まれる意味は？	any「どんな～でも」
3	～などんな人でも	whoever
4	～などんな時でも	whenever
5	たとえどれほど～でも	however 形容詞・副詞

復習テスト　　第 20 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) you're in trouble, just give me a call or message.
   ① Any day　② Always　③ No matter　④ Whenever

2. Such a little mistake happens (　　　) careful we are.
   ① wherever　② however　③ whomever　④ whichever

3. Now I'll bring you coffee or tea—choose (　　　) you like.
   ① to which　② anywhere　③ whichever　④ however

4. You can't get away from yourself (　　　) you may go.
   ① wherever　② to which　③ matter where　④ any

5. (　　　) happens to you, you shouldn't give up your dream.
   ① Wherever　② Whatever　③ However　④ Whenever

NOTE

ポイント【2】関係詞の解釈

☆節の処理の基本　＝　一つの節に SV は一つ！

●形容詞節の処理　⇒　(　　)で範囲を指定して，先行詞に矢印でかける。

<u>which, who, whom, whose</u>

The meeting which was held yesterday was a failure.

昨日開かれた会議は失敗だった。

<u>when, why, where</u>

The day when we arrived was a holiday.

私達が到着した日は休日だった。

<u>前置詞 + 関係代名詞</u>

This is a man with whom I went to a concert.

こちらが私が一緒にコンサートに行った人です。

●名詞節の処理　⇒　〈　　〉で範囲を指定する。

<u>what</u>　「～すること・もの」

What I want is what he wants.　私が欲しいものは彼が欲しいものだ。

<u>how</u>　「～する方法」

I'll show you how I drive this car.

あなたにこの車を運転する方法をお見せしましょう。

<u>whoever, whatever, whichever</u>　「～する＿はどんな＿でも」

She consults whoever she trusts.

彼女は信頼できるどんな人にでも相談する。

●非制限用法（, 関係詞）の処理　⇒　そしてそれは（その人は，その時，そこで）と訳し下す。

<u>, which（who, when, where）</u>

I like his clothes, which are made in Paris.

私は彼の洋服が好きで，そしてそれはパリで作られている。

His clothes, which are made in Paris, are beautiful.

彼の洋服はパリで作られているが，美しい。

■問題演習

＊次の英文を訳して，空所を日本語で完成させなさい。

1. The house which she was looking for was on the main street.
（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）メインストリートにあった。

2. The boy whose bicycle was stolen reported its loss to his parents.
（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）それがなくなったと両親に報告した。

3. I hope the day comes when we can move into a more comfortable house.
私は（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）願っている。

4. I like children. That's why I became a teacher.
私は子供が好きだ。（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

5. What seems easy at first often turns out to be difficult.
（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

6. Her promotion will change how we look at her.
（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

7. He remained silent, which made her angry.
彼は（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

●復習用シート

1	what の処理	「～こと」・中かっこで範囲を指定
2	how の処理	「～する方法」・中かっこで範囲を指定
3	, which（who）の処理	そしてそれは（その人は）
4	, when（where）の処理	そしてその時（そこで）

復習テスト　　第 20 講【2】

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切なものをそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Those flowers which my mother takes care of are called lilies.
　① 母がそれらの花の世話をするとき　② 母が世話をしているそれらの花
　③ 母はそれらの花の世話をする　④ 母はそれらの花の世話をした

2. What the boy said to us was surprising.
　① 私たちに語った少年が誰か　② 私たちが少年に語ったこと
　③ 少年が何を語ったか私たちは　④ 少年が私たちに語ったこと

3. I wanted to take a nap. That is why I lay on the bed.
　① そういう方法で　② それこそ
　③ そういうわけで　④ そのとき

4. She took part in a theater workshop, where she met him.
　① そしてそこで彼女は彼に出会った　② 彼女が彼に出会った場所
　③ 彼女が彼に出会った場所の　④ たとえ彼女が彼に出会っても

5. The man claimed he saw a yeti, which proved to be false later.
　① …したが，後で誤りだと判明したそれは
　② それが後で誤りだと判明した際
　③ …したが，それは後で誤りだと判明した
　④ それは後で誤りだと判明したので

NOTE

ポイント【3】関係詞総合演習

＊この講は，18 講から 20 講まで続いた英文法の重要分野である関係詞の知識定着と＋αの授業をねらいとしたとても大切な講です。必ず，自分の手を動かして，予習の際に空白を埋めてきてください。

① 後ろが不完全文の時に使う関係詞は？　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
　後ろが完全文の時に使う関係詞は？　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・This is the park（　　　）I used to go.

・This is the park（　　　）I used to visit.

② 関係代名詞の whose の特徴は？　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・The boy（　　　）bicycle was stolen was angry.

③ 関係代名詞の what の特徴は？　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・That is what I want to know.

④「S が V する方法」を二つ　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑤ 関係副詞 why を使う場合の先行詞は？　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
　「そういう理由で～だ」の表現　　　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑥ 現在の S　　　　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
　～年前の S　　　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
　いわゆる～　　　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
　さらに悪いことに　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑦ B のような A　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
　B と同じ A　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑧ , which の特殊用法　⇒　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・He said he couldn't speak Russian, which was not true.

☆次の英文は正しいか否か？

The book I need is not in the library.

復習テスト　　第 20 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The cottage (　　　) we stayed was very clean.
① whom　② where　③ what　④ which

2. He has a partner (　　　) job is a college teacher.
① as　② what　③ whomever　④ whose

3. I ate (　　　) my host mother served me, and it tasted good.
① wherever　② which　③ what　④ that

4. That is (　　　) in which I acquired a foreign language.
① the way　② how　③ the reason　④ why

5. My grandfather is (　　　) call a jazz buff.
① what is　② what we　③ so we　④ as more

NOTE

第 21 講　比較①

ポイント

【1】 比較の全体像
【2】 原級の慣用表現
【3】 比較級の慣用表現①

ポイント【1】比較の全体像

●原級・比較級・最上級①

・比較が多くの学習者にとって難しくなる一つの理由が，文法用語が紛らわしいことがあげられる。まずは，比較という大きな分野の中に，「二つのものを比較して同じくらいだ」ということを示す『原級』，「二つものを比較してより～な方だ」を示す『比較級』，「三つ以上のものの中で一番～だ」ということを示す『最上級』がある。比較級は，あくまで比較という大きな分野の一つであることに注意。
比較が得意になるには，原級・比較級・最上級と三つに分けて，各分野ごとに，特徴と表現を学んでいくことが重要となる。

●原級・比較級・最上級②

・次に，原級という表現はどこから来ているかというと，原級＝「元の形」ということで，形容詞・副詞を全く変化させない形で使うものとなる。比較級とは，「より～だ」という意味で使い，形容詞・副詞に er を付けるか，beautiful のような長い形容詞は，more beautiful という more を付けた形で使う。最上級は，形容詞・副詞に est を付けるか，beautiful のような長い形容詞は，most を付けて，the を一番頭に付けた形で使う。

●原級・比較級・最上級③

・原級とは，S is as ～ as A. で，「S は A と同じくらい～だ」と，as･as で形容詞・副詞を全く変化させない形＝原級を挟んで使う。原級のキーワードは，as・as で形容詞の原級を挟みこむ。
・比較級とは，S is -er than A.「S は A より～だ」で，形容詞・副詞に er を付けて，基本は than「～より」とセットで使う。比較級のキーワードは，than があったら比較級。

・最上級とは，S is the -est of A.「S は A の中で最も～だ」で，形容詞・副詞に est を付けて，the を頭に付ける。基本は of「～の中で」とセットで使う。
最上級のキーワードは，最上級には the を付ける。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. The college is as beautiful learning environment (　　) any students could hope to have.
① that　② than　③ as　④ before

2. Frost occurs on valley and on low ground (　　) on adjacent hills.
① more frequently than　② more frequently
③ as frequently than　④ frequently than

3. The new drug is safer, and has (　　) side effects than the former treatment.
① fewest　② few　③ the few　④ fewer

4. (　　) women were attending colleges and universities than ever before.
① More　② Most　③ Much　④ Many

5. Of the three brothers, Mike was (　　) singer.
① the better　② a better　③ the best　④ a best

●復習用シート

1	原級の特徴	as・as で形容詞の変化させないものを挟む
2	比較級の特徴	than があったら比較級
3	最上級の特徴	最上級には the を付ける・of ～とセット

復習テスト　第 21 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. This container is more eco-friendly (　　　) that one.
   ① as　② while　③ than　④ compared

2. My partner dumped me. That was (　　　) experience in my life.
   ① one of painful　② more painful　③ as painful as　④ the most painful

3. He says giving gifts to close friends is as common in the U.S. (　　　) in Japan.
   ① than　② as　③ where　④ so

4. The band’s second album is (　　　) than the debut one.
   ① the most energetic　② more energetic
   ③ so energetic as　④ as energetic

5. The festival this year was (　　　) as the one in the previous year.
   ① as large-scaled　② more large-scaled
   ③ not so much large-scaled　④ the most large-scaled

NOTE

ポイント【2】原級の慣用表現

●原級の否定形

・not as ～ as A で，「A ほど～ではない」の訳になる。まず，原級の否定形では，先頭の as が so に転化する場合が多々あることに注意する。むしろ，not so ～ as A で，「A ほど～ではない」と覚えておく。
次に，not so ～ as A = less ～ than A と比較級を用いて，書き換えが可能。
He is not so tall as she. 彼は彼女ほど背が高くない。
= He is less tall than she.

● not so much A as B 「A というよりむしろ B」

・原級表現では，最重要表現の一つだが，決して丸暗記しないように。これも実は，元々原級の否定形。すなわち，直訳すると，「B ほど A ではない」の意味となる。
She is not so much a teacher as a poet. 原級の否定形との認識から直訳すると，「彼女は詩人ほどには先生ではない」となる。すると，彼女という一人の人間の性質を考えて，先生⇒×，どちらかと言うと，詩人⇒○となる。これを日本語訳にすると，「先生ではなくて，詩人だ」。そこから，「先生というよりむしろ詩人だ」となり，お目当ての『A というよりむしろ B』の表現が生まれる。

●出来る限り～

・as ～ as possible（S can）「出来る限り～」
直訳すると，「可能なのと同じくらい～」。意訳して，「出来る限り～」。
Leave there as soon as possible. 出来る限り早くそこを出発しなさい。

●倍数表現

・～ times as … as A.「A の～倍…」
三倍以上には，ふつうに three times, four times とすればいいが，注意が必要なのが，二倍と半分の表現。二倍は，ふつう two times とはいわずに，twice といい，半分は half。
He has twice as many books as she. 彼は彼女の二倍本を持っている。

■問題演習

＊次の英文の空欄に，適切なものを①～④から一つずつ選びなさい。

1. It isn't (　　) as it was last week.

① so cold　　② so as cold
③ colder than　　④ such cold

2. In his own home the manager is not (　　) a master as a servant.

① so many　　② very much　　③ so much　　④ so little

3. She told her parents that she would return home (　　).

① as soon as possible　　② as possible as she could
③ as soon as she was possible　　④ as soon as it was able

4. The population of this country is (　　) that of Japan.

① as ten times as large　　② as ten times large as
③ ten times as large as　　④ as large ten times

5. It rains here (　　) in Japan.

① as often twice as　　② as twice often as
③ twice as often as　　④ as twice often

●復習用シート

1	原級の否定形	not so ～ as A「A ほど～ではない」
2	A というよりむしろ B	not so much A as B
3	出来る限り～	as ～ as possible（S can）
4	倍数表現は	as ～ as の前に置く！

復習テスト　第 21 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The research method proved (　　　) than scientists thought.
   ① more effectively　② so effective
   ③ less effective　④ the most effectively

2. On the whole, today was (　　　) yesterday.
   ① not half stressful as　② less stressful
   ③ hardly stressful　④ not as stressful as

3. The team won the game (　　　) by hard practice as by pure luck.
   ① rather　② not so much
   ③ so many as　④ no less than

4. I'd like to use this laptop as (　　　).
   ① long as possible　② possibly as long
   ③ possible as long　④ long possibly as

5. One of my cousins is exactly (　　　) my father is.
   ① as half old as　② so half as old
   ③ half as old as　④ so old as half

NOTE

ポイント【3】比較級の慣用表現①

● the + 比較級

・the + 比較級 of the two「二つのうちで～な方」
the が最上級特有の表現と丸暗記していると，この表現は，比較級の前に the を付けられるのかという問題に直面するが，最上級に付ける the は，「一つに限定する the」。the tallest ならば，「最も背が高い」となり，それは一つしかないわけだから「一つに限定」できている。
すると，この表現で the を使うことに合点がいくはず。the taller of the two とすると，「二人のうちで背の高い方」。一つに限定できているので，比較級の前に the を置くことに問題はない。
（例文）
My brother is the taller of the two.　　私の兄は二人のうち背の高い方だ。

・The + 比較級 ～ , the + 比較級 ･･･.
「～すればするほど，それだけますます…」
比較級表現の中では，最重要表現の一つとなる。大学入試でも，下線部和訳・文法問題・整序英作文等，あらゆる出題形式で出題される。
ただし，丸暗記は不要。
比較級は，変化を表すものだから，両方の比較級が「するほど」「ますます」と変化を表す日本語に対応している。中でも重要なのが，後ろの the。これは「それだけ」という日本語に相当して，前の文を指示している。前の the は，文と文をつなぐ役割をしている the で特に気にしなくていい。
The higher you climb, the colder it becomes.
高く登れば登るほど，それだけますます寒くなる。

● no + 比較級①

・A whale is no more a fish than a horse is.
「鯨は魚でないのは，馬が魚でないのと同様だ」
鯨の公式で有名な構文だが，これも丸暗記は不要。公式で示すと，S is no more C than S′ is C. 直訳すると,「S が C だというのは, S′ が C だというのと同様だ」の意味。上の文に当てはめると，直訳は「鯨が魚だというのは，馬が魚だというのと大差ない」。これは，皮肉を込めた表現で，than 以下に明らかに真実と異なるとわかる情報を置いて，それと同じくらいとんでもない話だとする表現。
例文でも，「鯨が魚だというのは，馬が魚だというのと同じくらいとんでもない

話だ」。これを意訳して，「鯨が魚でないのは，馬が魚でないのと同様だ。」と両者否定の文となる。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. This is (　　) of the two.

① the most beautiful　② the more beautiful

③ very more useful　④ much more beautiful

2. The more I studied English, (　　) interesting I came to find it.

① even more　② the more　③ mostly　④ it was almost

3. Neither Mike nor Tom can swim.

= Mike can (　　) swim than Tom can.

① not or less　② no less　③ not more　④ no more

●復習用シート

1	the+ 比較級 of the two	二つのうちで～な方
2	The+ 比較級 ～ , the+ 比較級 ….	～すればするほど，それだけますます…だ。
3	S is no more C than S’ is C.	S が C でないのは S’ が C でないのと同様だ

復習テスト　第21講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I wondered, “Which of the two is the (　　　) book for my study?”
① even more helpfully　② most helpful
③ more helpful　④ more helpfulness

2. The (　　　) he stayed awake, the worse he felt.
① long　② longer　③ length　④ lengthening

3. You can no (　　　) understand my feelings than use telepathy.
① many　② much　③ so　④ more

4. (　　　) I thought about my old teacher, the more I missed her.
① Although　② As　③ The more　④ Whenever

5. I am (　　　) a morning person than you are.
① never as　② no more　③ as ever　④ most of

NOTE

第 22 講　比較②

ポイント

【1】　比較級の慣用表現②
【2】　最上級の慣用表現
【3】　最上級相当表現

ポイント【1】比較級の慣用表現②

● no + 比較級②

・no more than「〜しかない」と no less than「〜もある」

前の講で扱った鯨の構文とは，少し異なる表現。しかし，no が否定語で後ろの more や less を打ち消すという点では共通している。no more than から説明すると，no が more を打ち消すが，ここでの more は「量が多い」という意味なので, no で打ち消すと「(決して) 多くない」の意味になる。no more で「(決して) 多くない」では抽象的なので，than 以下で数詞を置いて具体化する。

I have no more than $100. 直訳すると,「私は（決して）多くは持っていない，具体的に 100 ドル」。これを意訳して,「私は 100 ドルしか持っていない」となる。お目当ての no more than「〜しかない」の意味が出てくる。

一方で，no less than の方は，no が less を強く打ち消すが，less は「量が少ない」。no less で「(決して) 少なくはない = 多い」表現となる。あとは，上と同様に，than 以下で数詞で具体化される。

I have no less than $100.「私は多く持っている，具体的に 100 ドル」。意訳して，「私は 100 ドルも持っている」となる。お目当ての no less than「〜もある」という量の多さを示す表現が出てくる。

● know better than to do　「〜するほど愚かではない」

・know better で，「よりよい事を知っている」となる。よって，「〜することよりよい事を知っている」=「〜するほど愚かではない」になる。

He knows better than to do such a silly thing.
彼はそんなばかげたことをするほど愚かではない。

●ラテン比較級

・この比較表現については，通常「～より」に相当する than を使わずに，全て to を使う。

be superior to 「～より優れている」
be inferior to 「～より劣っている」
be senior to 「～より年上だ」
be junior to 「～より年下だ」

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。2 は下線部とほぼ同じ意味のものを①～④から一つ選びなさい。

1. You ought to (　　) than to go to such a dangerous place.
① have better　② know better　③ make better　④ turn better

2. He paid me <u>no more than</u> 1,000 dollars.
① as much as　② only　③ at most　④ at best

3. She is five years younger than you. = She is (　　) to you by five years.
① older　② younger　③ senior　④ junior

4. She is a better speaker of French than I.
= She is (　　) in speaking French.
① inferior to me　② inferior than me
③ superior to me　④ superior than me

●復習用シート

1	no more than A, no less than A	A しかない，A もある
2	know better than to do	～するほど愚かではない
3	～より年上だ（年下だ）	be senior（junior）to
4	～より優れている（劣っている）	be superior（inferior）to

復習テスト　第 22 講【１】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. A drugstore is near this hotel. It is (　　　) than 50 meters from here.
   ① only　② no less　③ no more　④ at most

2. My uncle is a music fan. He has no (　　　) than 3,000 CDs in his room.
   ① least　② better　③ much　④ less

3. I know (　　　) to tell my personal information to a complete stranger.
   ① better than　② less than　③ as much　④ at most

4. Lizzy is my big sister. She is (　　　) to me by three years.
   ① older　② senior　③ elder　④ junior

5. He can dance better than I, so I sometimes feel (　　　) to him.
   ① inferior　② more negative　③ superior　④ better

NOTE

ポイント【2】最上級の慣用表現

●最上級の範囲

・「一番～だ」を示す最上級表現は，どの中で一番なのかを示す範囲が必要となる。

ｉ）全体　「～の中で」of（in）～

This is the most beautiful picture [in] my album.

This is the most beautiful picture [of] all the pictures.

「これは私のアルバム（全ての写真）で最も美しい写真だ。」

ⅱ）経験　「S が今まで～した中で」（that）S have ever p.p.

This is the best movie [I’ve ever watched].

「これは私が今まで見た中で最高の映画だ。」

● the+ 序数 +-est「何番目に～だ」

・最上級表現を使えば，当然「一番～だ」となるが，「二番目に～だ」あるいは「三番目に～だ」と言いたいときにどうするかが問題となる。

これは，the+-est の間に，序数という順序を示す単語を入れてあげればいい。

序数とは, 二番目から, second, third, …という言葉である。the + 序数 +-est で, 「何番目に～だ」も表現できるようになる。

This is <u>the fifth largest</u> city in the country.

これはその国で五番目に大きな都市だ。

● one of the -est+ 複数名詞　「最も～な内の一つ」

・実際には最上級表現が裸で使われるよりも，この one of という表現とセットで使われることが多い。その理由は，英語の最上級表現が，そのまま使うと強すぎるために，one of と使うことで，弱めようというのが狙いである。

It is [one of the best movies] that I have ever watched.

それは私が今まで見た中で最高の映画の一つだ。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. He said it was（　　）exciting book he had ever read.

① the more　② the most　③ more　④ most

2. （　　）Mary's five brothers, Mike is the most talented.

① Across　② In　③ Over　④ Of

3. Nagoya is（　　）city in Japan.

① the largest third　② an third largest

③ the third largest　④ a large third

4. I have just finished reading this book. It was really（　　）best books I have ever read.

① any of the　② one of the　③ the　④ the one

●復習用シート

1	最上級の範囲× 2	全体・経験
2	上記を詳しく	of（in）～ , S have ever p.p.
3	何番目に～だ	the + 序数 +-est
4	最も～な内の一つ	one of the −est + 複数名詞

復習テスト　第 22 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. To be honest, that party was the most boring (　　　) my life.
① of　② among　③ between　④ in

2. I like autumn the best (　　　) all the four seasons. How about you?
① in　② of　③ to　④ at

3. That was the most beautiful song that I've (　　　) heard.
① ever　② still　③ never　④ yet

4. Toshi is (　　　) the four brothers.
① the oldest of the second　② the second senior to
③ the senior to second　④ the second oldest of

5. This is (　　　) the most difficult questions that I've been asked.
① nothing in　② one of　③ least at　④ none to

NOTE

ポイント【3】最上級相当表現

●最上級相当表現とは？

・比較の中で，最重要表現の一つで，原級・比較級を用いて，最上級の意味を伝えられる表現である。形は原級・比較級にもかかわらず，意味は最上級となる。

●主語に否定語

・No other city in Japan is so big as Tokyo.　（原級）
・No other city in Japan is larger than Tokyo.　（比較級）
「日本で東京ほど（より）大きな都市はない。」
＝「日本で東京が一番大きな都市である。」
⇒ No other 単数名詞 is so ～ as（-er than）A.
「A ほど～なほかの名詞はない。」=A が一番～な名詞だ。

次のバージョンもある。
・Nothing is so precious as time.　（原級）
Nothing is more precious than time.（比較級）
「時間ほど（より）貴重なものはない。」= 時間が一番貴重だ。

● than 以下に any 「どの～」

・Tokyo is larger than any other city in Japan.　（比較級）
「東京は日本のほかのどの都市よりも大きい」= 東京は日本で一番大きな都市だ。
⇒ S is -er than any other 単数名詞 .
「S はほかのどの名詞より～だ」=S は一番～な名詞だ。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。2 は空所に入る語を書きなさい。

1. No other sport in Japan is (　　) as baseball.

① the most popular　　② most popular
③ more popular　　④ so popular

2. The beautiful shrine is older than any other building in my country.

= The beautiful shrine is (　　　　) (　　　　) building in my country.

3. Tom sings better than (　　) other boy in his class.

① any　　② all　　③ each　　④ every

4. I love chatting with my friends on the telephone. (　　) is more enjoyable.

① Nothing　　② There　　③ Here　　④ That

●復習用シート

1	最上級相当表現× 2	主語に否定語，than 以下に any
2	上記を詳しく	No other 単数名詞 is so ～ as (-er than) A.
3		A is -er than any other 単数名詞 .

復習テスト　　第 22 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. In this school, no (　　　) student can play tennis better than Kenji.
   ① the one　② other　③ another　④ any

2. You ought to remember that nothing is (　　　) time.
   ① so valuable　② more valuable
   ③ as valuable as　④ the most valuable

3. Hokkaido is colder than any (　　　) prefecture.
   ① other　② as　③ that　④ another

4. He thinks (　　　) photo is as lovely as that one.
   ① any more　② nothing　③ that none　④ no other

5. (　　　) was more helpful than her advice.
   ① Almost　② Nothing　③ Any other　④ No other

NOTE

第 23 講　比較③

ポイント

【1】　比較応用①
【2】　比較応用②
【3】　比較総合演習

ポイント【1】比較応用①

●原級・比較級・最上級の強調

	原級	比較級	最上級
very	◎ very good	×	◎ the very best
much	×	◎ much better	much the best
far（much の強調）	×	far better	far the best
even（still）	×	even better	×
by far	×	△	by far the best

●～ , much（still）less ….　「～ではない，まして…ではない」

・～部分に否定文がきて，ここでの much は比較級 less の強調。よって，直訳すると，「～ではない，それ以上にずっと…ではない」となる。
I can’t speak English, much less French.
私は英語を話せない，ましてフランス語も話せない。

●差を表す by

・She is taller than I by three inches.　彼女は私より 3 インチ背が高い。
・He is junior to you by five years.　彼はあなたより 5 歳年下だ。
・She came by the road.　彼女はその道を通って来た。
・You shouldn’t judge a man by his appearances.
外見で人を判断すべきではない。
・I missed the train by a minute.　私は一分差で電車を乗り損ねた。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. I did not even see her, (　　) speak to her.

① much more　② less than　③ still more　④ much less

2. His son is younger than mine (　　) three years.

① by　② for　③ in　④ with

3. The museum is (　　) older than we think.

① very　② less　③ much　④ so

4. This is the (　　) best book I've ever read.

① far　② most　③ much　④ very

5. This comic is (　　) far the most interesting of all.

① too　② by　③ very　④ much

●復習用シート

1	比較級の強調× 4	much, far, even, still
2	～ , much less ….	～ではない，ましてや…ではない
3	差を表す～	by

復習テスト　第 23 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I hear the next typhoon will be (　　　) more powerful.
   ① so　② very　③ even　④ by

2. He can’t afford to buy a used car, (　　　) less a new one.
   ① no　② much　③ as　④ more or

3. That movie was by (　　　) the most romantic that I have ever seen.
   ① far　② any means　③ and by　④ less

4. The basketball team almost lost the game. They won (　　　) just one point.
   ① without　② as　③ like　④ by

5. That was the (　　　) worst experience that I’ve ever had.
   ① still　② very　③ as so　④ less

NOTE

ポイント【2】比較応用②

●比べるものは同じもの

・The population of Tokyo is three times as large as this city.　⇒　×
・The population of Tokyo is three times as large as that of this city.　⇒　○

＊なぜ上の文はだめで，下の文が正しいか？
⇒　上の文は比較対象が the population「人口」と this city「この都市」。比較対象は同じものでなければいけないので，下の文のように代名詞の that を使って比較対象を合わせる。

●何と何を比べているか？

・原級や比較級では，常に何と何とを比べているかの視点が必要となる。
He likes her better than me.　彼は私より彼女が好きだ。
He likes her better than I.　彼は私より彼女が好きだ。
＊日本語に訳すと，一見同じになってしまう上の二つの文は何が違うか？
⇒　than の前後で共通情報が省略される。上の文は He likes, 下の文は like her とすると, 上の文は「彼が私を好きな度合いより彼女を好きな度合いが強い」。下は「彼が彼女を好きな度合いが私が彼女を好きな度合いより強い」となる。

（例題）　以下の文は何と何を比べているか？
・She is not younger than she looks.

● the なしの最上級

・This lake is the deepest in the world.　この湖は世界で一番深い。
・This lake is deepest at that point.　この湖はあの地点が一番深い。
＊上の二つの文の違いは何か？
⇒　上の文は, 世界の他の湖と比べて一番深いから一つに限定される the を付ける。下の文は，他の湖と比べるわけではないので，一つに限定する the は不要。
・at most「多くても」
I have 1000 yen at most.　多くても 1000 円しか持っていない。

・at least「少なくとも」
I have 1000 yen at least.　少なくとも 1000 円は持っている。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. She is not so young as (　　).

① she looks　② she looked at　③ she looks at　④ she was looked

2. Every student in my school is expected to study at (　　) five hours every day.

① all　② once　③ last　④ least

3. It's almost five o'clock so we have only three more minutes (　　).

① at first　② at last　③ at least　④ at most

4. The population of Sapporo is smaller than (　　) of Tokyo.

① one　② that　③ it　④ they

●復習用シート

1	比較対象の繰り返しを避けるもの	that
2	at most	多くても
3	at least	少なくとも

復習テスト　　第 23 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I think the originality of his idea is greater than (　　　) of mine.
   ① it　② those　③ him　④ that

2. He loves her better than (　　　). His love toward her is deeper than mine.
   ① me　② my　③ mine　④ I

3. That man cannot be under 40 years of age. He must be (　　　) 45.
   ① as good as　② at least　③ more than　④ at the earliest

4. I was badly off at that time. I earned 90,000 yen at (　　　) a month.
   ① all　② less　③ once　④ most

5. Be careful. This pond is (　　　) here.
   ① the deeper　② deepens　③ deepest　④ the depth

NOTE

ポイント【3】比較総合演習

＊このポイントは，今までやった比較に関する膨大な知識を定着させて，＋αの知識を身に付けるとても大切な講義です。予習を必ずやって空欄を埋めてから，講義にのぞんでください。

< 原級の重要表現 >

① A というよりむしろ B　⇒　(　　　　　　　　　　)

＊次の英文は正しいか否か？

・She is a singer rather than an actress. 彼女は女優というよりむしろ歌手だ。

② A の何倍〜　⇒　(　　　　　　　　　　)

③ 出来る限り〜　⇒　(　　　　　　　　　　)

< 比較級の重要表現 >

④ 〜すればするほど，それだけ…　⇒　(　　　　　　　　　　)

⑤ B と同様に A ではない　⇒　(　　　　　　　　　　)

＊次の英文は正しいか否か？

・A whale is no less a mammal than a horse is. 鯨は馬と同様に哺乳類だ。

⑥ 二つの内で〜な方　⇒　(　　　　　　　　　　)

⑦ 〜するほど愚かではない　⇒　(　　　　　　　　　　)

⑧ 〜しかない　⇒　(　　　　　　　　　　)

⑨ 〜より年上（年下）だ　⇒　(　　　　　　　　　　)

⑩ 〜より優れている（劣っている）　⇒　(　　　　　　　　　　)

⑪ 比較級を強調できるもの× 4　⇒　(　　　　　　　　　　)

< 最上級相当表現 >

⑫ A ほど〜な他の名詞はない

⇒　(　　　　　　　　　　)

⑬ 時間ほど貴重なものはない

⇒　(　　　　　　　　　　)

⑭ A は他のどの名詞より〜だ

⇒　(　　　　　　　　　　)

復習テスト　第 23 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. This song can be categorized into rock (　　　) than jazz, I think.
   ① no more　② as　③ rather　④ no less

2. The real world was (　　　) as my imagination.
   ① a million times as big　② big as million times
   ③ as million times a big　④ as big a million times

3. The harder the boy practiced, (　　　) his piano playing got.
   ① since　② though　③ the better　④ as far as

4. This ice cream tastes (　　　) sweet than that one does.
   ① so　② no less　③ at least　④ very

5. (　　　) *shogi* player can play *shogi* better than Hiroshi.
   ① Nothing　② Any other　③ Nobody　④ No other

NOTE

第 24 講　接続詞

ポイント

【1】　that 絡み
【2】　区別が必要な接続詞
【3】　副詞・名詞からの接続詞への転用

ポイント【1】that 絡み

●名詞節の that

・名詞節の that「〜ということ」

That you study English now is a good idea.

⇒　It is a good idea that you study English now.

あなたが今英語を学ぶというのは良い考えだ。

I know that you are my friend. 私はあなたが私の友人と分かっている。

The trouble is that she doesn’t understand you at all.

困ったことに彼女はあなたを全く理解していない。

・同格の that　名詞 that 〜「〜という名詞」

The fact that you are my friend is important.

あなたが私の友人だという事実が重要だ。

The news that he survived the accident delighted me.

彼がその事故を生き延びたという知らせは私を喜ばせた。

● so（such）〜 that …. 「とても〜なので…」

・so 〜 that …

This is so beautiful a picture that I can’t express it by words.

これはとても美しい絵なので言葉で言い表せない。

・such 〜 that …

This is such a beautiful picture that I can’t express it by words.

これはとても美しい絵なので言葉で言い表せない。

＊ so と such の違いは？

⇒　so は副詞。名詞に直接かかることができない。

such は形容詞。名詞に直接かかることができる。

● so that S 助動詞　「S が〜するように」

・Let's take an express train so that we can get there 20 minutes earlier.
私達がそこに二十分早く着けるように急行に乗ろう。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①〜④の選択肢から一つ選びなさい。

1. (　　) she believes you is hard to believe.

① What　② That　③ Whatever　④ Whenever

2. The fact (　　) she wrote her essay is clear.

① that　② how　③ in which　④ which

3. She is (　　) a liar that you shouldn't trust her.

① so　② such　③ very　④ quite

4. I was (　　) that I went to bed early.

① so tired　② too tired　③ much tired　④ such tired

5. I drew a picture (　　) my story will be clearer.

① although　② in order　③ so that　④ for

●復習用シート

1	とても〜なので…× 2	so 〜 that …, such 〜 that …
2	〜という知らせ（事実）	the news（fact）that 〜
3	S が〜するように	so that S 助動詞

復習テスト　第 24 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The simple truth is (　　　) flowers are beautiful.
　① what　② every　③ that　④ so

2. I'm in favor of her idea (　　　) we should hold a meeting today.
　① which　② although　③ or　④ that

3. It was (　　　) cold that I warmed myself in a *kotatsu*.
　① so　② even　③ such　④ by far

4. It was such an exciting novel (　　　) I finished reading it in half a day.
　① what　② that　③ whose　④ which

5. On my way here, I used GPS (　　　) I would not get lost.
　① so that　② because　③ even though　④ if

NOTE

ポイント【2】区別が必要な接続詞

● if「もし～なら」vs. unless「（もし）～しない限り」

・If this is the case, we have to help him right now.
もしこれが事実なら，私達は彼を今すぐ助けなければならない。

・You will never know unless you try it.
やってみない限り，決してわかることはない。

● by the time S V「S が V する時までには」vs. until S V「S が V するまでずっと」

・By the time she arrived, I entered the stadium.
彼女が着く時までには，私はスタジアムに入った。

・I have to stay here until the manager comes back.
部長が戻ってくるまでずっと，ここにいなければならない。

● as

・時（～すると），比例（～するにつれて）
As I got there, he left there. 私がそこに着くと，彼はそこを離れてしまった。
As it grew darker, it became colder.　暗くなるにつれて，寒くなっていった。

・理由（～なので）
As he is a married man, he has to think of his wife.
彼は既婚者なので，妻のことを考えなければいけない。

・様態（～ように）
Do in Rome as the Romans do. 郷に入りては郷に従え。

● since

・時（～して以来）
She has worked since she left school.
彼女は学校を出て以来ずっと働いている。

・理由（～なので）
Since we don’t trust her, we should not employ her.
私達は彼女を信頼していないので，雇うべきではない。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. They won't do anything (　　) you pay them in advance.

① which　② when　③ unless　④ if

2. We waited indoors (　　) the rain stopped.

① because　② which　③ if　④ until

3. We do not necessarily grow wiser (　　) we grow older.

① since　② as　③ which　④ than

4. Ever (　　) we were children, we have known each other.

① though　② since　③ for　④ because

5. (　　) I had a headache, I went to bed early.

① What　② That　③ Unless　④ Since

●復習用シート

1	Unless S V,	S が V しない限り
2	Until S V,	S が V するまでずっと
3	By the time S V,	S が V する時までには
4	比例の as	～するにつれて，比較級とセット
5	様態の as	～ように
6	理由の since	～なので
7	時の since	～して以来

復習テスト　第 24 講【2】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. We’re going to climb Mt. Takao tomorrow (　　　) it is bad weather there.
   ① unless　② as long as　③ were it not for　④ otherwise

2. (　　　) the movie is over, it will stop raining outside.
   ① Though　② Until　③ During　④ By the time

3. The little girl stayed awake (　　　) she felt sleepy.
   ① by the time　② since　③ until　④ if

4. I like cats and dogs, especially (　　　) they don’t speak human language.
   ① that　② since　③ the minute　④ unless

5. She set up her computer (　　　) the instructions said.
   ① what　② that　③ as　④ whether

NOTE

ポイント【3】副詞・名詞からの接続詞への転用

●副詞・前置詞句から接続詞への転用

・now that ～ ,「今や～なので」

Now that I have a child, I have to work harder.

今や子供がいるので，もっと一生懸命働かないといけない。

・once S V,「一度 S が V すると」

Once you begin, you must continue.

一度始めたら，続けなければいけない。

・every（each）time S V, 「S が V する度に」

Every time I see her, she looks happy.

彼女を見るたびに，幸せに見える。

・in case S V,「S が V する場合に備えて」

You must take an umbrella with you in case it rains.

雨が降る場合に備えて，傘を持っていかなければいけない。

●～するとすぐに

・As soon as S V, ….「S が V するとすぐに」

As soon as you arrive in Sapporo, please let me know.

札幌に着いたらすぐに，知らせてください。

・No sooner A than B.「A するとすぐに B」

No sooner had he gotten home than it started to rain.

彼が家に着くとすぐに雨が降り始めた。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. I'll ask her (　　) she arrives.

① as far as　② as little as　③ as soon as　④ as much as

2. (　　) had he sat down than the phone rang.

① No sooner　② Scarcely　③ Not until　④ Hardly

3. (　　) he has gone, I can no longer see him.

① Upon that　② Since that　③ Now that　④ For that

4. You'll like the place (　　) you get used to it.

① far　② though　③ so　④ once

5. You must take your sweater (　　) it snows.

① unless　② so that　③ in case　④ but that

●復習用シート

1	Now that ～ ,	今や～なので
2	Once ～ ,	一度～すると,
3	In case ～ ,	～する場合に備えて
4	As soon as ～ ,	～するとすぐに
5	No sooner A than B.	A するとすぐに B

復習テスト　第 24 講【3】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) all the club members are here, we should start the discussion.
   ① No sooner　② Now that　③ But for　④ Unless

2. (　　　) you set a goal, you should work hard to achieve it.
   ① Before　② In case　③ Once　④ That

3. I remember my good old days (　　　) I see this photo.
   ① every time　② except　③ by the time　④ in particular

4. I suggest you write down your ID and password (　　　) you forget.
   ① than　② until　③ in case　④ unless

5. (　　　) I entered a hotel room than I felt homesick.
   ① Had　② As soon as　③ As　④ No sooner had

NOTE

高1・高2スタンダードレベル英語<文法・読解編>　後編　解答編

本講座では，解答編もただ答えを載せるものではなく，徹底して受講生の復習を意識した構成にしました。

この講座は，これから広がる大きな英語の世界の基礎を固める大切な始まりです。何より重視してほしいのが，英語学習の習慣。授業を聞いて終わりにしない，復習の大切さ・授業に準備をしてのぞむ，予習の大切さ，英語学習の繰り返すことの大切さ，これを念頭に英語学習の良いスタートを切ってください。講義では，全訳はしませんから，この解答の掲載している全訳を参考にしてください。

予習⇒授業⇒復習⇒復習テストのサイクルで，理解⇒定着⇒実践のサイクルで，英語力を徹底して高めていきましょう。

第 13 講　　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. a (**stolen**) bag　　盗まれたバッグ
2. a girl (**walking**) down the street　　通りを歩いている少女
3. a letter (**written**) in Spanish　　スペイン語で書かれている手紙
4. I'm sorry to have kept you (**waiting**).
   待たせ続けてごめんなさい。
5. I must have my car (**repaired**) as soon as possible.
   私は出来る限り早く車を修理してもらわなければならない。

ポイント【2】問題演習の解答

1. **excited**　　私はそんな有名人に会えてとても興奮していた。
2. **disappointing**　　その映画の結末は失望するものだった。
3. **shocked**　　「メアリーに何が起きたの？」
   「彼女はショックを受けているように思える」
4. **pleased**　　彼は来週彼女に会えて喜ぶだろう。
5. **surprising**　　ソビエト連邦の崩壊の知らせは，私達にとって驚きであった。

ポイント【3】問題演習の解答

1. **closed**　　彼は（ **目を閉じたまま** ）まっすぐ歩ける。
2. **folded**　　彼は（ **腕を組んだまま** ）入り口のそばに立っていた。
3. **standing**　　私は（ **あなたがそこに立った状況では** ）歌を歌えない。
4. **broken**　　彼は（ **足を骨折して** ）床に横になっていた。

第 14 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. (**Turning to the left**), you’ll see the museum.
   左に曲がると，博物館が見えます。
2. (**Seen from an airplane**), the island was very beautiful.
   飛行機から見ると，その島はとても美しかった。
3. (**Living here for many years**), I know many sightseeing spots.
   何年もここに住んでいるので，多くの観光スポットを知っている。
4. (**She studied hard**), entering the university.
   彼女は一生懸命勉強して，その大学に入った。

ポイント【2】問題演習の解答

1. (**Not knowing what to say**), I didn’t say anything.
   何を言うべきか分からなかったので，私は何も言わなかった。
2. (**It starting raining yesterday**), the picnic was postponed.
   昨日雨が降り始めたので，ピクニックは延期された。
3. (**Having done his homework**), he took a bath.
   宿題を終えてから，彼は風呂に入った。
4. (**Compared with Tom**), Mike is more reliable.
   トムと比べると，マイクはより信頼できる。

ポイント【3】問題演習の解答

1. **上を見上げると**
2. **左に曲がると**
3. **飛行機から見ると**
4. **何年もここで暮らしているので**
5. **その大学に入った**
6. **ソファでテレビを見ながら**

第 15 講　　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ①　彼は家族が裕福ではないことを恥じている。
2. ①　雪が降り始めたので，私達は駅までバスに乗った。
3. ④　バスがなかったので，家まで歩いて帰らなければならなかった。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ④　ここに私があなたに買うと約束したペンがある。
2. ③　彼女は家を出て，イタリアに行って，愛を見つけることを願った。
3. ④　どうか家に帰る途中，この手紙を出すのを忘れないで。
4. ③　母への手紙を書き終えましたか？
5. ③　彼女は昔の彼氏に会うのを避けようとした。

ポイント【3】問題演習の解答

1. ④　私は本当にいつか再びそこに行くのが楽しみだ。
2. ④　私は海外旅行するのに慣れている。
3. ①　私達は彼らのオファーを受け入れざるを得なかった。
4. ③　あなたは両親への手紙を書くのを延期すべきではない。
5. **without**　言うまでもないが，健康は富に勝る。

第 16 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ④　もし私が彼女の電話番号を知っていたら，昨日彼女に電話できたのに。
2. ②　もしあなたの鼻が今より高かったら，とても美しいのに。
3. ④　もし彼がもうちょっと一生懸命勉強していたら，試験に合格したのに。
4. ①　もし彼が日本にいたら，たぶんそんな風に振る舞うだろう。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ④　百万円あったらなあ。
2. ④　その子供は賢い。まるで大人の様に話をする。
3. ②　そろそろ次の授業の宿題をやる時間だ。
4. ①　彼はその当時裕福だったらなあと願う。
5. ⑥ー③ー⑤ー④ー①ー②

   He talks (**as if he had heard about**) it.

ポイント【3】問題演習の解答

1. ②　万が一何か起きたら，私に知らせてください。
2. ③　仮に太陽が消えたら，この世に何が起きるだろうか。
3. ④　あなたの助けがなかったら，私は成功できなかったろうに。
4. ③―②―①ー④ー⑤

   (**If it were not for**) water, we could not live.
5. ④　妻の助けがなかったら，彼は成功しなかっただろう。

第 17 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ②　あなたの助けがなかったら，私達は山頂にたどり着けなかった。
2. ③　万が一彼が助けを必要としていたら，私に知らせて。
3. ①　太陽が西から昇っても，それを黙っています。
4. ③　私があなたの立場だったら，その会社とは関わらないだろう。
5. ②—④ー③ー①
   (**Were it not for**) the support of the public, the President could not have succeeded.
6. ②　私はとても疲れていた。さもなければ，昨晩パーティーに行っただろうに。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ②　その先生は彼女に自分の歴史の講義に出るようにすすめた。
2. ②　私は私達が家に帰るべきだと提案した。
3. ④　彼は母親が彼の車に鍵を戻すように要求した。

第 18 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ②　これは私が滞在していたホテルだ。
2. ①　フランスは私がずっと行きたかった国だ。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ②　あなたはギターを弾いている女の子を知っていますか？
2. ③　飛行機で会った少女が私に手紙を送ってきた。
3. ①　アメリカは消費している石油の 50%を輸入している。
4. ②　天は自ら助くる者を助く。
5. ①　その部屋にいた誰が私を呼んだの？

ポイント【3】問題演習の解答

1. ④　ここはシェークスピアが生まれた家だ。
2. ②　あなたが私にそんなことを言う理由がない。
3. ①　私達がダンスに行った日は，先週の日曜日だった。
4. ②　列車事故があった。そういう訳で，彼は遅れた。
5. ①　コンピューターは私達の生き方を変えた。

第 19 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ③　私は財布を入れたバッグを見つけられない。
2. ③　東京に着いた日を覚えている。
3. ③　彼女が座っていた椅子はパイプでできていた。
4. ②　彼には誇りに思う利口な娘がいる。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ④　あなたは彼にやってもらいたいことを彼に言うべきだ。
2. ④　彼女は稼いだものを娘に費やしている。
3. ②　現代の東京は，30 年前と違う。
4. ③　これはいわゆる穴居人の絵画だ。
5. ④　その日は風が強かった，さらに悪いことに雨が降っていた。

ポイント【3】問題演習の解答

1. ④　あなたは自分のためになるような友人を選ぶべきだ。
2. ③　彼女は英語を話せないと言ったが，それは真実ではなかった。
3. ③　私は彼が持っているのと同じ本を買いたい。
4. ②　昨年の冬，ロンドンに行ったが，そこは考えていたより寒くなかった。
5. ④　この会社で働いた結果として，将来の妻と会って，彼女もそこで働いていた。

第 20 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ③　彼女は自分に反対する人なら誰にでも怒る。
2. ③　私達は沢山持っている。このキャンディーを食べたい人誰にでもあげていいよ。
3. ④　たとえどれほど難しくても，最善を尽くさなければならない。
4. ④　あなたが好きなものを何でも持ってきてください。
5. ④　彼に話したいと頼むときはいつでも，秘書はいつも彼は会議中だと言う。

ポイント【2】問題演習の解答

1. （ **彼女が探していた家は** ）メインストリートにあった。
2. （ **自転車を盗まれた少年は** ）それがなくなったと両親に報告した。
3. 私は（ **もっと快適な家に移れる日が来るのを** ）願っている。
4. 私は子供が好きだ。（ **そういう理由で，私は先生になった** ）。
5. （ **初め簡単に思えるものは，よくあとになって難しいものと分かる** ）。
6. （ **彼女の昇進は私達の彼女の見方を変えるだろう** ）。
7. 彼は（ **静かなままだったが，それが彼女を怒らせた** ）。

第 21 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ③　その大学は，どんな生徒も望む最高の美しい学習環境にある。
2. ①　霜は近接した丘より頻繁に谷や低地に立つ。
3. ④　新薬は以前の治療薬より安全で副作用が少ない。
4. ①　以前より多くの女性が大学に通っていた。
5. ③　三兄弟の中で，マイクは一番歌がうまかった。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ①　先週ほど寒くはない。
2. ③　彼の家では部長は主人というより召使だ。
3. ①　彼女は両親に出来る限り早く家に戻ると言った。
4. ③　この国の人口は，日本の人口の十倍多い。
5. ③　ここは日本の二倍雨が降る。

ポイント【3】問題演習の解答

1. ②　こっちが二つの内でより美しい方だ。
2. ②　英語を勉強すればするほど，それだけますますそれを面白いと思うようになった。
3. ④　マイクはトムと同様に泳げない。

第 22 講　　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ②　あなたはそんな危険な場所に行くほど愚かであるべきではない。
2. ②　彼は私に 1000 ドルしか払わなかった。
3. ④　彼女はあなたより五歳年下だ。
4. ③　彼女は私よりフランス語が上手だ。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ②　彼は，それは今まで読んだ中で，一番面白い本だと言った。
2. ④　メアリーの五人の兄弟の中で，マイクが一番才能がある。
3. ③　名古屋は日本で三番目に大きな都市だ。
4. ②　私はこの本を読み終えたばかりだ。それは今まで読んだ中で本当に最高の本の一つだった。

ポイント【3】問題演習の解答

1. ④　日本で野球ほど人気のある他のスポーツはない。
2. **the oldest**　その美しい神社は私の国の他のどの建物よりも古い。
3. ①　トムはクラスの他のどの少年より歌がうまい。
4. ①　私は電話で友達とおしゃべりするのが大好きだ。これより面白いものはない。

第 23 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ④　私は彼女を見ることすらしなかった，まして話すことなんてなかった。
2. ①　彼の息子は私の息子より 3 歳若い。
3. ③　その博物館は，私達が考えるよりずっと古い。
4. ④　これは私が読んだ中で，本当に最高の本だ。
5. ②　この漫画はすべての中で，本当に一番面白い。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ①　彼女は見た目ほど若くない。
2. ④　私の学校の全ての生徒は，毎日少なくとも 5 時間勉強すると思われている。
3. ④　ほぼ 5 時だから，多くても 3 分程度しかない。
4. ②　札幌の人口は東京より少ない。

第 24 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ②　彼女があなたを信じていることは信じがたい。
2. ①　彼女が自分の論文を書いたという事実は明らかだ。
3. ②　彼女はとても嘘つきなので，信頼すべきではない。
4. ①　私はとても疲れたので，早く寝た。
5. ③　私は話がもっと明らかになるように絵を描いた。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ③　あなたは前もって彼らにお金を支払わない限り，彼らは何もしないだろう。
2. ④　雨が止むまでずっと私達は屋内で待っていた。
3. ②　私達は年を取るにつれて，必ずしも賢くなるわけではない。
4. ②　私達は子供だった時からずっとお互いを知っている。
5. ④　頭痛がしたので，早く寝た。

ポイント【3】問題演習の解答

1. ③　彼女が着いたらすぐに，彼女に尋ねてみるよ。
2. ①　彼が座るとすぐに，電話が鳴った。
3. ③　今や彼は去ってしまったので，もう彼に会うことはできない。
4. ④　一度そこに慣れると，あなたはその場所を気に入るよ。
5. ③　雪が降る場合に備えて，セーターを持っていかなければならない。

復習テスト（解答）　　第 13 講【1】

1. ③ She gave me (**baked**) cookies.　　彼女は焼いたクッキーを私にくれた。

解説：
空所に入る語と cookies の関係を考える。「クッキーが焼かれる」という受動の関係が成立するので，過去分詞の baked が正解。分詞の単独修飾は前からかかる。

2. ④ Look at that boy (**taking**) photos.　写真を撮っているあの少年を見て。

解説：
空所に入る語と that boy の関係を考える。「少年が写真を撮る」という能動の関係が成立するので，現在分詞の taking が正解。分詞の複数修飾は後ろからかかる。

3. ① He looked through several messages (**sent**) to him yesterday.
彼は，昨日自分宛てに送られた数通のメッセージに目を通した。

解説：
空所に入る語と several messages の関係を考える。
「メッセージが送られる」という受動の関係が成立するので，過去分詞の sent が正解。

4. ③ I saw a stranger (**having**) a conversation with my father.
私は，見知らぬ人が父と会話しているのを見た。

解説：
空所に入る語と a stranger の関係を考える。
「見知らぬ人が会話する」という能動の関係が成立するので，現在分詞の having が正解。
〈see ＋目的語＋現在分詞〉で「～が…しているのを見る」の意味。

5. ② The woman had her heavy suitcase (**carried**) to her hotel room.
女性は重いスーツケースをホテルの自室に運んでもらった。

解説：
空所に入る語と her heavy suitcase の関係を考える。
「スーツケースが運ばれる」という受動の関係が成立するので，過去分詞の carried が正解。
〈have ＋目的語＋ p.p.〉で「～を…してもらう」の意味。

復習テスト（解答）　　第 13 講【2】

1. ③ The result was very (**shocking**) to every one of them.
結果は彼ら一人一人にとって非常にショッキングなものだった。

解説：
主語である The result は感情を引き起こす原因。
よって，感情動詞 shock「～にショックを与える」の現在分詞である shocking が正解。

2. ② The new employee spoke 7 languages fluently. Everyone there was (**amazed**).
その新入社員は 7 か国語を流ちょうに話した。そこにいる全員が驚いた。

解説：
第 2 文の主語である Everyone は感情を抱く主体。
よって，感情動詞 amaze「～を驚かせる」の過去分詞である amazed が正解。

3. ③ I went to a jazz concert yesterday. It was (**pleasing**) to me.
私は昨日, ジャズコンサートに行った。それは私にとって満足のいくものだった。

解説：
空所を含む文の主語である It（= a jazz concert）は感情を引き起こす原因。
よって，感情動詞 please「～を喜ばせる」の現在分詞である pleasing が正解。

4. ① The first part of the online video was quite (**exciting**).
そのオンライン動画の最初の部分はかなりエキサイティングだった。

解説：
主語である The first part of the online video「そのオンライン動画の最初の部分」は
感情を引き起こす原因。
よって，感情動詞 excite「～を興奮させる」の現在分詞である exciting が正解。

5. ④ His favorite soccer team lost a game. He was (**disappointed**).
彼のお気に入りのサッカーチームは試合に負けた。彼はがっかりした。

解説：
第 2 文の主語である代名詞 He は感情を抱く主体なので，
感情動詞 disappoint「～を失望させる」の過去分詞である disappointed が正解。

復習テスト（解答）　第 13 講【3】

1. ② I laughed at his jokes with my mouth (**covered**) with my hands.
私は手で口元を覆いながら彼のジョークに笑った。

解説：
with O C で「O を C した状態で」という付帯状況を表す。空所には分詞が入ると考えられ，my mouth（O）と空所に入る分詞（C）との間で「私の口が覆われる」という受動関係が成立する。よって，cover「～を覆う」の過去分詞である covered が正解。

2. ③ My brother was on the floor with his legs (**crossed**).
兄はあぐらをかいて（脚を組みながら）床に座っていた。

解説：
空所には分詞が入ると考えられ, his legs（O）と空所に入る分詞（C）との間で「彼の脚が組まれる」という受動関係が成立する。よって，cross「～を組む」の過去分詞である crossed が正解。

3. ① He wanted to see that romance movie with her (**sitting**) next to him.
彼は, 彼女の隣で（自分の隣に彼女が座った状態で）あの恋愛映画を見たかった。

解説：
空所には分詞が入ると考えられ，her（O）と空所に入る分詞（C）との間で「彼女が座っている」という能動関係が成立する。よって，sit「座っている」の現在分詞である sitting が正解。

4. ④ Some people were enjoying the live performance with their bodies (**shaking**).
体を揺らしながら生演奏を楽しんでいる人もいた。

解説：
空所には分詞が入ると考えられ，their bodies（O）と空所に入る分詞（C）との間で「体が揺れる」という能動関係が成立する。よって，shake「揺れる」の現在分詞である shaking が正解。

5. ② I can’t concentrate with someone (**watching**) me from behind.
私は，誰かが後ろから自分を見ている状態では集中できない。

解説：
空所には分詞が入ると考えられ，someone（O）と空所に入る分詞（C）との間で「誰かが見る」という能動関係が成立する。よって，watch「～を見る」の現在分詞である watching が正解。

復習テスト（解答）　第 14 講【1】

1. ② When she arrived at the station, she looked for her friend.
 ⇒ (**Arriving**) at the station, she looked for her friend.
 駅に到着すると，彼女は友人を探した。

解説：
上の文を分詞構文にするには，接続詞 When を省略し，続く主語 she が主節と共通なので省略する。
そして，動詞 Arrived を現在分詞 Arriving にすればよい。

2. ③ If computers are used in the right way, they will be helpful to you.
 ⇒ (**Used**) in the right way, computers will be helpful to you.
 正しく使えば，コンピュータは君の役に立つだろう。

解説：
上の文を分詞構文にするには，接続詞 If を省略し，続く主語 computers が主節と共通なので省略する。
そして，動詞 are を現在分詞 being にすればよい。この being は省略可能なので，Used が正解。

3. ④ As he has a quick brain, he will solve this math question.
 ⇒ (**Having**) a quick brain, he will solve this math question.
 彼は頭の回転が速いので，この数学の問題を解くだろう。

解説：
上の文を分詞構文にするには，接続詞 As を省略し，続く主語 he が主節と共通なので省略する。
そして，動詞 Has を現在分詞 Having にすればよい。

4. ② When the sound was heard from a distance, it was a bit strange.
 ⇒ (**Heard**) from a distance, the sound was a bit strange.
 遠くから聞くと，その音は少し奇妙だった。

解説：
上の文を分詞構文にするには，接続詞 When を省略し，
続く主語 the sound も主節と共通なので省略する。そして，be 動詞を現在分詞 being にすればよい。
この being は省略可能なので，Heard が正解。

5. ③ Our hockey team practiced hard every day, and won the tournament.
 ⇒ Our hockey team practiced hard every day, (**winning**) the tournament.
 私たちのホッケーチームは毎日猛練習し，トーナメントで優勝した。

解説：
上の文を分詞構文にするには，接続詞 and を省略し，動詞 won を現在分詞 winning にすればよい。

復習テスト（解答）　　第 14 講【2】

1. ② Since he did not understand the theory, he asked his teacher to explain it.
⇒ (**Not understanding**) the theory, he asked his teacher to explain it.
その理論が理解できなかったので，彼は先生にそれを説明するようお願いした。

解説：
上の文を分詞構文にするには，接続詞 Since を省略し，
続く主語 he が主節と共通なので he も省略する。
そして，動詞 understand を現在分詞にした上で，Not を understanding の前に残せばよい。

2. ④ As it was rainy, we decided not to go outside for the moment.
⇒ (**It being**) rainy, we decided not to go outside for the moment.
雨が降っていたので，私たちはとりあえず外出しないことにした。

解説：
上の文を分詞構文にするには，まず接続詞 As を省略する。
次に，主語が主節と従属節とで異なるので，従属節の主語 it は残す。
そして，動詞 was を現在分詞 being にすればよいので，It being が正解。

3. ④ After I had finished slow jogging, I hit the shower.
⇒ (**Having finished**) slow jogging, I hit the shower.
スロージョギングをし終えてから，私はシャワーを浴びた。

解説：
上の文を分詞構文にするには，接続詞 After を省略し，主語 I が主節と共通なので I も省略する。
そして，過去完了形の Had p.p. を Having p.p. にすればよい。

4. ③ If this box is compared with that one, it is heavier.
⇒ (**Compared**) with that box, this one is heavier.
あの箱と比較すると，この箱の方が重たい。

解説：
上の文を分詞構文にするには，接続詞 If を省略し，
続く主語 this box が主節と共通なので this box も省略する。
そして，動詞 is を現在分詞 being にすればよい。
この being は省略可能なので，Compared が正解。Compared with ～ ,「～と比べると」。

5. ① When all things are considered, today was a good day.

⇒ All things (**considered**), today was a good day.

いろいろ考慮すると，今日はいい一日だった。

解説：

上の文を分詞構文にするには，まず接続詞 When を省略する。

次に，主語が主節と従属節とで異なるので，従属節の主語 all things は残す。

そして，動詞 are を現在分詞 being にすればよい。

この being は省略可能なので，considered が正解。All things considered,「全てを考慮すると」。

復習テスト（解答）　第 14 講【3】

1. ② Shopping at a supermarket, we met one of our neighbors.
   スーパーで**買い物していると**，私たちは隣人の一人に会った。

   解説：
   現在分詞で「～すると」という時を表す分詞構文。

2. ② She took a long bath, talking to one of her friends on the smartphone.
   彼女はスマートフォンで友人の一人と**しゃべりながら**長風呂をした。

   解説：
   現在分詞で「～しながら」という付帯状況を表す分詞構文。

3. ③ Looked at through the telescope, the planet was red.
   望遠鏡で**見ると**，その惑星は赤かった。

   解説：
   過去分詞で「～すると」という時を表す分詞構文。telescope「望遠鏡」。

4. ① My uncle studied day and night, passing the bar exam.
   おじは日夜勉強に励み，司法試験**に合格した**。

   解説：
   現在分詞で「そして～する」という結果を表す分詞構文。bar exam「司法試験」。

5. ④ Moving here just recently, I’m not familiar with this neighborhood.
   つい最近ここへ**引っ越してきた**ばかりな**ので**，この近辺には詳しくない。

   解説：
   現在分詞で「～なので」という理由を表す分詞構文。be familiar with ～「～に詳しい」。

復習テスト（解答）　第 15 講【1】

1. ③ I'm proud of (**my aunt being**) a professional athlete.
私は，おばがプロのアスリートであることを誇りに思っている。

解説：
前置詞 of の後ろなので，空所には動名詞が入る。
動名詞の意味上の主語である my aunt の直後に動名詞 being を続けた my aunt being が正解。

2. ② (**Not being**) able to play musical instruments, he joined the band as a dancer.
楽器が弾けなかったので，彼はダンサーとしてバンドに加入した。

解説：
Not being を入れて not を含む分詞構文にすると文意が通る。not の位置に注意。

3. ④ My older sister has a fever now. She appears (**to have caught**) a cold.
姉は今，熱がある。彼女は風邪をひいたようだ。

解説：
appear to do で「～するように思える」の意味。
「彼女（＝姉）が風邪に罹患した」のが本動詞 appears よりも以前のことであることを表す，
完了不定詞 to have p.p. の to have caught が正解。

4. ④ (**Painted**) white, the wall looks brighter than before.
白く塗られたので，その壁は以前より明るく見える。

解説：
Painted を入れて受動態の分詞構文にすると文意が通る。Being painted の Being が省略されている。

5. ① It is careless (**of him to**) break his favorite coffee mug.
自分のお気に入りのコーヒーマグカップを割ってしまうなんて，彼は不注意だ。

解説：
人の性格を示す形容詞 careless「不注意な」があることに着目。
of him to を入れて，〈It is ＋形容詞＋ of S to do ～ .〉「S が～するとは…だ」の形にする。

復習テスト（解答）　　第 15 講【2】

1. ④ He hopes (**to have**) finished doing his homework by next Sunday.
   彼は，今度の日曜日までに宿題を終えたいと望んでいる。

解説：
hope は不定詞を目的語に取り，
hope to do で「〜したいと望んでいる，〜することを期待する」の意味。

2. ① She went to a neighboring town by bicycle, avoiding (**using**) a train.
   彼女は電車を使うのを避けて，自転車で隣町に行った。

解説：
avoid は動名詞を目的語に取り，avoid 〜ing で「〜することを避ける」の意味。

3. ② I'll never forget (**going**) camping in the mountains with them last summer.
   私はこの前の夏に彼らと山へキャンプに出掛けたことを決して忘れないだろう。

解説：
過去の経験について述べた文なので，
文意に合うのは forget 〜ing で「〜したことを忘れる」の意味になる。
to go は，「（これから）キャンプに出掛けることを忘れない」の意味になるので不正解。

4. ③ My grandfather promised (**to let me**) play his ukulele on the next visit.
   祖父は，今度の訪問のときに私にウクレレを弾かせてくれると約束した。

解説：
promise は不定詞を目的語に取り，promise to do で「〜することを約束する」の意味。

5. ④ This plan won't work. Maybe we should consider (**changing**) it.
   この計画はうまくいかないよ。僕たちはそれを変更するのを検討すべきだと思う。

解説：
consider は動名詞を目的語に取り，consider 〜ing で「〜することを検討する」の意味。

復習テスト（解答）　　第 15 講【3】

1. ② The student is used (**to studying**) for five hours every day.
その生徒は毎日 5 時間勉強することに慣れている。

解説：
to studying を入れて，be used to ～ing「～するのに慣れている」を用いた文にする。

2. ④ The couple put (**off going**) camping because of bad weather.
その夫婦は悪天候のため，キャンプに行くのを延期した。

解説：
文意に合うのは，put off ～ing で「～することを延期する」という意味になる off going。

3. ① (**To be honest**), their music is not exactly to my taste.
率直に言うと，彼らの音楽は僕の好みじゃないんだよ。

解説：
文意に合うのは，To be honest「率直に言うと」。taste「（個人の）好み」。

4. ② It goes (**without saying**) that practice makes perfect.
練習を続ければ完璧になるということは言うまでもない。

解説：
it goes without saying that ～で「～は言うまでもない」という意味になる without saying が正解。
Practice makes perfect. は「練習を続ければ完璧になる，習うより慣れよ」という意味のことわざ。

5. ③ He asked me to marry him, but I had no choice (**but to say**) no.
彼に結婚するようお願いされたが，私は「ノー」と言わざるをえなかった。

解説：
but to say を入れて，have no choice but to do「～せざるをえない」にすると文意が通る。

復習テスト（解答）　第 16 講【1】

1. ③ If I (**were**) in her position, I would turn down his marriage offer.
私が彼女の立場なら，彼の求婚を断るのに。

解説：
主節が〈助動詞の過去＋ V 原形〉なので，仮定法過去の文。
仮定法過去の if 節では過去形を用いるので，were が正解。turn down ～「～を断る」。

2. ② If they (**had not practiced**) enough, they could have lost that baseball game.
十分に練習していなかったら，彼らはあの野球の試合に負けていたかもしれない。

解説：
主節が〈助動詞の過去＋ have p.p.〉なので，仮定法過去完了の文。
仮定法過去完了の if 節では過去完了形（had p.p.）を用いる。文意から, had not practiced が正解。

3. ④ If it (**is**) too windy tomorrow, I will put off climbing the mountain.
明日風が強すぎたら，私は登山を延期するだろう。

解説：
tomorrow「明日」に着目。if 節内では未来のことでも現在形で表すので，is が正解。直説法の文。

4. ① If you had set an alarm, you (**could have woken**) up at 6 a.m.
アラームをセットしていたら，君は午前 6 時に目を覚ますことができたのに。

解説：
if 節で過去完了形（had p.p.）が用いられているので，仮定法過去完了の文と考えられる。
仮定法過去完了の主節は〈助動詞の過去＋ have p.p.〉の形なので，could have woken が正解。

5. ③ If he felt sick, he (**would not join**) this birthday party.
具合が悪かったら，彼はこの誕生日パーティーに参加しないだろう。

解説：
if 節で過去形が用いられているので，仮定法過去の文と考えられる。
仮定法過去の主節は〈助動詞の過去＋ V 原形〉の形なので，would not join が正解。

復習テスト（解答）　第 16 講【2】

1. ④ My father said, “I wish I (**had studied**) abroad when I was younger.”
父は，「若いころに留学していればよかった」と言った。

解説：
I wish (that) SV. は「S が V だったらなあ」という意味で，
V の時制を本来の時制から一つ古い方にずらす。
ここでは過去のことについて述べているので，had studied を入れて仮定法過去完了の文にする。

2. ③ The man smiled warmly (**as if**) nothing had happened.
男性は何事もなかったかのように温かくほほ笑んだ。

解説：
空所の後ろで過去完了形が用いられていることに着目。
as if を入れて，as if SV.「まるで S が V するかのように」にすると文意が通る。

3. ④ Oh, I think it’s high time I (**prepared**) a meal for my family.
あっ，もうとっくに家族のために食事を準備する時間だ。

解説：
It is (about, high) time SV. は「(そろそろ，まさに) S が V する時間だ」の意味で，
V の時制を過去形にする。

4. ① The university student wishes she (**found**) a roommate.
その大学生はルームメイトが見つかればなあと思っている。

解説：
I wish (that) SV. は「S が V だったらなあ」という意味で，
V の時制を本来の時制から一つ古い方にずらす。よって，過去形の found が正解。仮定法過去の文。

5. ② I really hope (**he will pass**) that entrance exam.
彼があの入学試験に合格することを心から願っている。

解説：
hope (that) SV は「S が V することを願う」という意味で，
事実を述べる直説法で用いられる表現。よって，未来形を用いている he will pass が正解。

復習テスト（解答）　　第 16 講【3】

1. ② If (**it were not**) for ads, I could enjoy this online game more.
広告がなければ，私はこのオンラインゲームをもっと楽しめるのに。

解説：
it were not を入れて，if it were not for ～「もし～がなかったら」という仮定法過去の文にする。
ad「広告」。

2. ④ If the world (**were to be**) filled with zombies, I would stand by you.
仮に世界がゾンビであふれかえっても，僕は君のそばにいるよ。

解説：
were to be を入れて，〈If S were to do, S ＋助動詞の過去＋ V 原形 ～.〉
「仮に S が～するなら，S は～だろう」にすると文意が通る。
実現可能性がかなり低い仮定法未来の表現。be filled with ～「～であふれる」。

3. ④ I might have given up halfway (**without**) your encouraging words.
あなたの励ましの言葉がなかったら，私は途中で諦めていたかもしれない。

解説：
without を入れて，「もし～がなかったら」という仮定法過去完了の文にする。
halfway「途中で」，encouraging「励みになる」。

4. ③ I don’t expect calls today. If someone (**should call**) me, tell them I’m away.
今日は電話はこないと思う。万が一誰かが電話してきても留守だと伝えて。

解説：
カンマの後ろが命令文なので，should call を入れて，
〈If S should V, ～（命令文）〉「万が一 S が V するなら，～」の形にする。

5. ① (**If it had not been**) for that safety rope, he would have fallen to his death.
あの命綱がなかったら，彼は転落死していただろう。

解説：
主節が〈助動詞の過去＋ have p.p.〉なので，仮定法過去完了の文。
よって，仮定法過去完了の表現である if it had not been for ～,「もし～がなかったら」にする。
fall to one’s death「転落死する」。

復習テスト（解答）　　第 17 講【1】

1. ④ (**Should**) she call me, tell her I'm working from home this week.
万が一彼女が私に電話をくれたら，今週は在宅勤務していると伝えてください。

解説：
空所の後ろの動詞 call に三単現の s がないことに着目。
Should を入れて，〈If S should V, ～（命令文）〉「万が一 S が V するなら，～」の If が省略され，S と should が逆になった形にする。

2. ③ (**Had it not**) been for his explanation, I couldn't have understood the rules of English grammar.
彼の説明がなかったら，私は英文法の法則が理解できなかっただろう。

解説：
主節に助動詞の過去形があるので，仮定法だと予想する。
空所の直後に過去分詞 been があることに着目。Had it not を入れて，仮定法過去完了の表現である if it had not been for ～「もし～がなかったら」の if が省略され, it と had が逆になった形にする。

3. ② A British person (**would not**) pronounce this word like that.
イギリス人なら，この単語をそのように発音しないだろう。

解説：
would not を入れると, 主語 A British person が A 名詞「名詞なら」という if 節の代用表現となる。

4. ④ He is honest. (**Were he**) to tell a lie, I would be very surprised.
彼は正直だ。仮に彼がうそをつくようなことがあれば，私はとても驚くだろう。

解説：
第 2 文の主節に助動詞の過去形があるので，仮定法だと予想する。
空所の直後に不定詞が続くことに着目。Were he を入れて，
〈If S were to do, S ＋助動詞の過去＋ V 原形 ～.〉「仮に S が～するなら，S は～だろう」
の If が省略され S と were が逆になった形にする。

5. ① (**To**) see her dance, you would think of her as a professional dancer.
彼女が踊るのを見れば，君は彼女がプロのダンサーだと思うだろう。

解説：
主節に助動詞の過去形があるので，仮定法だと予想する。To を入れて不定詞にすれば，
「彼女が踊るのを見れば」という if 節の代用表現となり文意が通る。think of A as B「A を B と思う」。

復習テスト（解答）　第 17 講【2】

1. ① My cousin insisted that I (**take**) him to the winter festival tomorrow.
いとこは私に，明日の冬祭りに自分を連れて行くように要求した。

解説：
insist (that) ～は「～するように要求する」という意味の表現。
提案・命令・要求を表す動詞に続く that 節内では V 原形または〈should V 原形〉を用いる。

2. ③ She suggested (**I should sleep**) before 11 p.m.
彼女は私に，午後 11 時よりも前に寝るように提案した。

解説：
suggest (that) ～は「～するように提案する」という意味の表現。
提案・命令・要求を表す動詞に続く that 節内では V 原形または〈should V 原形〉を用いる。

3. ② The boss ordered (**they get**) the job done by next Wednesday.
上司は彼らに，今度の水曜日までにその仕事を終えるように命じた。

解説：
order (that) ～は「～するように命令する」という意味の表現。
提案・命令・要求を表す動詞に続く that 節内では V 原形または〈should V 原形〉を用いる。

4. ② The police demanded the criminal (**drop**) his gun.
警察は犯人に銃を捨てるよう要求した。

解説：
demand (that) ～は「～するように要求する」という意味の表現。
提案・命令・要求を表す動詞に続く that 節内では V 原形または〈should V 原形〉を用いる。
criminal「犯人」。

5. ④ He proposed (**to me we should ask**) someone for advice.
彼は私に，私たちが誰かのアドバイスを求めることを提案した。

解説：
propose to A (that) ～は「～するように A に提案する」という意味の表現。
提案・命令・要求を表す動詞に続く that 節内では V 原形または〈should V 原形〉を用いる。

復習テスト（解答）　第 17 講【3】

1. ③ (**Had I not caught**) cold yesterday, I would be enjoying the sleepover now.
昨日風邪をひいていなければ，私は今頃お泊まり会を楽しんでいるだろうに。

解説：
カンマまでに過去を表す yesterday「昨日」があるので，
if が省略され had と I が逆になった過去完了形の Had I not caught が正解。
条件節では仮定法過去完了を，帰結節では仮定法過去を用いた文。sleepover「お泊まり会」。

2. ② She wishes she (**could drink**) a glass of water now.
彼女は今 1 杯の水が飲めればいいのにと思っている。

解説：
wish (that) SV「S が V だったらなあ」で現在の事実に反することを述べる際には，
that 節内で仮定法過去を用いる。よって，過去形の could drink が正解。

3. ② It is about time we (**gave**) our pet bird some food.
そろそろペットの鳥にご飯をあげる時間だ。

解説：
It is (about, high) time SV. は「(そろそろ，まさに) S が V する時間だ」の意味で，
V の時制を過去形にする。

4. ③ I would freeze to death (**but for**) this thick coat!
この厚手のコートがなかったら，私は凍死するだろう！

解説：
主節で〈助動詞の過去＋ V 原形〉が用いられているので，仮定法過去の文。
仮定法過去でも仮定法過去完了でも用いることができる but for「もし～がなかったら」が正解。

5. ④ If I (**were to be**) born again, I would travel around the world.
もし生まれ変わったら，私は世界中を旅するだろう。

解説：
were to be を入れて，〈If S were to do, S ＋助動詞の過去＋ V 原形 ～.〉
「仮に S が～するなら，S は～だろう」にすると文意が通る。
実現可能性がかなり低い仮定法未来の表現。

復習テスト（解答）　第 18 講【1】

1. ③ I know a person (**who**) keeps a snake as a pet.
   私は，ペットとしてヘビを飼っている人を知っている。

   解説：
   空所の後ろに続いているのは，主語（名詞）が欠けた不完全文。
   よって，接続詞と代名詞の役割を一つで兼ねられる関係代名詞の who が正解。

2. ② We are going to a park (**where**) we can play tennis.
   私たちはテニスをすることのできる公園に行く予定だ。

   解説：
   空所の後ろに続いているのは，名詞の欠けがない完全文。
   よって，接続詞と副詞の役割を一つで兼ねられる関係副詞の where が正解。

3. ④ He lives in a city (**which has**) many tourist attractions.
   彼は，観光名所がたくさんある市に暮らしている。

   解説：
   空所に他動詞 have を含めると主語の要素がない不完全文が成立するので，
   関係代名詞 which を含む which has が正解。

4. ① I still remember the day (**when**) I got on an airplane for the first time.
   初めて飛行機に乗った日のことはいまだに覚えている。

   解説：
   空所の後ろに続いているのは，名詞の欠けがない完全文。
   よって，接続詞と副詞の役割を一つで兼ねられる関係副詞の when が正解。

5. ② She went shopping at a store (**which**) he often visits on weekends.
   彼女は，彼が週末によく訪れる店へ買い物に出掛けた。

   解説：
   空所の後ろに続いているのは，他動詞 visit「～を訪れる」の目的語（名詞）が欠けている不完全文。
   よって，関係代名詞の which が正解。

復習テスト（解答）　第 18 講【2】

1. ② He finished reading a magazine (**which**) he bought yesterday.
   彼は，昨日買った雑誌を読み終えた。

解説：
空所の後ろには動詞 bought の目的語が欠けた不完全文が続いており，先行詞は a magazine。
よって，人以外の語句を先行詞とする目的格の関係代名詞である which が正解。

2. ③ She’s wearing a coat (**whose**) color is dark gray.
   彼女は，色がダークグレーのコートを着ている。

解説：
先行詞 a coat と直後にある color が所有の関係にあり，かつ color に冠詞が付いていない。
よって，所有格の関係代名詞である whose が正解。

3. ④ Those travelers saw a statue (**that**) stood in front of the station.
   その旅行者たちは，駅前に建っている彫像を見た。

解説：
空所の後ろには主語が欠けた不完全文が続いており，先行詞は a statue。
よって，主格の関係代名詞である that が正解。

4. ① He is the kindest person (**that**) I know.
   彼は私が知っている中で一番優しい人物だ。

解説：
先行詞が最上級形容詞 the kindest を含み，空所の後ろには目的語が欠けた不完全文が続いている。
よって，目的格の関係代名詞である that が正解。

5. ④ (**Who that**) loves animals dislikes cats?
   動物好きな者で誰がネコを嫌うだろうか。

解説：
文の本動詞は dislike「～を嫌う」。空所から animals までに主語が欠けているので，
疑問詞 Who の直後に主格の関係代名詞 that を置くのが正解。

復習テスト（解答）　第 18 講【3】

1. ③ Wednesday is the day (**when**) my mother comes home early from work.
   水曜日は，母が仕事から早めに帰ってくる日だ。

解説：
空所の後ろが完全文なので，空所には関係副詞が入る。
先行詞が時を表す the day なので，when が正解。

2. ① I visited the local farm (**where**) my uncle worked.
   私は，おじが働いている地元の農場を訪れた。

解説：
空所の後ろが完全文なので，空所には関係副詞が入る。
先行詞が場所を表す the local farm なので，where が正解。

3. ② Tell us the reason (**why**) you missed a bus.
   あなたがバスに乗り遅れた理由を私たちに教えて。

解説：
空所の後ろが完全文なので，空所には関係副詞が入る。先行詞が the reason なので，why が正解。

4. ② My brother has two part-time jobs. This is (**how**) he earns enough money.
   兄はアルバイトを 2 つしている。このようにして，彼は十分なお金を稼ぐ。

解説：
第 1 文の内容から，This is how SV で
「これが S が V する方法です」「この様にして S が V する」の意味になる関係副詞の how が正解。

5. ④ I had been feeling sick. That is (**why**) I went to a doctor yesterday.
   私は気分が悪かった。そういうわけで，私は昨日医者に行った。

解説：
第 1 文の内容から，That is why ～で
「それは～な理由です」「そういう理由で～」の意味になる関係副詞の why が正解。

復習テスト（解答）　第 19 講【1】

1. ② There are times (**at which**) people need to be brave.
人には勇敢になる必要があるときがある。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。
先行詞を後ろの文に入れると people need to be brave at times となる。
この times を関係代名詞 which に置き換え，at which を接続詞の位置に置けばよい。

2. ④ I sometimes remember my foolish acts (**of which**) I'm ashamed.
私は，恥じている自分の愚行を思い出すことがある。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。
先行詞を後ろの文に入れると I'm ashamed of my foolish acts となる。
この my foolish acts を関係代名詞 which に置き換え，of which を接続詞の位置に置けばよい。

3. ① She has some old friends (**with whom**) she hasn't kept in touch.
彼女には，連絡を取り合っていない旧友が数人いる。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。
先行詞を後ろの文に入れると she hasn't kept in touch with some old friends となる。
この some old friends を関係代名詞 whom に置き換え, with whom を接続詞の位置に置けばよい。

4. ③ At that time, he had a pen friend (**to whom**) he wrote e-mails.
当時，彼には E メールを書いて送る文通相手が 1 人いた。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。
先行詞を後ろの文に入れると he wrote e-mails to a pen friend となる。
この a pen friend を関係代名詞 whom に置き換え，to whom を接続詞の位置に置けばよい。

5. ③ I had a strange dream (**in which**) I was jumping with rabbits on the moon.
私は，月でウサギと飛び跳ねている奇妙な夢を見た。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。先行詞を後ろの文に入れると
I was jumping with rabbits on the moon in a strange dream となる。
この a strange dream を関係代名詞 which に置き換えて in which を接続詞の位置に置けばよい。

復習テスト（解答）　第 19 講【2】

1. ③ Express (**what**) you’re thinking and feeling in your own words.
自分が考えたり感じたりしていることを自分自身の言葉で表現しなさい。

解説：
空所の後ろに続いている文が不完全であり，動詞 Express の目的語がない。
よって，先行詞を含み「〜こと・もの」という名詞節を作る関係代名詞の what が正解。

2. ① The result was announced. It was quite different from (**what**) we expected.
結果が発表された。それは，私たちが予想していたものとはかなり違った。

解説：
空所の後ろに続いている文が不完全であり，前置詞 from の目的語がない。
よって，先行詞を含み「〜こと・もの」という名詞節を作る関係代名詞の what が正解。

3. ② My little brother is not lazy anymore. He is not (**what**) he used to be.
弟はもはや怠惰ではない。彼は昔の彼ではないのだ。

解説：
空所の後ろに続いている文が不完全であり，空所以降が SVC の C に相当する文になっていると考えられる。正解は，what S used to be で「昔の S」という意味になる，関係代名詞の what。

4. ③ This chair is (**what is**) called a gaming chair.
この椅子は，いわゆるゲーミングチェアというやつだ。

解説：
空所の後ろに続いている文が不完全であり，空所の直後に過去分詞 called があることに着目。
what is を入れて what is called「いわゆる」にすると SVC の文が成立し，文意が通る。

5. ④ We won the dance contest. (**What**) is more important, everybody enjoyed it.
私たちはダンスコンテストで優勝した。さらに重要なことに，皆それを楽しんだ。

解説：
空所の後ろに続いている文が不完全であり，直後に形容詞の比較級があることに着目。
〈what is 比較級〉で「さらに〜なことに」という意味になる What が正解。

復習テスト（解答）　第 19 講【3】

1. ② My parents moved to Chiba in 2006, (**when**) I was born.
両親は 2006 年に千葉に移住し，そしてその時私が生まれた。

解説：
空所の後ろが完全文なので，関係副詞が入る。
時を表す 2006 を先行詞とする関係副詞の when が正解。非制限用法で「そしてその時」の意味。

2. ③ She has the same shoes (**as**) he is wearing.
彼女は，彼が着用しているのと同じ靴を持っている。

解説：
the same A as B で「B と同じ A」という意味になる as が正解。
ここでの as は目的格の関係代名詞と同様の働きをし，the same と呼応して使われている。

3. ④ I have a cousin, (**who**) graduated from university.
私はいとこがいるが，その人は大学を卒業した。

解説：
空所の後ろに続いているのは，主語の欠けている不完全文。
よって，人を表す the man を先行詞とする主格の関係代名詞である who が正解。
非制限用法で，「そしてその人は」の意味。

4. ② Such a high-tech machine (**as**) we just saw is not rare these days.
私たちがさっき見かけたようなハイテク機械は，最近では珍しくない。

解説：
such A as B で「B のような A」という意味になる as が正解。
ここでの as は目的格の関係代名詞と同様の働きをし，such と呼応して使われている。

5. ① Things went worse, (**which**) few people could imagine.
状況は悪化したが，それを想像することができた人はほとんどいなかった。

解説：
空所の後ろに続いているのは，目的語の欠けている不完全文。
よって，カンマまでの内容を先行詞とすることのできる，目的格の関係代名詞である which が正解。
非制限用法で，「そしてそれを」の意味。

復習テスト（解答）　　第 20 講【1】

1. ④ (**Whenever**) you’re in trouble, just give me a call or message.
困った時はいつでも，私に電話かメッセージをちょうだいね。

解説：
文に動詞が二つあるので，接続詞または関係詞が必要。
よって，任意を表す複合関係詞である Whenever「～する時はどんな時でも」が正解。

2. ② Such a little mistake happens (**however**) careful we are.
私たちがどんなに気を付けていても，そういうささいなミスは起こるものだ。

解説：
空所の直後に形容詞 careful があるので，〈however ＋形容詞［副詞］〉で
「たとえ S がどれほど～でも」という譲歩を表す however が正解。

3. ③ Now I’ll bring you coffee or tea—choose (**whichever**) you like.
今からあなたにコーヒーか紅茶を持ってこよう。どちらでも好きな方を選んで。

解説：
コーヒーか紅茶の 2 択で尋ねる内容の文なので，
任意を表す複合関係詞の whichever「～するものどれでも」を入れて，
「あなたが好きな方をどちらでも」とすると文意が通る。

4. ① You can’t get away from yourself (**wherever**) you may go.
どこへ行っても，自分からは逃れられないよ。

解説：
文に動詞が二つあるので，接続詞または関係詞が必要。
よって，譲歩を表す複合関係詞である wherever「たとえどこで～しても」が正解。

5. ② (**Whatever**) happens to you, you shouldn’t give up your dream.
自分に何が起こっても，君は夢を諦めるべきではない。

解説：
カンマまでに主語が欠けているので，
譲歩を表す複合関係詞である Whatever「たとえ何が～しても」が正解。

復習テスト（解答）　第 20 講【2】

1. ② Those flowers which my mother takes care of are called lilies.
母が世話をしているそれらの花はユリと呼ばれる。

解説：
which は形容詞節を導く関係代名詞。takes が V_1，are called が V_2 と考えられるので，（　）で範囲指定すると Those flowers (which my mother takes care of) are called lilies. となる。
（　）内は先行詞 Those flowers を修飾している。

2. ④ What the boy said to us was surprising.
少年が私たちに語ったことは驚くべきものだった。

解説：
what は名詞節を導く関係代名詞。said が V_1，was が V_2 と考えられるので，
〈　〉で範囲指定すると〈 What the boy said to us 〉was surprising. となる。
what に導かれた名詞節を主語に置いた SVC の文。

3. ③ I wanted to take a nap. That is why I lay on the bed.
私は昼寝がしたかった。**そういうわけで**，私はベッドで横になった。

解説：
That is why は That is the reason why の略で，「そういうわけで」の意味。
ここでの why は関係副詞。

4. ① She took part in a theater workshop, where she met him.
彼女は演劇のワークショップに参加**し，そこで彼に出会った。**

解説：
〈, 関係詞〉を訳す際には文をいったん区切る。
先行詞 a theater workshop についてカンマ以降で説明を付け加えている文。

5. ③ The man claimed he saw a yeti, which proved to be false later.
男性はイエティを見たと主張**したが，それは後で誤りだと判明した。**

解説：
〈, 関係詞〉を訳す際には文をいったん区切る。発言内容を示す (that) he saw a yeti が先行詞であり，それについてカンマ以降で説明を付け加えている文。

復習テスト（解答）　　第 20 講【3】

1. ② The cottage (**where**) we stayed was very clean.
私たちが滞在した山小屋はとてもきれいだった。

解説：
空所の後ろにある we stayed は名詞の欠けがない完全文。よって，関係副詞の where が正解。
cottage「山小屋」。

2. ④ He has a partner (**whose**) job is a college teacher.
彼には仕事が大学教員のパートナーがいる。

解説：
先行詞 a partner と空所の直後にある名詞 job が所有の関係にあり，job に冠詞が付いていない。
よって，所有格の関係代名詞である whose が正解。

3. ③ I ate (**what**) my host mother served me, and it tasted good.
私はホストマザーが出してくれたものを食べたが，それは美味しかった。

解説：
serve A B で「A に B を出す」という意味で，
空所の後ろに続く文は serve の二つ目の目的語に相当する語句が欠けた不完全文。
よって正解は，先行詞を含み名詞節を作ることのできる what となる。

4. ① That is (**the way**) in which I acquired a foreign language.
それが，私が外国語を習得した方法だ。

解説：
空所の直後にある in which に着目。
the way in which SV で「S が V する方法」という意味になる the way が正解。

5. ② My grandfather is (**what we**) call a jazz buff.
祖父はいわゆるジャズマニアだ。

解説：
空所の直後にある call に着目。what we を入れて，what we call「いわゆる」にすると文意が通る。

復習テスト（解答）　第 21 講【1】

1. ③ This container is more eco-friendly (**than**) that one.
この容器はあの容器よりも環境に優しい。

解説：
空所の前に形容詞の比較級 more eco-friendly があるので，than を入れて，
S is -er than A.「S は A より〜だ」という比較級の文にする。
container「容器」，eco-friendly「環境に優しい」。

2. ④ My partner dumped me. That was (**the most painful**) experience in my life.
パートナーに振られた。あれは，私の人生の中でもっともつらい体験だった。

解説：
the most painful を入れて，S is the -est in [of] A.「S は A の中でもっとも〜だ」
という最上級の文にする。dump「〜を振る」。

3. ② He says giving gifts to close friends is as common in the U.S. (**as**) in Japan.
親友に贈り物をするのは日本と同じくらい米国でもありふれたことだと彼は言う。

解説：
空所の前に〈as ＋形容詞〉があるので，as を入れて，
S is as 〜 as A.「S は A と同じくらい〜だ」という原級の文にする。common「ありふれた」。

4. ② The band’s second album is (**more energetic**) than the debut one.
そのバンドのセカンドアルバムはデビューアルバムよりもエネルギッシュだ。

解説：
空所の直後に than があるので，比較級の more energetic が正解。
energetic「エネルギッシュな」，debut「デビュー」。

5. ① The festival this year was (**as large-scaled**) as the one in the previous year.
今年の祭りは前年のものと同じくらい大規模なものだった。

解説：
空所の後ろに as があるので，as large-scaled を入れて，
S is as 〜 as A.「S は A と同じくらい〜だ」という原級の文にする。
large-scaled「大規模な」，previous「前の」。

復習テスト（解答）　　第 21 講【2】

1. ③ The research method proved (**less effective**) than scientists thought.
その研究法は科学者たちが考えていたよりも効果的ではないと判明した。

解説：
空所の後ろに than があるので，形容詞の比較級である less effective が正解。
less ～ than A で「A よりも～でない」の意味。
method「方法」，prove「～であると判明する」，effective「効果的な」。

2. ④ On the whole, today was (**not as stressful as**) yesterday.
総じて，今日は昨日よりもストレスが多くなかった。

解説：
今日と昨日を比較した文だと判断できるので，not as stressful as を入れて，
not as ～ as A「A ほど～ではない」という原級の否定形にする。
on the whole「総じて，概して」，stressful「ストレスの多い」。

3. ② The team won the game (**not so much**) by hard practice as by pure luck.
チームは，猛練習のおかげというよりもまったくの幸運のおかげで試合に勝った。

解説：
空所の後ろに as があるので，not so much を入れて，
not so much A as B「A というよりむしろ B」にする。pure「まったくの」。

4. ① I’d like to use this laptop as (**long as possible**).
私はこのノートパソコンを出来るだけ長く使いたいと思っている。

解説：
long as possible を入れて，as ～ as possible「出来る限り～」にする。laptop「ノートパソコン」。

5. ③ One of my cousins is exactly (**half as old as**) my father is.
いとこの一人は，父のちょうど半分の年齢だ。

解説：
half を用いた倍数表現の文だと考えられるので，half as old as を入れて，
half as ～ as A「A の半分～」にする。倍数表現の位置に注意。

復習テスト（解答）　　第 21 講【3】

1. ③ I wondered, “Which of the two is the (**more helpful**) book for my study?”
「二つのうちどちらが私の研究により役立つ本だろうか」と私は思った。

解説：
of the two があることに着目する。〈the ＋比較級＋ of the two〉「二つのうちで～な方」の of the two を疑問詞 which の直後に置いた形。
空所の直後に名詞 book があるので，形容詞の比較級 more helpful が正解。

2. ② The (**longer**) he stayed awake, the worse he felt.
彼は長く起きていればいるほど，それだけますます気分が悪くなった。

解説：
空所の直前に The，カンマの直後に the worse がある。よって，比較級の longer を入れて，〈The ＋比較級 ～ , the ＋比較級….〉「～すればするほど，それだけますます…」にする。

3. ④ You can no (**more**) understand my feelings than use telepathy.
テレパシーが使えないのと同様，君には私の気持ちを理解することはできない。

解説：
more を入れて，S is no more C than S’ is C.「S が C でないのは S’ が C でないのと同様だ」にする。than 以下に真実ではないことが明らかな情報を置いて，それと同じくらいとんでもない話だとする表現。

4. ③ (**The more**) I thought about my old teacher, the more I missed her.
私は昔の先生について考えれば考えるほど，ますます彼女が恋しくなった。

解説：
カンマの直後に the more とあるので，比較級の The more を入れて，〈The ＋比較級 ～ , the ＋比較級….〉「～すればするほど，それだけますます…」にする。

5. ② I am (**no more**) a morning person than you are.
私はあなたが朝型ではないのと同様，朝型ではない。

解説：
no more を入れて，
S is no more C than S’ is C.「S が C でないのは S’が C でないのと同様だ」にする。

復習テスト（解答）　第 22 講【1】

1. ③ A drugstore is near this hotel. It is (**no more**) than 50 meters from here.
ドラッグストアはこのホテルの近くにある。ここからたった 50 メートルだ。

解説：
第 1 文の内容から，
no more を入れて少なさを表す no more than「〜しかない」にすると文意に合う。

2. ④ My uncle is a music fan. He has no (**less**) than 3,000 CDs in his room.
おじは音楽好きだ。彼の部屋には 3,000 枚もの CD がある。

解説：
第 1 文の内容から，less を入れて多さを表す no less than「〜もある」にすると文意に合う。

3. ① I know (**better than**) to tell my personal information to a complete stranger.
私は，赤の他人に自分の個人情報を教えるほど愚かではない。

解説：
better than を入れて，know better than to do「〜するほど愚かではない」にすると文意が通る。
personal information「個人情報」。

4. ② Lizzy is my big sister. She is (**senior**) to me by three years.
リジーは私の姉だ。彼女は私よりも 3 歳年上だ。

解説：
空所を含む文の主語である She が指しているのは，第 1 文で述べられている姉の Lizzy。
よって, be senior to で「〜より年上だ」という意味になる senior が正解。ここでの by は差を表す。

5. ① He can dance better than I, so I sometimes feel (**inferior**) to him.
彼は私よりも上手に踊れるので，私は彼に対して劣等感を感じることがある。

解説：
カンマまでの内容から，inferior を入れて be inferior to「〜より劣っている」にすると文意が通る。

復習テスト（解答）　第 22 講【2】

1. ④ To be honest, that party was the most boring (**in**) my life.
正直に言うと，あのパーティーは私の人生の中で一番つまらなかった。

解説：
形容詞の最上級があるので，空所には，どの中で一番なのかを示す範囲を表す語が入ると考えられる。
party と life は異種のものなので，in が正解。

2. ② I like autumn the best (**of**) all the four seasons. How about you?
私は，四つの季節の中で秋が一番好きです。あなたは？

解説：
副詞の最上級があるので，どの中で一番なのかを示す範囲が必要。
autumn と seasons は同種のものなので，of が正解。

3. ① That was the most beautiful song that I've (**ever**) heard.
あれは，私が今まで聞いた中で一番美しい曲だった。

解説：
形容詞の最上級があるので，ever を入れて，
(that) S have ever p.p.「S が今まで～した中で」という経験の範囲を表す文にすると文意が通る。

4. ④ Toshi is (**the second oldest of**) the four brothers.
トシは 4 兄弟の中で，2 番目に年長だ。

解説：
「何番目に～だ」は〈the ＋序数＋ -est〉で表す。

5. ② This is (**one of**) the most difficult questions that I've been asked.
これは，私が尋ねられた中で一番難しい質問の一つだ。

解説：
空所の後ろには形容詞の最上級と，最上級の範囲を表す語句が続いている。
正解は，〈one of the -est ＋複数名詞〉で「もっとも～な内の一つ」の意味になる one of。

復習テスト（解答）　第 22 講【3】

1. ② In this school, no (**other**) student can play tennis better than Kenji.
   この学校では，ケンジより上手にテニスをプレーできる生徒はいない。

解説：
other を入れると，no other 単数名詞を主語にして比較級を用いた最上級相当表現が成立する。
〈No other 単数名詞 is -er than A.〉「A ほど～なほかの名詞はない」の意味。

2. ③ You ought to remember that nothing is (**as valuable as**) time.
   あなたは，時間ほど貴重なものはないということを覚えておくべきだ。

解説：
that 節内の主語が nothing であり，空所の直後に名詞 time がある。
よって，原級比較の as valuable as を入れて，
「～ほど…なものはない」という最上級相当表現にすればよい。

3. ① Hokkaido is colder than any (**other**) prefecture.
   北海道は他のどの都府県よりも寒い。

解説：
other を入れて,〈S is -er than any other 単数名詞 .〉「S はほかのどの名詞より～だ」の形にする。
比較級を用いた最上級相当表現。

4. ④ He thinks (**no other**) photo is as lovely as that one.
   彼は，あの写真ほど素晴らしい写真はないと思っている。

解説：
空所の後ろに形容詞の原級があることに着目。
no other を入れて，空所以降の名詞節の主語を no other 単数名詞にすると,
〈No other 単数名詞 is as(so) ～ as A.〉「A ほど～なほかの名詞はない」
という最上級相当表現が成立する。

5. ② (**Nothing**) was more helpful than her advice.
   彼女の助言ほど役立つものはなかった。

解説：
空所の後ろに形容詞の比較級があるので,
Nothing を入れると「～より…なものはない」という最上級相当表現が成立する。

復習テスト（解答）　　第 23 講【1】

1. ③ I hear the next typhoon will be (**even**) more powerful.
今度の台風の方がずっと強いらしい。

解説：
空所の後ろにある形容詞の比較級を強調することができる even が正解。

2. ② He can't afford to buy a used car, (**much**) less a new one.
彼は中古車を買う余裕がない，まして新車は買えない。

解説：
カンマの前が否定文なので，much を入れて，
〜, much less ....「〜ではない，まして…ではない」にする。

3. ① That movie was by (**far**) the most romantic that I have ever seen.
あの映画は私が今まで見た中で群を抜いてロマンチックだった。

解説：
空所の直前に by，直後に形容詞の最上級がある。
by far で最上級を強調することができるので，far が正解。

4. ④ The basketball team almost lost the game. They won (**by**) just one point.
バスケチームは危うく試合に負けるところだった。彼らはわずか 1 点差で勝った。

解説：
文意に合うのは，差を表す by。almost「危うく〜するところ」。

5. ② That was the (**very**) worst experience that I've ever had.
あれは，私が今まで経験してきた中で最悪のものだった。

解説：
空所の直後にある形容詞の最上級を修飾することができるのは very。

復習テスト（解答）　第 23 講【2】

1. ④ I think the originality of his idea is greater than (**that**) of mine.
彼のアイデアの独創性は私のものよりも素晴らしいと思う。

解説：
「彼のアイデアの独創性」と「私のアイデアの独創性」が比較されていると考えられる。
よって，the originality「独創性」の代わりに用いることのできる that が正解。

2. ④ He loves her better than (**I**). His love toward her is deeper than mine.
彼は私よりも彼女を愛している。彼女への彼の愛は私のものよりも深い。

解説：
何と何が比較されているかを考える。
第 2 文に「彼女への彼の愛は私のものよりも深い」とあるので，主格の I が正解。I を入れると，
「彼は，私が彼女を愛しているよりも彼女を愛している」の意味になり，整合性が取れる。

3. ② That man cannot be under 40 years of age. He must be (**at least**) 45.
あの男性は 40 歳未満のはずがない。彼は少なくとも 45 歳に違いない。

解説：
at least「少なくとも」を入れると第 1 文の内容に合う。

4. ④ I was badly off at that time. I earned 90,000 yen at (**most**) a month.
当時，私はお金に困っていた。せいぜい，月に 9 万円しか稼いでいなかった。

解説：
at most で「多くても」という意味になる most が正解。badly off「お金に困って」。

5. ③ Be careful. This pond is (**deepest**) here.
気を付けて。この池はここが一番深いよ。

解説：
形容詞の最上級である deepest が正解。他の池と比べているのではなく，
同じ池の中でもっとも深い場所について述べた文なので，一つに限定する the は不要。

復習テスト（解答）　　第23講【3】

1. ③ This song can be categorized into rock (**rather**) than jazz, I think.
この曲はジャズというよりもむしろロックに分類可能だと思う。

解説：
B rather than A で「A というよりむしろ B」という意味になる rather が正解。
not so much A as B に言い換えが可能。categorize A into B「A を B に分類する」。

2. ① The real world was (**a million times as big**) as my imagination.
実社会は私の想像よりも 100 万倍広かった。

解説：
倍数表現の文だと考えられるので，〜 times as ... as A.「A の〜倍…」にする。

3. ③ The harder the boy practiced, (**the better**) his piano playing got.
少年が熱心に練習すればするほど，それだけますます彼のピアノ演奏はよくなった。

解説：
the better を入れて，
〈The ＋比較級 〜, the ＋比較級 ....〉「〜すればするほど，それだけますます…」にする。

4. ② This ice cream tastes (**no less**) sweet than that one does.
このアイスクリームはあのアイスクリームに劣らず甘い味がする。

解説：
no less を入れて，no less A than B「B と同様に A である」にする。
no less は否定の否定，つまり肯定の意味になる点に注意。

5. ④ (**No other**) *shogi* player can play *shogi* better than Hiroshi.
ヒロシよりも上手に将棋を指せる棋士はほかにいない。

解説：
No other を入れて，no other 単数名詞を主語にして比較級を用いた最上級相当表現にする。
〈No other 単数名詞 is -er than A.〉「A ほど〜なほかの名詞はない」の意味。

復習テスト（解答）　第 24 講【1】

1. ③ The simple truth is (**that**) flowers are beautiful.
紛れもない事実は，花は美しいということだ。

解説：
空所の後ろに完全文が続いていることに着目。
「～ということ」という名詞節を導くことのできる that を入れると，SVC の文が成立する。
that 節が文の補語の働きをしている。

2. ④ I’m in favor of her idea (**that**) we should hold a meeting today.
私は，今日会議を開くべきだという彼女の考えに賛成だ。

解説：
空所の前に her idea，後ろに完全文が続いている。
〈名詞 that ～〉で「～という名詞」の意味になる同格の that が正解。
in favor of ～「～に賛成して」。

3. ① It was (**so**) cold that I warmed myself in a *kotatsu*.
とても寒かったので，私はこたつに入って体をあたためた。

解説：
空所の直後に形容詞 cold があり，that 前後が原因と結果の関係にあると考えられる。
よって，so を入れて，so ～ that ...「とても～なので…」にする。

4. ② It was such an exciting novel (**that**) I finished reading it in half a day.
それはとても面白い小説だったので，私は半日でそれを読み終えた。

解説：
空所の前に〈such ＋名詞〉があり，後ろに続く文が完全。
よって，that を入れて such ～ that ...「とても～なので…」にする。

5. ① On my way here, I used GPS (**so that**) I would not get lost.
ここへ来る途中，私は迷わないように GPS を使った。

解説：
空所よりも後ろが「私が GPS を使った」ことの目的を表していると考えられるので，
so that を入れて〈so that S 助動詞〉「S が～するように」にする。

復習テスト（解答）　　第 24 講【2】

1. ① We’re going to climb Mt. Takao tomorrow (**unless**) it is bad weather there.
そこが悪天候でない限り，私たちは明日高尾山に登る予定だ。

解説：
例外的な条件を表す unless「～しない限り」を入れると，空所前後の内容がうまくつながる。

2. ④ (**By the time**) the movie is over, it will stop raining outside.
映画が終わるまでには，外では雨が降り止むだろう。

解説：
「映画が終わる」と「外では雨が降り止むだろう」という二つの内容をうまく結ぶことができるのは，By the time「～するまでには」。

3. ③ The little girl stayed awake (**until**) she felt sleepy.
少女は眠くなるまでずっと起きていた。

解説：
継続を表す until「～するまでずっと」を入れると，空所前後の内容がうまくつながる。

4. ② I like cats and dogs, especially (**since**) they don’t speak human language.
私はネコとイヌが好きだ，特に彼らは人間の言語を話さないからだ。

解説：
especially 以降が「私はネコとイヌが好きだ」の理由を表していると判断できるので，since「～なので」が正解。

5. ③ She set up her computer (**as**) the instructions said.
彼女は，説明書に書いてある通りにコンピュータをセットアップした。

解説：
様態を表す as「～ように」を入れると空所前後の内容がうまくつながる。instructions「説明書」。

復習テスト（解答）　第 24 講【3】

1. ② (**Now that**) all the club members are here, we should start the discussion.
もう部員は全員ここにそろったので，私たちは話し合いを始めるべきだ。

解説：
カンマ前後の「部員が全員ここにいる」と「私たちは話し合いを始めるべきだ」が
因果関係にあると判断できるので，Now that「今や～なので」が正解。

2. ③ (**Once**) you set a goal, you should work hard to achieve it.
一度目標を設定したら，あなたはそれを達成するために熱心に取り組むべきだ。

解説：
「目標を設定する」と「あなたはそれを達成するために熱心に取り組むべきだ」という
二つの内容をうまく結ぶことができるのは，Once「一度～すると」。

3. ① I remember my good old days (**every time**) I see this photo.
私はこの写真を見るたびに古きよき時代を思い出す。

解説：
空所前後の内容を結ぶ接続詞（句）として適切なのは，every time「～するたびに」である。

4. ③ I suggest you write down your ID and password (**in case**) you forget.
忘れるといけないから，ID とパスワードを書き留めておくことをお勧めします。

解説：
「ID とパスワードを書き留めておく」と「あなたは忘れる」を結ぶ接続詞（句）として適切なのは，
in case「～するといけないから，～する場合に備えて」。

5. ④ (**No sooner had**) I entered a hotel room than I felt homesick.
ホテルの部屋に入るとすぐに，私はホームシックにかかった。

解説：
空所の後ろに than があるので，
No sooner had を入れて No sooner A than B.「A するとすぐに B」にすると文意が通る。

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。